

# 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」 についてのアンケート調査報告書

令和5年3月

大阪狭山市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	アンケート回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	2
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>3</b>
1	市民 .....	3
2	まちづくり円卓会議メンバー .....	21
<b>III</b>	<b>クロス集計結果</b> .....	<b>33</b>
1	市民 .....	33
	(1) 性別クロス集計結果 .....	33
	(2) 年代別クロス集計結果 .....	41
	(3) 校区別クロス集計結果 .....	56
	(4) 居住年数別クロス集計結果 .....	64
2	まちづくり円卓会議メンバー .....	76
	(1) 校区別クロス集計結果 .....	76
<b>IV</b>	<b>自由意見のまとめ</b> .....	<b>87</b>
1	市民 .....	87
2	まちづくり円卓会議メンバー .....	89
<b>V</b>	<b>ヒアリング調査のまとめ</b> .....	<b>91</b>
1	各円卓会議への聞き取り .....	91
2	3つの円卓会議情報交換会でのアンケート集計結果報告時での聞き取り .....	93

<b>VI</b>	<b>調査結果のまとめ</b>	<b>95</b>
1	地域活動への参加	95
2	まちづくり円卓会議への参加	95
3	まちづくり円卓会議の活動状況	96
4	円卓会議条例の認識	97
5	今後の課題	98
<b>VII</b>	<b>資料（調査票）</b>	<b>99</b>
1	市民	99
2	まちづくり円卓会議メンバー	103
3	大阪狭山市まちづくり円卓会議条例についてのリーフレット	107

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

大阪狭山市まちづくり円卓会議条例（平成 25 年 4 月 1 日施行）は、大阪狭山市自治基本条例の趣旨に基づき、市民がまちづくりの重要な課題について話し合うための対話及び交流の場を設けるまちづくり円卓会議の運営を支援するための基本的な事項を定めることを目的に制定されています。そして、時代や環境の変化によって、現在の条文ではこの目的を達成できない、または定めている内容と実態に隔たりが生じる可能性があるため、5 年を超えない期間ごとに、本条例の各条項に検討を加え、必要に応じて見直すとされています。また、各条項の検討や見直しを行うに当たって、市民の意見を聴かなければならないことが定められています。

本調査は条例改正の必要性を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施しました。また、本条例の市民への周知を目的に、調査票とともにリーフレットを配布しました。

## 2 調査対象

- ・市民の方の中から無作為抽出
- ・まちづくり円卓会議メンバー

## 3 調査期間

- ・アンケート調査：令和 4 年 8 月 29 日から令和 4 年 9 月 16 日
- ・ヒアリング調査：令和 4 年 9 月 13 日（南中学校区円卓会議）  
令和 4 年 9 月 20 日（狭山中学校区まちづくり円卓会議）  
令和 4 年 9 月 26 日（第三中学校区まちづくり円卓会議）  
令和 4 年 10 月 26 日（3 つの円卓会議情報交換会）

## 4 調査方法

- ・アンケート調査：郵送による配布・回収またはインターネットによる回答
- ・ヒアリング調査：各円卓会議の定例会及び 3 つの円卓会議情報交換会での聞き取り

## 5 アンケート回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000 通	658 通	32.9%
まちづくり円卓会議メンバー	340 通	177 通	52.1%

## 6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

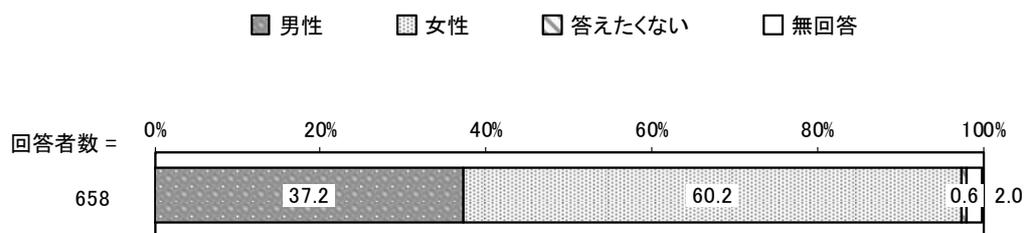
## II 調査結果

### 1 市民

#### (1) 回答者属性

##### 問1 性別をお聞かせください。

「女性」の割合が60.2%と最も高く、次いで「男性」の割合が37.2%となっています。

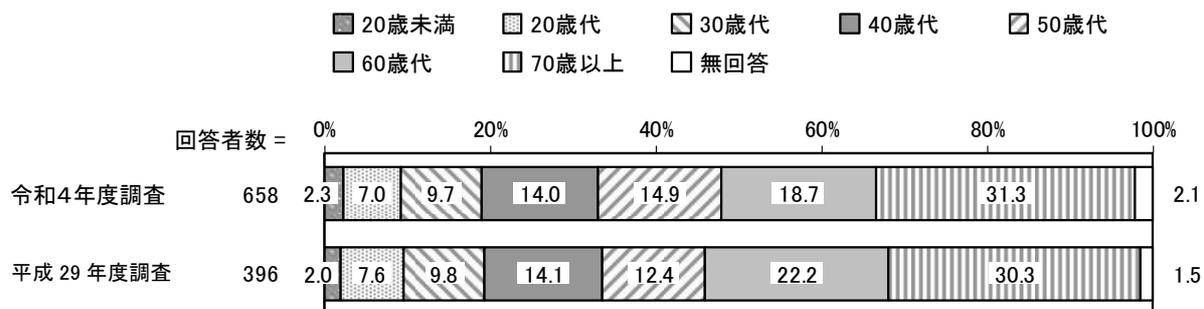


##### 問2 年齢をお聞かせください。

「70歳以上」の割合が31.3%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が18.7%、「50歳代」の割合が14.9%となっています。

#### 【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

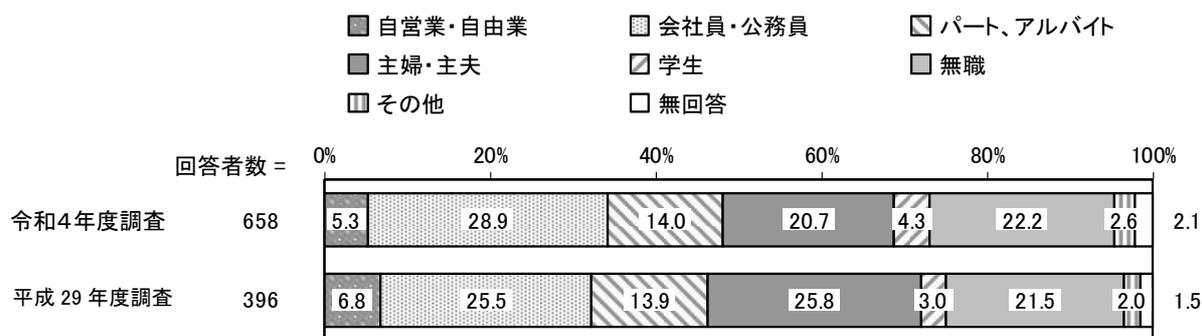


**問3 職業をお聞かせください。**

「会社員・公務員」の割合が28.9%と最も高く、次いで「無職」の割合が22.2%、「主婦・主夫」の割合が20.7%となっています。

**【経年比較】**

平成29年度調査と比較すると、「主婦・主夫」の割合が減少しています。



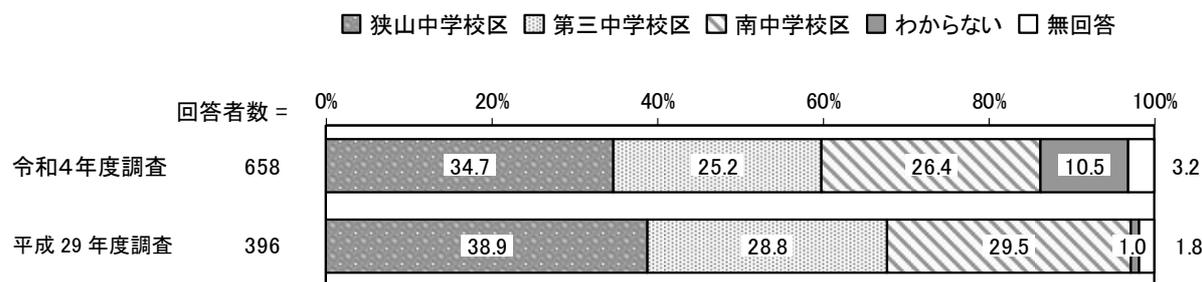
※平成29年度調査では「パート、アルバイト」の選択肢が「パート、アルバイト、嘱託」となっていました。

**問4 お住まいの中学校区をお聞かせください。**

「狭山中学校区」の割合が34.7%と最も高く、次いで「南中学校区」の割合が26.4%、「第三中学校区」の割合が25.2%となっています。

**【経年比較】**

平成29年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。

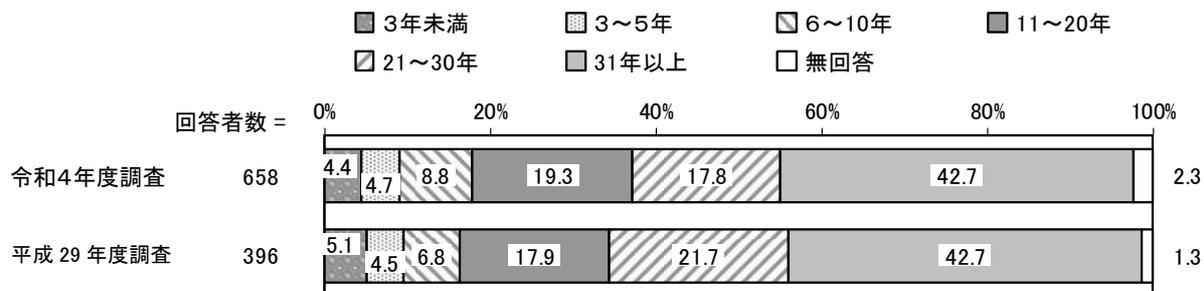


**問5 大阪狭山市での居住年数をお聞かせください。**

「31年以上」の割合が42.7%と最も高く、次いで「11～20年」の割合が19.3%、「21～30年」の割合が17.8%となっています。

**【経年比較】**

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

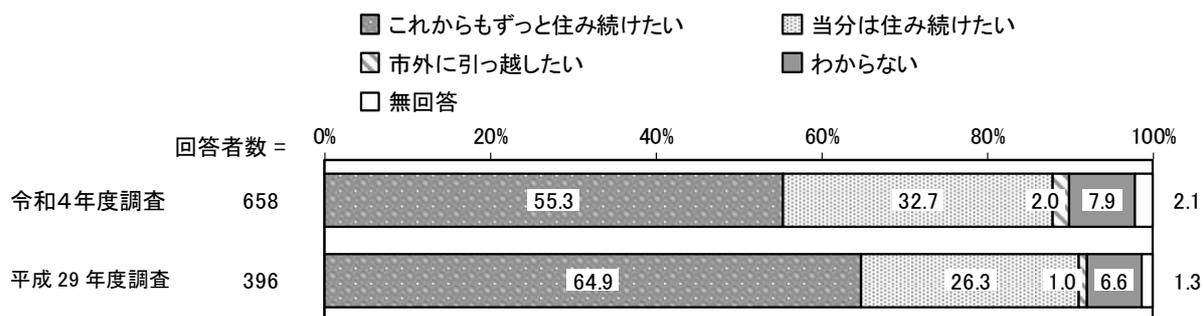


**問6 これからも大阪狭山市に住み続けたいと思われませんか？**

「これからもずっと住み続けたい」の割合が55.3%と最も高く、次いで「当分は住み続けたい」の割合が32.7%となっています。

**【経年比較】**

平成29年度調査と比較すると、「当分は住み続けたい」の割合が増加しています。一方、「これからもずっと住み続けたい」の割合が減少しています。



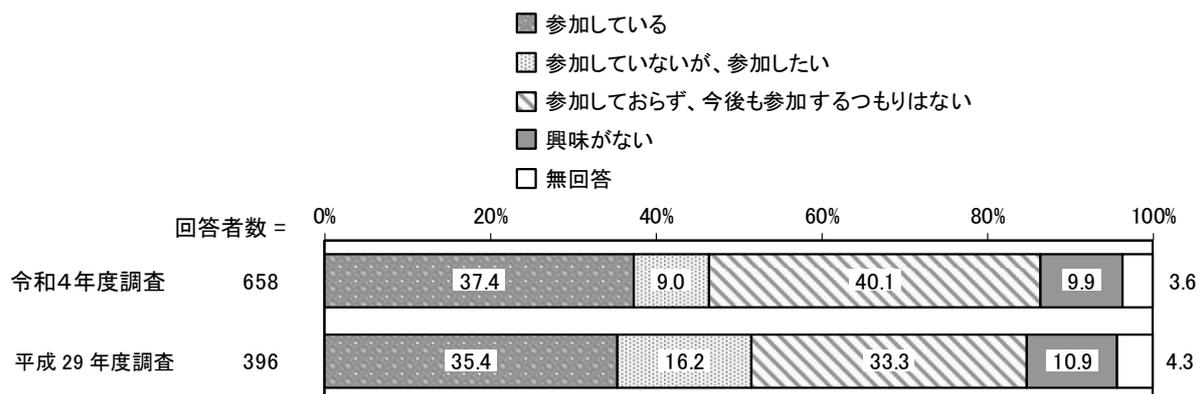
## (2) 地域活動への参画について

### 問7 自治会活動に参加されていますか？（○は1つだけ）

「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「参加している」の割合が37.4%となっています。

#### 【経年比較】

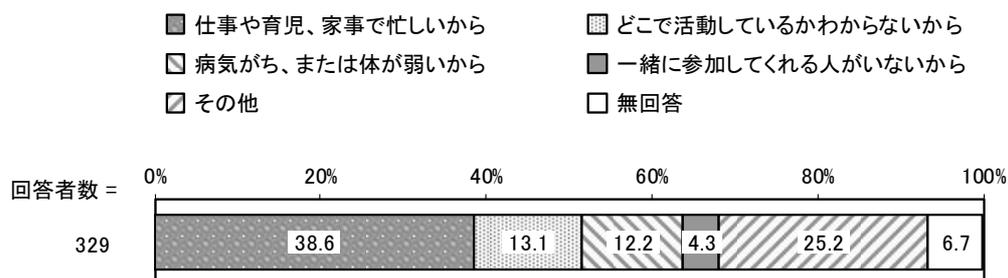
平成29年度調査と比較すると、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が増加しています。一方、「参加していないが、参加したい」の割合が減少しています。



問7で「3. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。

#### 問7-1 自治会活動に参加しない理由は何ですか？次から近いものに○をして下さい。

「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が38.6%と最も高く、次いで「どこで活動しているかわからないから」の割合が13.1%、「病気がち、または体が弱いから」の割合が12.2%となっています。



#### <その他の主な意見（抜粋）>

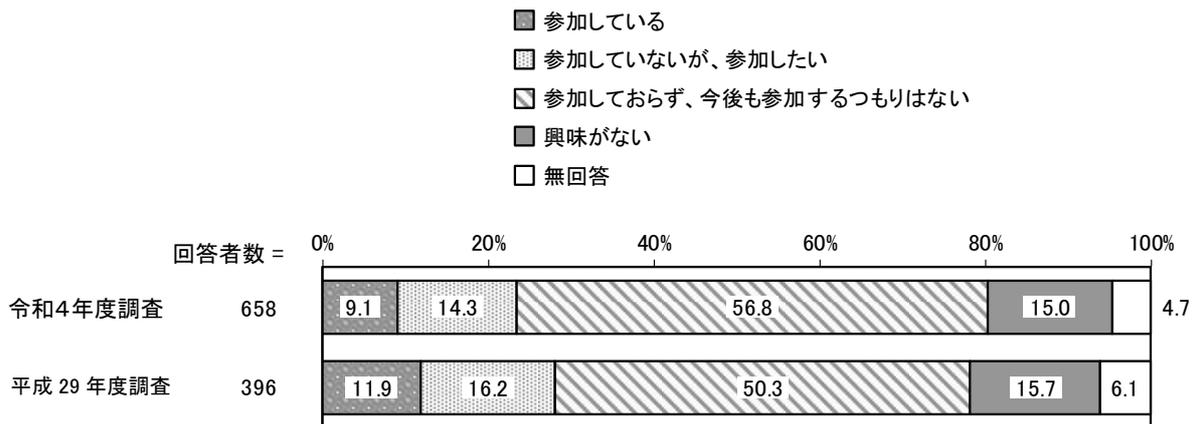
- ・高齢のため
- ・自治会がないから
- ・家族が参加しているから
- ・自身の病気や障がい、家族の介護のため
- ・人間関係が煩わしい
- ・仕事や学業で忙しいため
- ・以前参加していたが、意見の相違などで退会したため
- ・自治会参加を断られた
- ・興味がない、面倒

**問 8 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動に参加されていますか？**  
**(〇は1つだけ)**

「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「興味がない」の割合が 15.0%、「参加していないが、参加したい」の割合が 14.3%となっています。

**【経年比較】**

平成 29 年度調査と比較すると、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が増加しています。

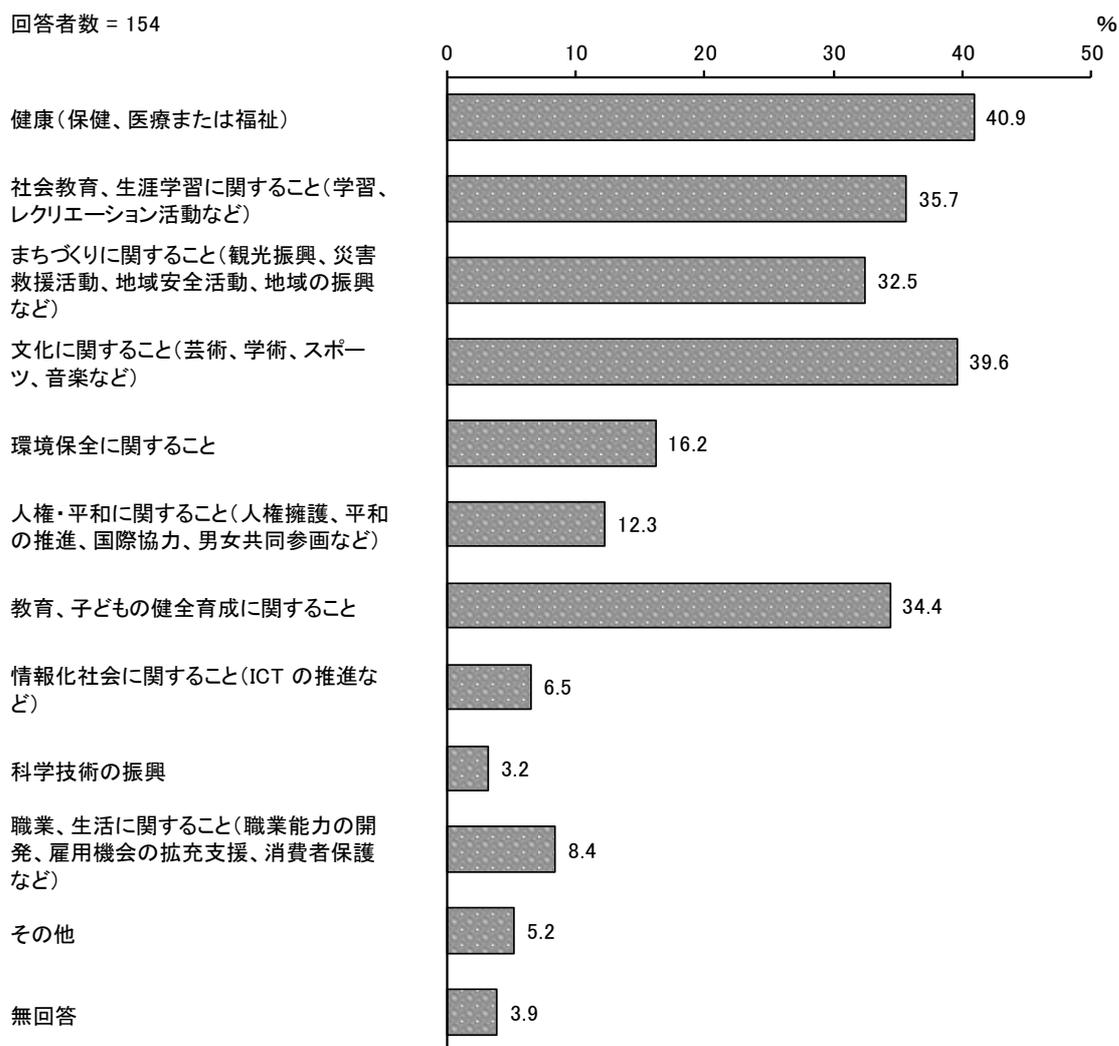


問8で「1. 参加している」「2. 参加していないが、参加したい」と答えた方にお聞きします。

問8-1 参加している、または参加したい活動の分野は何ですか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(〇はいくつでも)

「健康(保健、医療または福祉)」の割合が40.9%と最も高く、次いで「文化に関すること(芸術、学術、スポーツ、音楽など)」の割合が39.6%、「社会教育、生涯学習に関すること(学習、レクリエーション活動など)」の割合が35.7%となっています。

回答者数 = 154

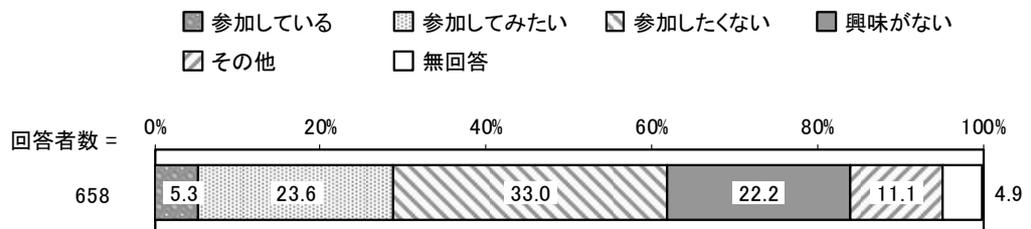


### <その他の主な意見>

- ・クリーン活動には参加してみたいけど、仕事で日が合いません
- ・70歳になれば仕事もなくなるので、その時は、自分にもできることを、と思っています
- ・手話など
- ・今は特に考えていない、していない
- ・他市のこども食堂・フードリボン活動
- ・食生活改善推進協議会
- ・全国組織のメンタルヘルスの会
- ・介護活動関係

問9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの担い手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについてどう思われますか？（○は1つだけ）

「参加したくない」の割合が33.0%と最も高く、次いで「参加してみたい」の割合が23.6%、「興味がない」の割合が22.2%となっています。

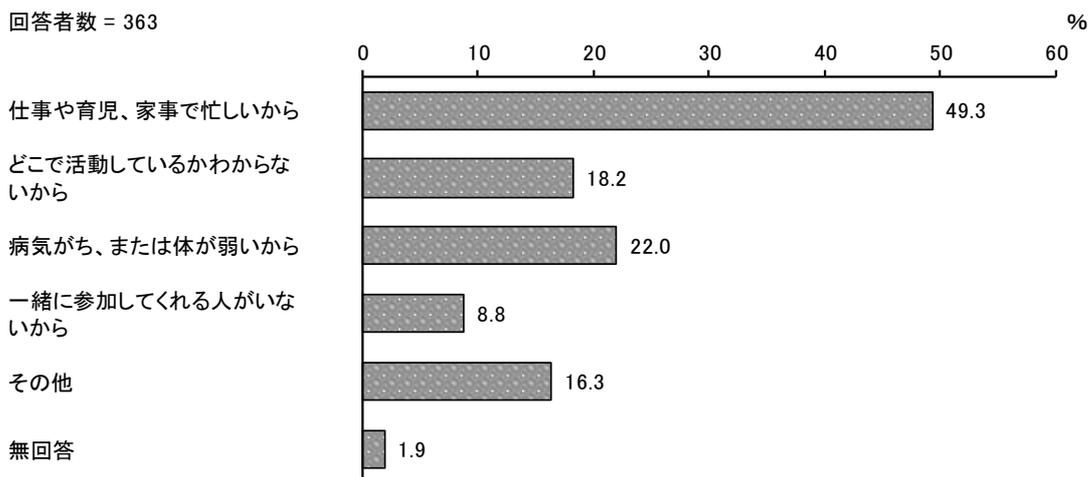


<その他の主な意見（抜粋）>

- ・興味あるが、体力的に参加できない
- ・よいことだと思う

問9で「3. 参加したくない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。  
問9-1 参加したくない・興味がない理由は何ですか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。（○はいくつでも）

「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が49.3%と最も高く、次いで「病気がち、または体が弱いから」の割合が22.0%、「どこで活動しているかわからないから」の割合が18.2%となっています。



<その他の主な意見（抜粋）>

- ・介護で時間がない
- ・高齢のため
- ・興味がないから

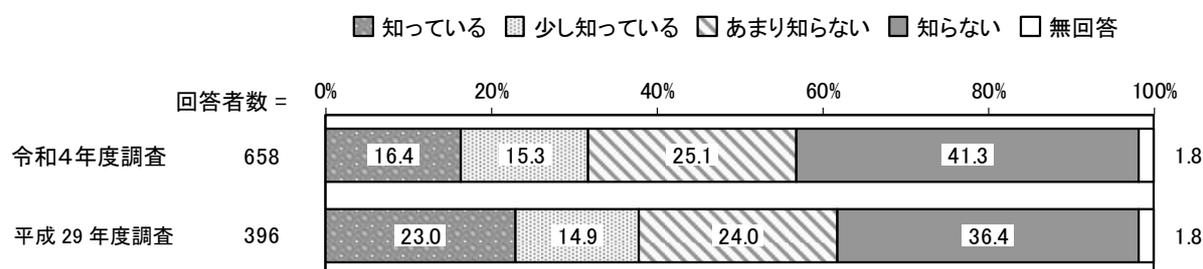
### (3) まちづくり円卓会議について

問 10 市では、市民のみなさんが身近なところからまちづくりに主体的にかかわるための契機づくりの場として、自主的に一堂に会してまちづくりを話し合う場である「まちづくり円卓会議」を設置しました。ここでは、地域のニーズに即した事業について市に提案したり、独自の事業を実施していただいています。このようなまちづくり円卓会議について知っていましたか？（〇は1つだけ）

「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が31.7%、「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が66.4%となっています。

#### 【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。

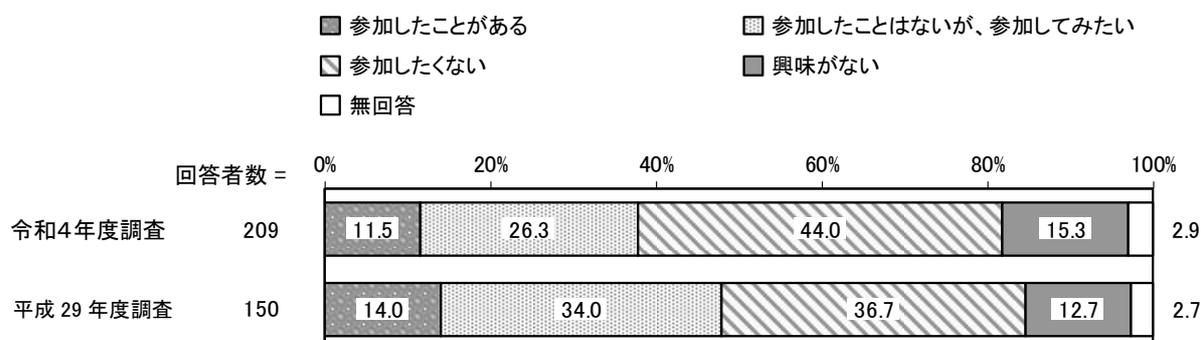


問 10 で「1. 知っている」「2. 少し知っている」と答えた方にお聞きします。  
問 10-1 「まちづくり円卓会議」に参加されたことはありますか？（〇は1つだけ）

「参加したくない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「参加したことはないが、参加してみたい」の割合が26.3%、「興味がない」の割合が15.3%となっています。

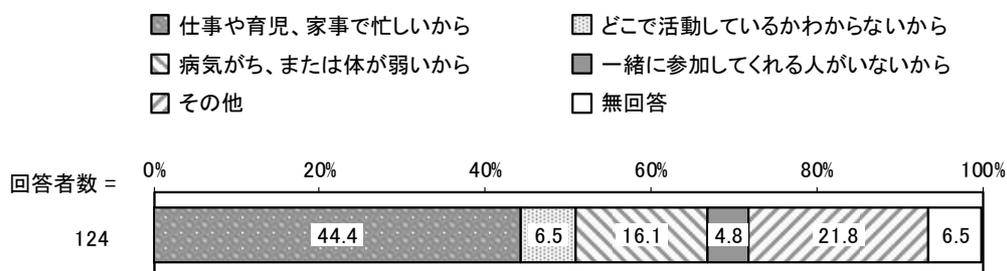
#### 【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が増加しています。一方、「参加したことはないが、参加してみたい」の割合が減少しています。



問 10-1 で「3. 参加したくない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。  
 問 10-2 参加したくない・興味がない理由は何ですか？（○は1つだけ）

「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「病気がち、または体が弱いから」の割合が 16.1%となっています。



<その他の主な意見（抜粋）>

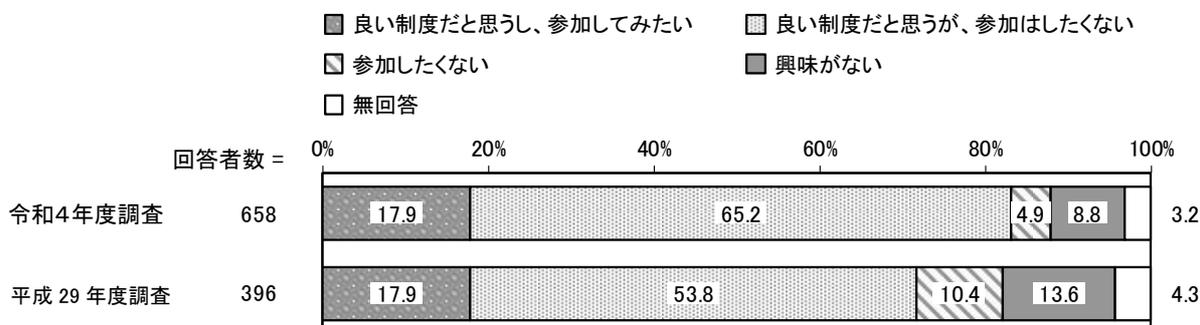
- ・高齢のため
- ・時間にゆとりがない
- ・興味がない

問 11 まちづくり円卓会議は、「自分たちのまち自分たちでつくる」という理念のもとに、自分たちのまちに必要なことを話し合いながら、地域のニーズに即した事業を市に提案したり、独自で実施したりする制度です。この制度についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。（○は1つだけ）

「良い制度だと思うが、参加はしたくない」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「良い制度だと思うし、参加してみたい」の割合が 17.9%となっています。

【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「良い制度だと思うが、参加はしたくない」の割合が増加しています。一方、「参加したくない」の割合が減少しています。



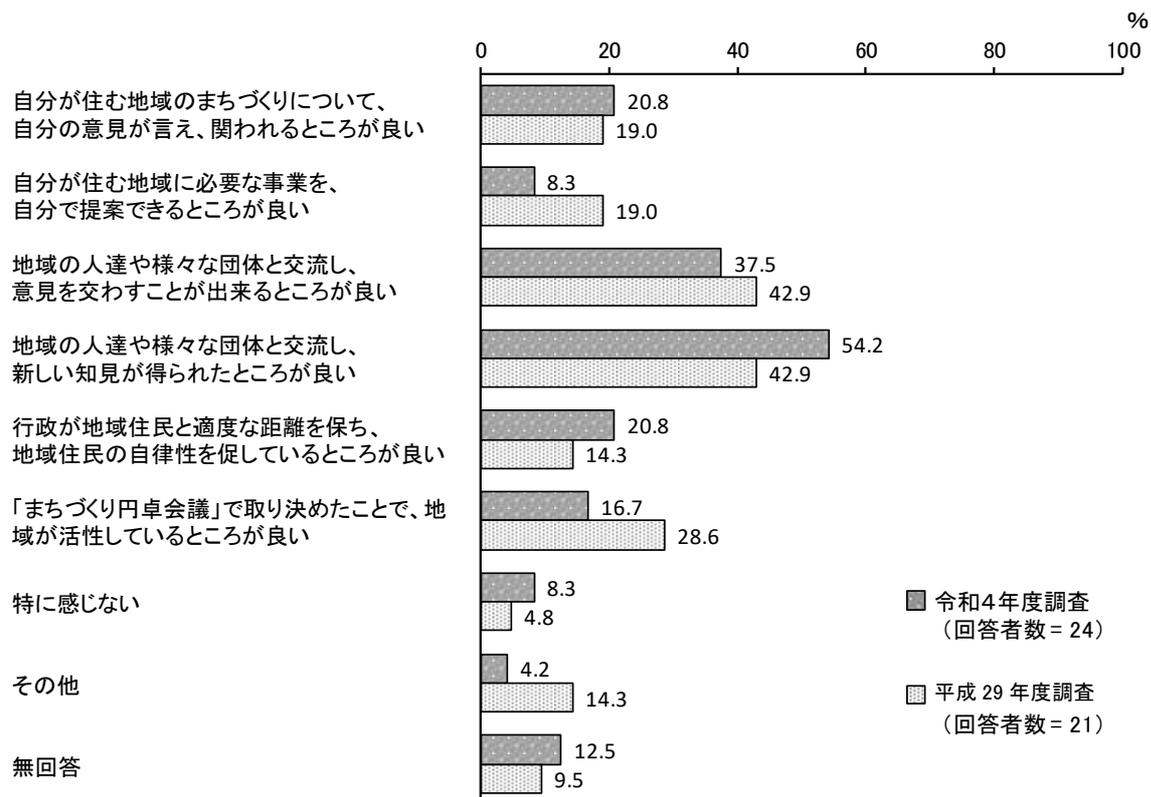
問 12 「まちづくり円卓会議」に参加されたことのある方のみお答えください。

「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。（〇はいくつでも）  
また、ご意見はその他にご記入ください。

「地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い」の割合が 37.5%、「自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、関われるところが良い」、「行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い」の割合が 20.8%となっています。

【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い」「行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い」の割合が増加しています。一方、「自分が住む地域に必要な事業を、自分で提案できるところが良い」「地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い」「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性しているところが良い」の割合が減少しています。



<その他意見から>

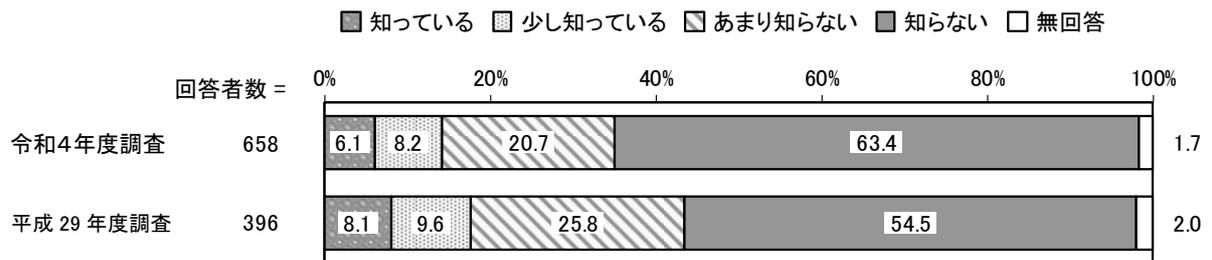
- ・ 円卓会議事業の抽選方法について疑問を持った

問 13 市では、「まちづくり円卓会議」が、より自律的に活動できるように平成 25 年 4 月 1 日から市民自治のまちづくり「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を施行しています。このような条例があることをご存じですか？（○は 1 つだけ）

「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が 14.3%、「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が 84.1%となっています。

【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

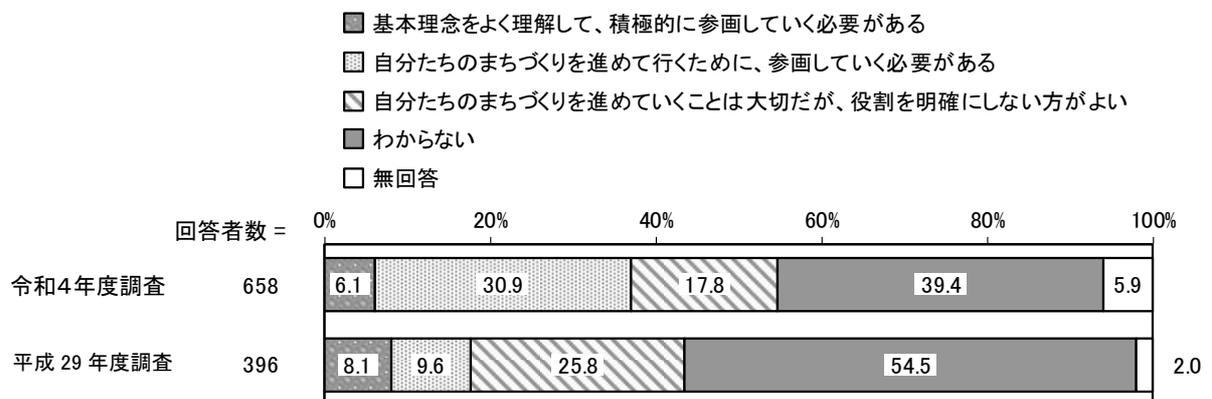


問 14 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、「まちづくり円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理解し、協働して行う」という基本理念に基づいて、市民のみなさんの役割として、まちづくりへの関心を高めるとともに、積極的にこれに参画するものとしています。この市民の役割についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを 1 つ選んでください。（○は 1 つだけ）

「わからない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が 30.9%、「自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい」の割合が 17.8%となっています。

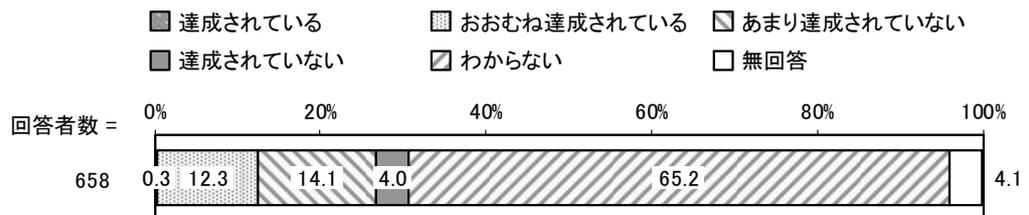
【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が増加しています。一方、「自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい」「わからない」の割合が減少しています。



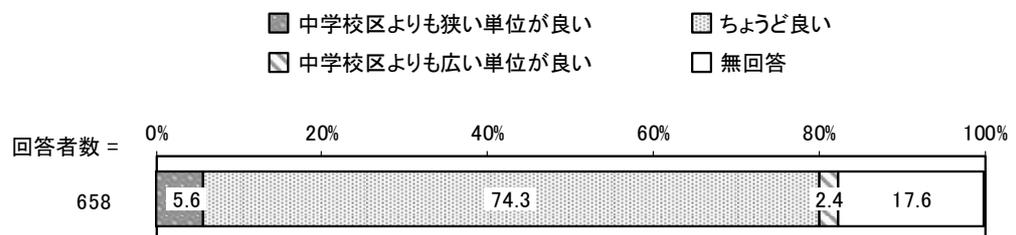
問 15 まちづくり円卓会議は、市民自治の推進、市民活動団体間の交流促進、市民間の交流の促進などの目的をもって活動しています。現在、この目的が達成されていると思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

「達成されている」と「おおむね達成されている」を合わせた“達成されている”の割合が 12.6%、「あまり達成されていない」と「達成されていない」を合わせた“達成されていない”の割合が 18.1%、「わからない」の割合が 65.2%となっています。



問 16 地域のさまざまな意見を集め、地域課題を話し合うにあたって、まちづくり円卓会議の設置単位（中学校区）はどのように感じますか。  
(1・3の場合は、理由もあわせてお答えください。)(○は1つだけ)

「ちょうど良い」の割合が 74.3%と最も高くなっています。

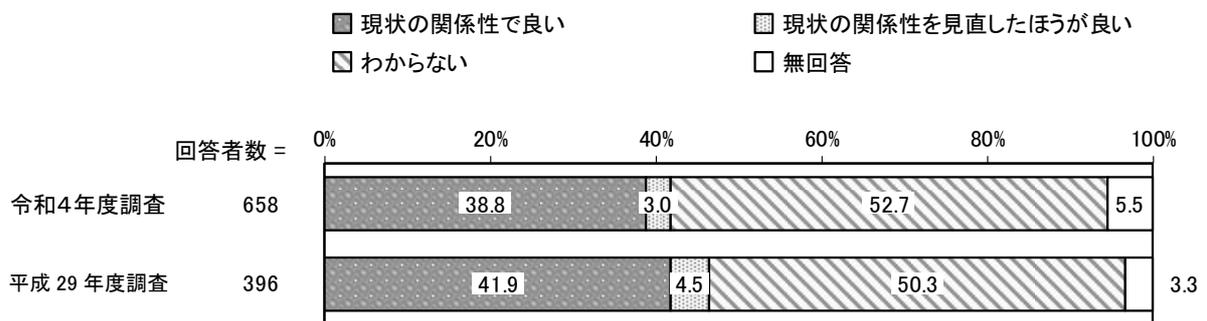


問 17 まちづくり円卓会議は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という趣旨のもと、主体的にまちづくりに参画し、行政は円卓会議の自主性・自立性を尊重し、活動のサポートを行うことを原則としています。このような、地域と行政の関係性についてどのように思われますか。あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

「わからない」の割合が52.7%と最も高く、次いで「現状の関係性で良い」の割合が38.8%となっています。

【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

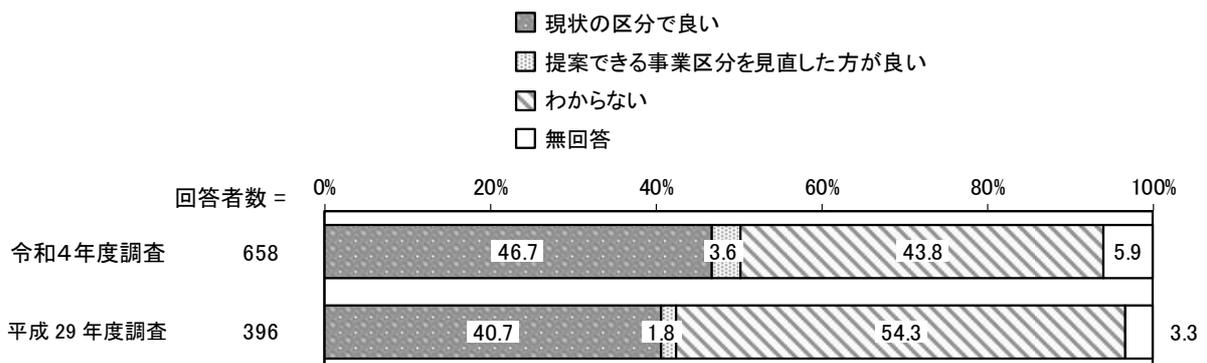


問 18 まちづくり円卓会議から市への事業提案は、①地域コミュニティの育成に関する事業、②地域福祉の増進に関する事業、③環境に関する事業、④防犯・防災等に関する事業、⑤その他校区のまちづくりにつながる事業の5つの事業区分となっています。この事業区分について、どのように思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

「現状の区分で良い」の割合が46.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が43.8%となっています。

【経年比較】

平成29年度調査と比較すると、「現状の区分で良い」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



問18で「2. 提案できる事業区分を見直した方が良い」と答えた方にお聞きします。

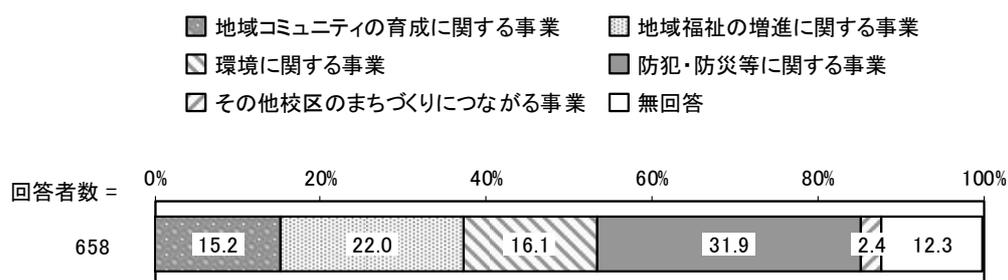
問18-1 どのような見直しが必要だと思いますか？自由にご記入ください。

<主な意見（抜粋）>

- ・道路、公園等の都市基盤に関すること
- ・防犯パトロールの時間（見回り）の見直し
- ・事件が起きる前に予防として防犯カメラを街角に設置
- ・教育面についての視点を強化する
- ・五つの事業区分にすべての活動分野が含まれているか
- ・市の政策や行政に関する意見を追加してほしい など

問19 まちづくり円卓会議は、地域のニーズに即した事業について市に提案し、市で予算を確保しています。どのような事業が必要だと思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。（○は1つだけ）

「防犯・防災等に関する事業」の割合が31.9%と最も高く、次いで「地域福祉の増進に関する事業」の割合が22.0%、「環境に関する事業」の割合が16.1%となっています。



<その他の意見>

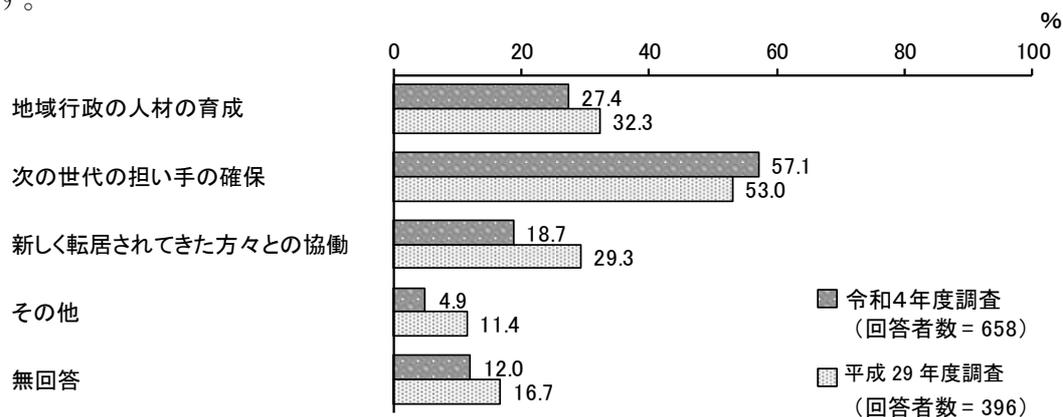
- ・防犯カメラが少ない。最近、住宅街の道路にカメラが設置されているのをよく見かけます、犯罪の抑止につながると思うので、検討してほしい
- ・具体的にはよくわからない
- ・空き家を利用した活動など
- ・コロナ禍においても、人と人がつながれるような企画
- ・図書館の蔵書を増やしてほしい
- ・子どもたちが遊べる場の提供、公園の遊具をもっと充実させてほしい
- ・市の問題点、ニーズが一番どこにあるのかわからないので、どれが必要か選べない
- ・道路、公園関係
- ・子どもにとって危険な道や場所を整備する
- ・土地の有効活用を模索する事業をしてほしい、農業に力を入れ、緑を残すべき

問 20 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われるか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(〇はいくつでも)

「次の世代の担い手の確保」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「地域行政の人材の育成」の割合が 27.4%、「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が 18.7%となっています。

### 【経年比較】

平成 29 年度調査と比較すると、「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が減少しています。

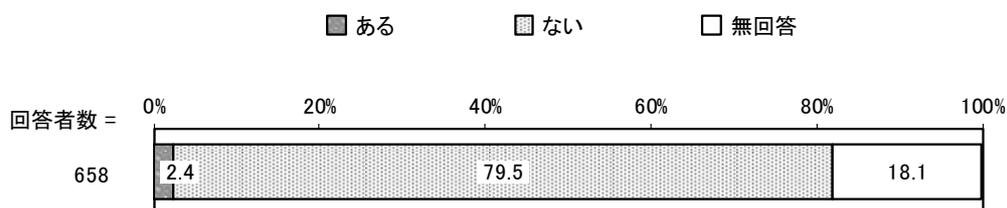


### <その他の主な意見（抜粋）>

- ・実施した事例がわからないので、もっと成果が見える化すべきではないでしょうか
- ・子育て支援家族と今後移住してくる人へのサポート
- ・参加するには、どうすればよいかわからないので、何かきっかけがあればと思う
- ・その校区のいろんな団体との連携と話し合い
- ・地域活性化のために、働く世代の働きやすい環境づくり
- ・若い世代の人たちが参加したいと思える内容
- ・高齢者は、今までの慣習を押し付けるのではなく、若い世代のサポートへまわるべき
- ・一部の人々の集まりで、他人事と感じている人が多いのではないかと思います
- ・円卓会議、すごく良いと思いました、続けていくには引っ張っていける人が必要ではないか  
と思います
- ・参加の経験はないが、負担とクレーム等に対する対策は必要だと思います
- ・市に改善してほしいことはあっても、参加できない人は沢山いる
- ・情報が少ない
- ・不便すぎる
- ・高齢者の単身世帯への情報共有について
- ・参加人数の拡大
- ・独身でも参加しやすい環境
- ・外国人の受け入れの対策
- ・参加していないのでわからない
- ・活動内容をもっとわかりやすく知らせる

問 21 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文について、見直しすべき点がありますか？（○は1つだけ）

「ある」の割合が2.4%、「ない」の割合が79.5%となっています。



問 2 1 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

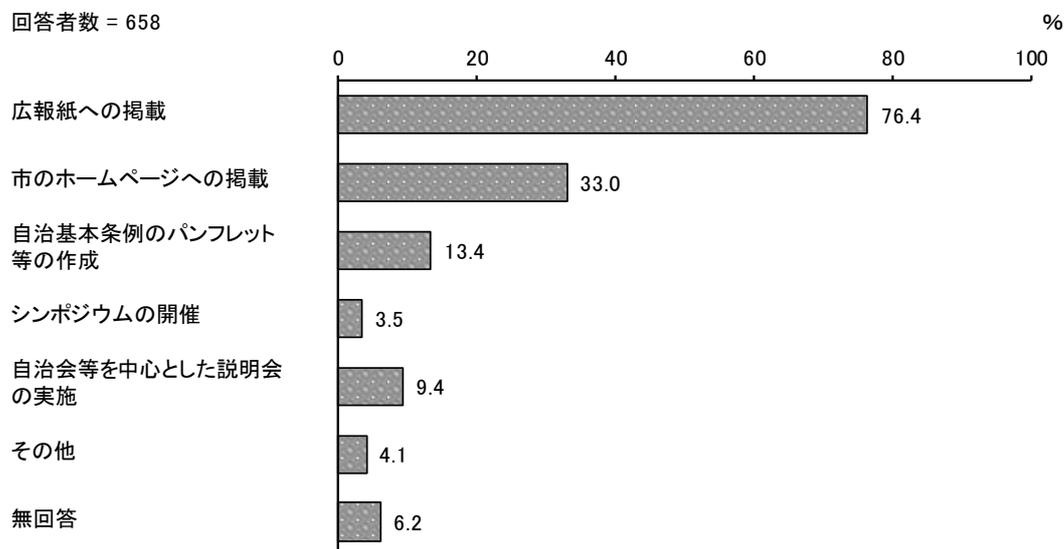
問 2 1 - 1 該当するすべての条文と見直しすべき内容をご記入ください。

<主な意見（抜粋）>

- ・13条：第1条の目的達成のために、法人化は必ずしも必要ではない、市民の自由な参加を阻害することにもなりかねず、削除の方がよい  
(以下、条文の記載なし)
- ・規約は誰が定めるのか、市民の意見とは市議員か、円卓会議委員の意見か
- ・市役所職員が自主的に考えてほしい
- ・「積極的にこれに参画する」という事項の削除
- ・円卓のことがわかるように
- ・学校（教育機関）、警察、住民（円卓会議）大阪狭山市（行政）の各組織と活動が重複するところは、具体的な項目を掲げるべき

問 22 「まちづくり円卓会議」や「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の状況を市民のみなさまにお知らせするには、どのような方法がよいと思いますか。  
(○は2つまで)

「広報紙への掲載」の割合が76.4%と最も高く、次いで「市のホームページへの掲載」の割合が33.0%、「自治基本条例のパンフレット等の作成」の割合が13.4%となっています。

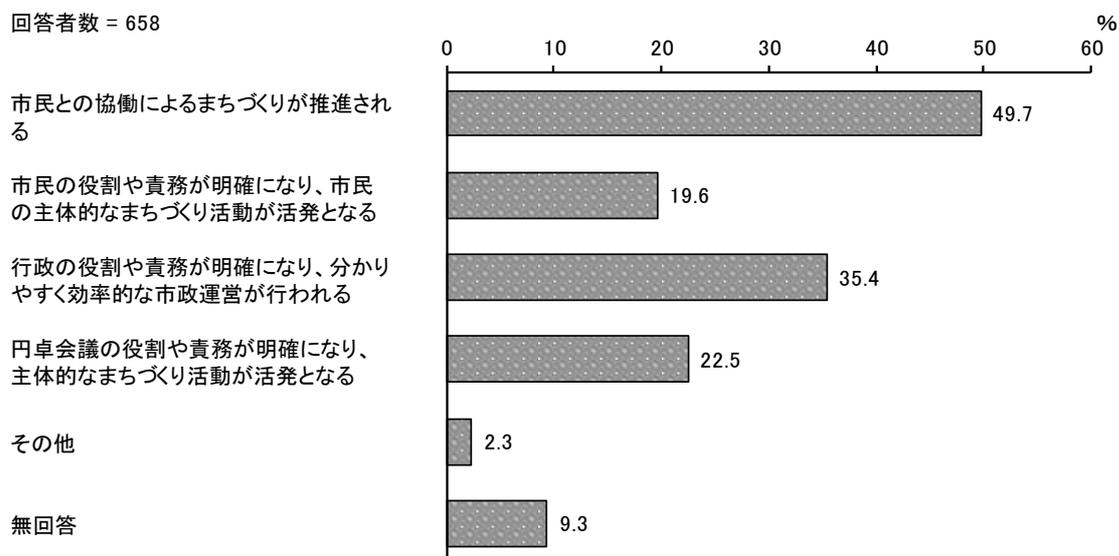


<その他の主な意見（抜粋）>

- ・ SNS をする
- ・ ネット広告
- ・ もっとわかりやすい説明パンフレット

問 23 「まちづくり円卓会議」や「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」に、どのような効果を期待されますか。(〇はいくつでも)

「市民との協働によるまちづくりが推進される」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「行政の役割や責務が明確になり、分かりやすく効率的な市政運営が行われる」の割合が 35.4%、「円卓会議の役割や責務が明確になり、主体的なまちづくり活動が活発となる」の割合が 22.5%となっています。



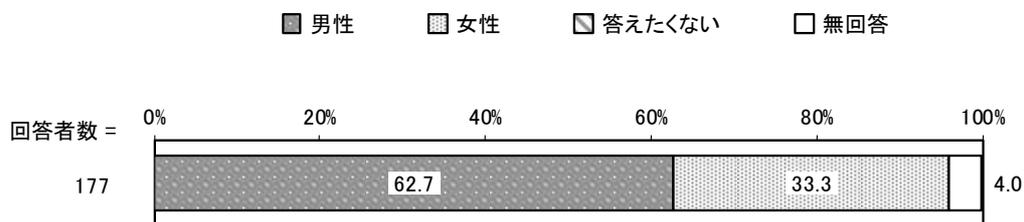
<その他の主な意見（抜粋）>

- ・このような団体があることを知らなかったのでわからない
- ・現状ではあまり効果は期待できない
- ・市民の主体的なまちづくり活動が活発になることは良いことだと思う、役割や責務を決めてしまうと心理的な負担となって、そもそも地域活動に参加すること自体が面倒になると思う、役割や責務ということを重視せずに、一人でも多くの市民が自分事として意欲的によりよいまちづくりに参加していけるような、もっと気軽なものであってよいと思う

## 2 まちづくり円卓会議メンバー

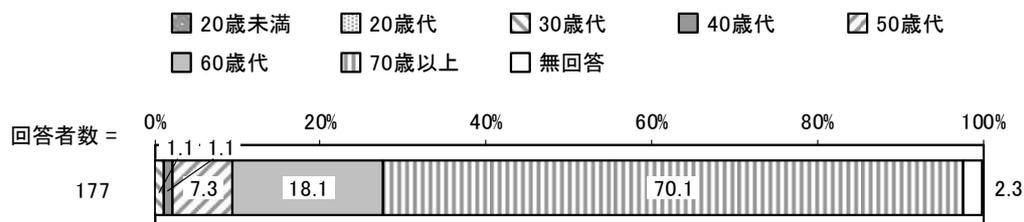
### 問1 性別をお聞かせください。

「男性」の割合が62.7%と最も高く、次いで「女性」の割合が33.3%となっています。



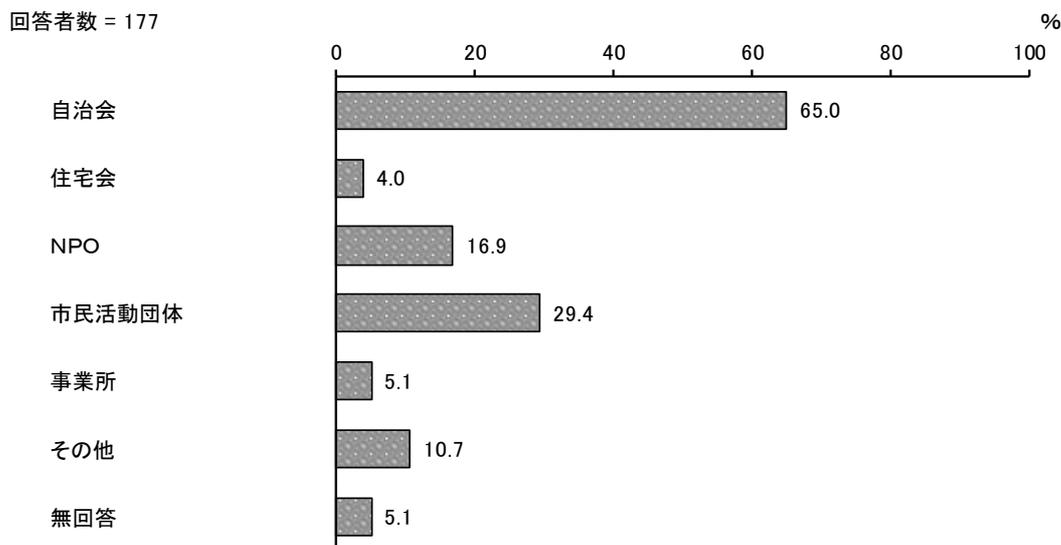
### 問2 年齢をお聞かせください。

「70歳以上」の割合が70.1%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が18.1%となっています。



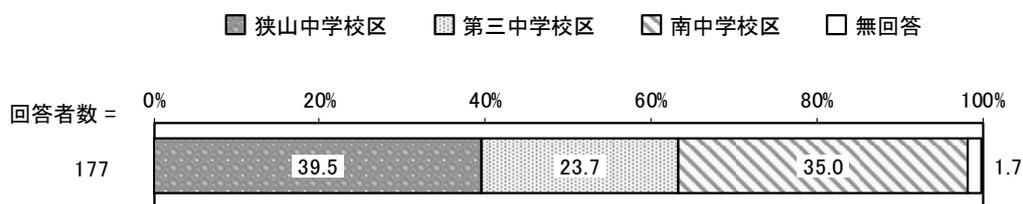
### 問3 現在、所属の団体をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

「自治会」の割合が65.0%と最も高く、次いで「市民活動団体」の割合が29.4%、「NPO」の割合が16.9%となっています。



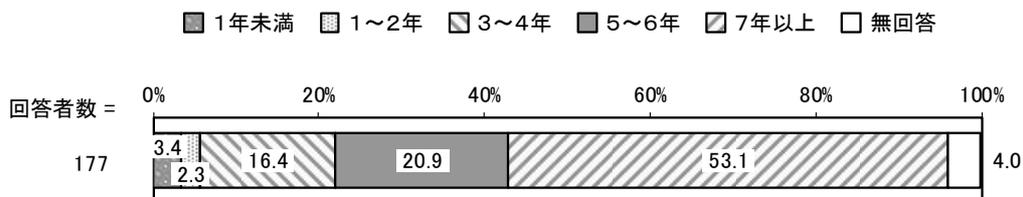
**問4 所属の中学校区をお聞かせください。**

「狭山中学校区」の割合が39.5%と最も高く、次いで「南中学校区」の割合が35.0%、「第三中学校区」の割合が23.7%となっています。



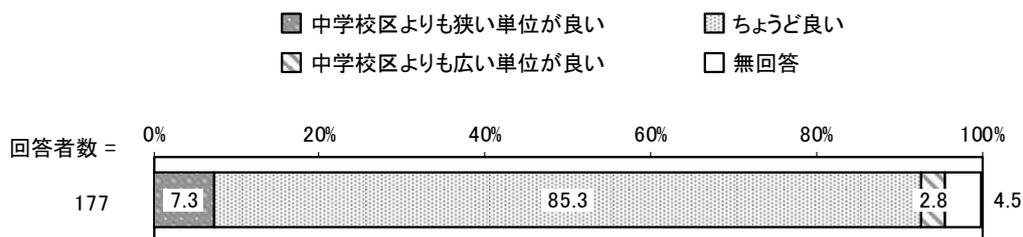
**問5 まちづくり円卓会議の経験年数をお聞かせください。**

「7年以上」の割合が53.1%と最も高く、次いで「5～6年」の割合が20.9%、「3～4年」の割合が16.4%となっています。



**問6 地域のさまざまな意見を集め、地域課題を話し合うにあたって、まちづくり円卓会議の設置単位（中学校区）は、どのように感じますか。（1・3の場合、理由もあわせてお答えください。）**

「ちょうど良い」の割合が85.3%と最も高くなっています。



**<中学校区よりも狭い単位がよい理由>**

- ・地域差をなくす
- ・きめ細かくなるから
- ・テーマが絞りやすい
- ・地域により温度差があるため

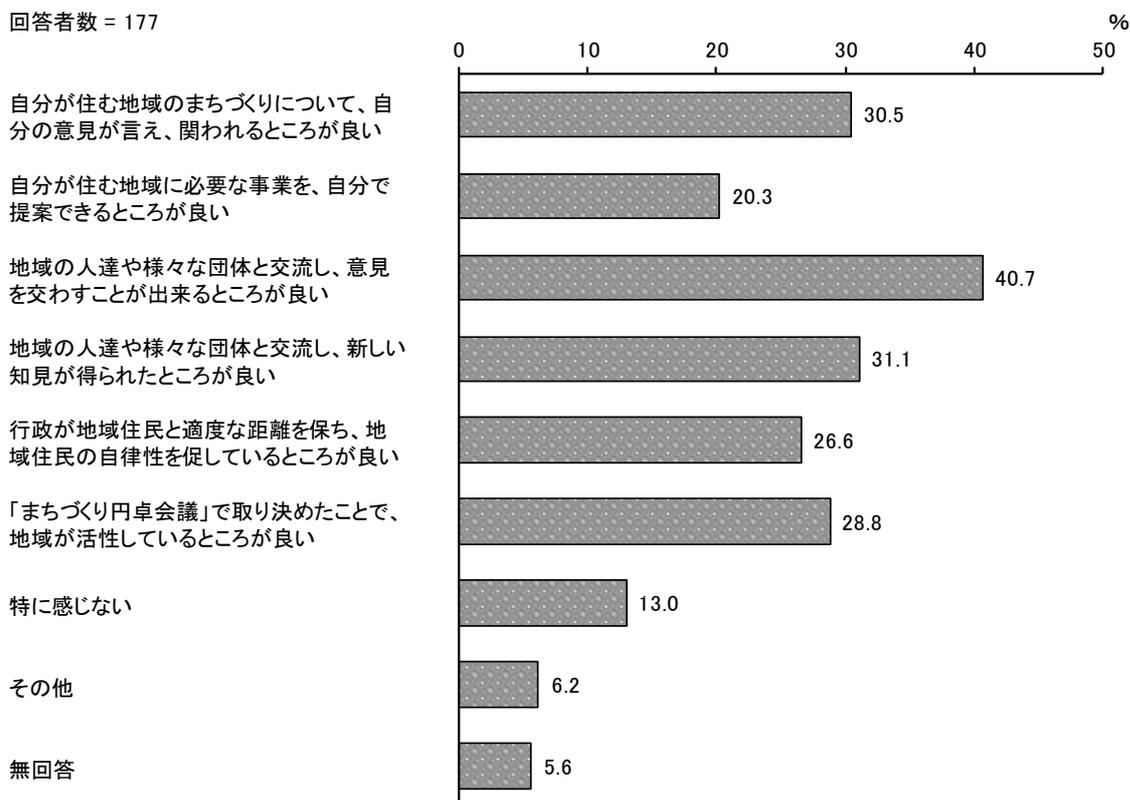
**<中学校区よりも広い単位がよい理由>**

- ・他の円卓会議の内容がわからない
- ・市全体でも、町全体の活動でも狭山中学校区だけに集中している
- ・各校区の活動に差がありすぎる

問7 「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？  
(〇はいくつでも)

「地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い」の割合が40.7%と最も高く、次いで「地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い」の割合が31.1%、「自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、関われるところが良い」の割合が30.5%となっています。

回答者数 = 177

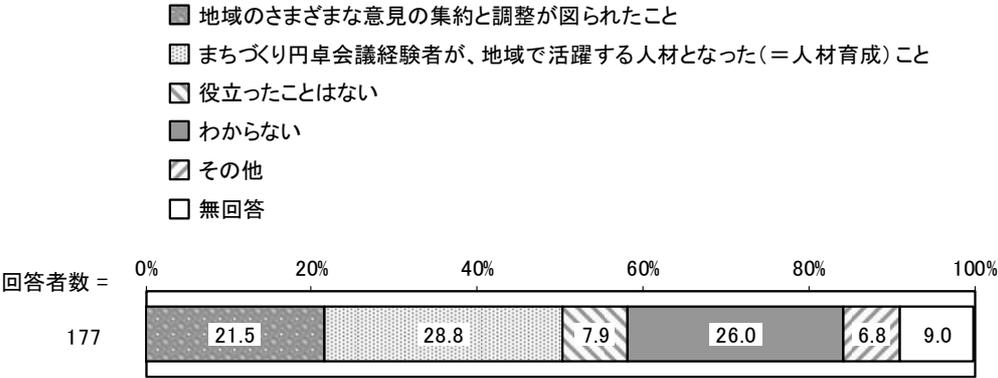


<その他の主な意見（抜粋）>

- ・ 円卓会議創立時の趣旨と違う活動になっている
- ・ コロナの影響で実質的に何もできていない
- ・ 防災訓練を取り入れ、災害時に即応できるようにしていきたい

**問8 まちづくり円卓会議は、実際にあなたの地域に対してどのような面で役立ったと感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)**

「まちづくり円卓会議経験者が、地域で活躍する人材となった(=人材育成)こと」の割合が28.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.0%、「地域のさまざまな意見の集約と調整が図られたこと」の割合が21.5%となっています。

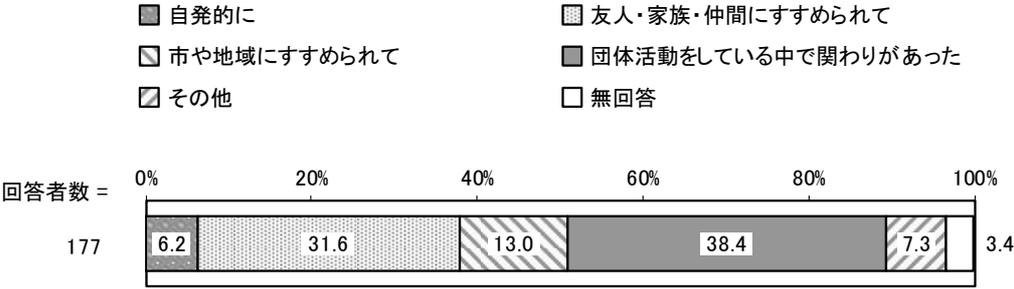


<その他の主な意見(抜粋)>

- ・自治会で対応できない事を実行できる
- ・イベントを通して地域の人達との交流が図られた
- ・円卓会議を知らない人が多いので、役に立っていないと思います
- ・地域住民と子ども達を含めた地域活性化には良い

**問9 まちづくり円卓会議の活動に参加することになったきっかけは何ですか?最も当てはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)**

「団体活動をしている中で関わりがあった」の割合が38.4%と最も高く、次いで「友人・家族・仲間におすすめられて」の割合が31.6%、「市や地域におすすめられて」の割合が13.0%となっています。

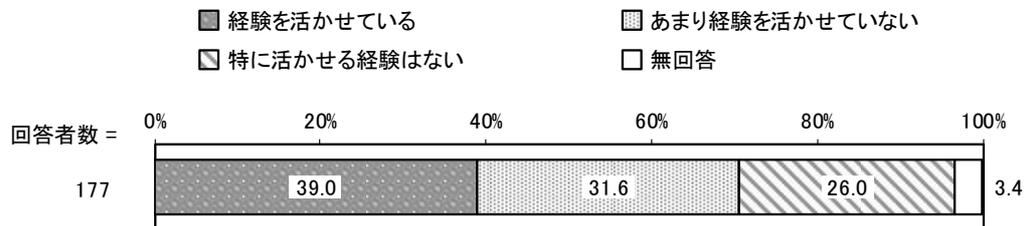


<その他の主な意見(抜粋)>

- ・自治会
- ・地区長の勧めで
- ・シルバーアドバイザー養成講座(大阪府)、まちづくり講座(大学)(大阪狭山市)等を受講して

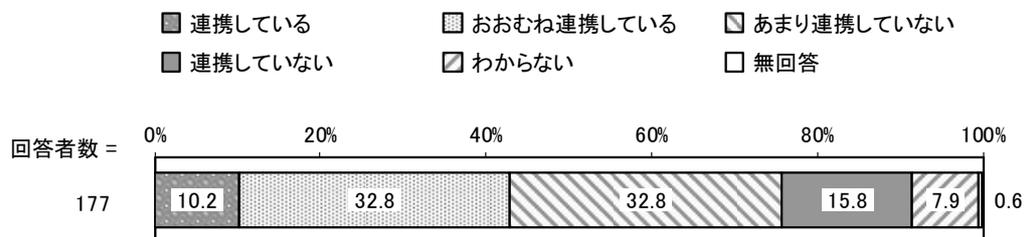
**問 10 まちづくり円卓会議の活動はご自身の経験を活かしていると感じますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)**

「経験を活かしている」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「あまり経験を活かしていない」の割合が 31.6%、「特に活かせる経験はない」の割合が 26.0%となっています。



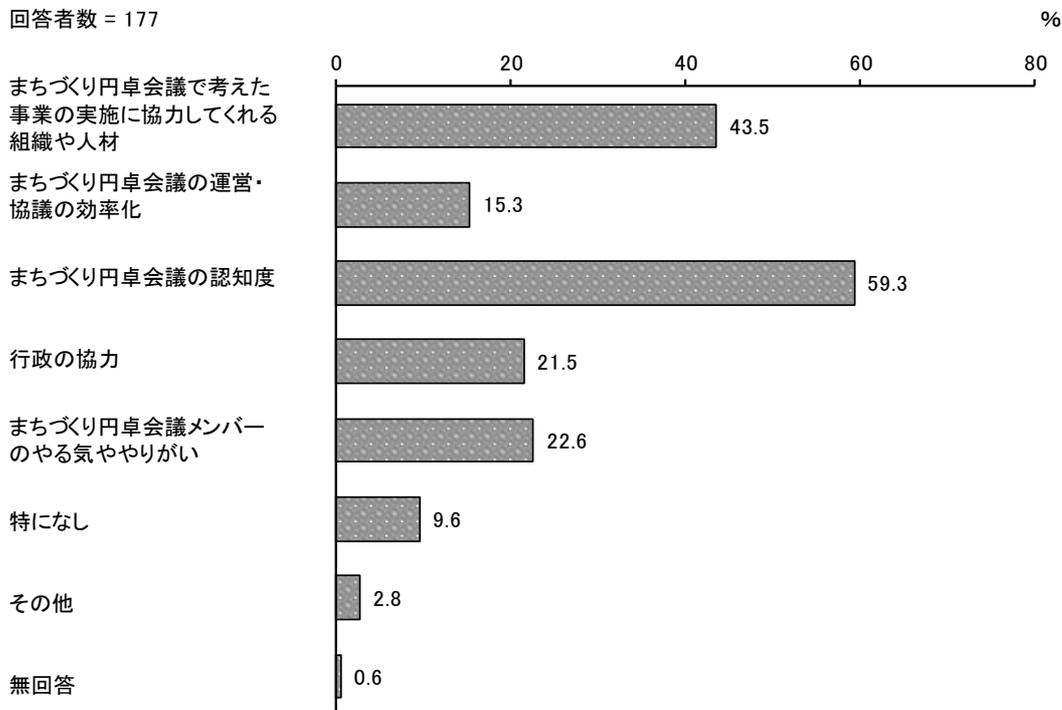
**問 11 まちづくり円卓会議が活動する上で、地域コミュニティや自治会等の地域の団体との連携は、必要不可欠ですが、あなたの地域では、連携が行われていると感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)**

「連携している」と「おおむね連携している」を合わせた“連携している”の割合が 43.0%、「あまり連携していない」と「連携していない」を合わせた“連携していない”の割合が 48.6%、「わからない」の割合が 7.9%となっています。



問 12 まちづくり円卓会議が、協議等をする上で、足りていないと感じるものはありませんか。あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。  
(○はいくつでも)

「まちづくり円卓会議の認知度」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「まちづくり円卓会議で考えた事業の実施に協力してくれる組織や人材」の割合が 43.5%、「まちづくり円卓会議メンバーのやる気ややりがい」の割合が 22.6%となっています。

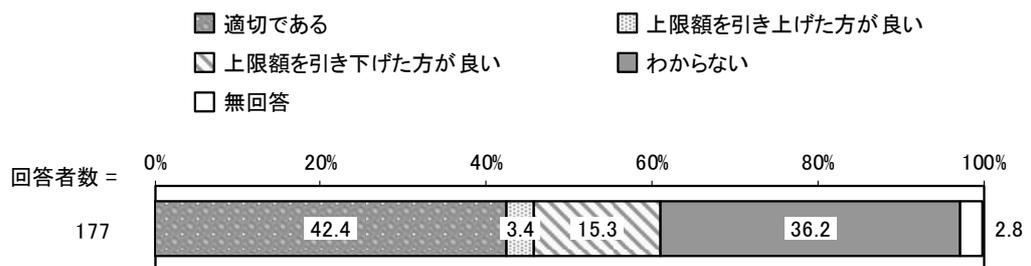


<その他の主な意見（抜粋）>

- ・次世代につながる若い人材の不足
- ・自治会との交流、情報交換が困難
- ・名前だけで実際の活動をしない人が多い

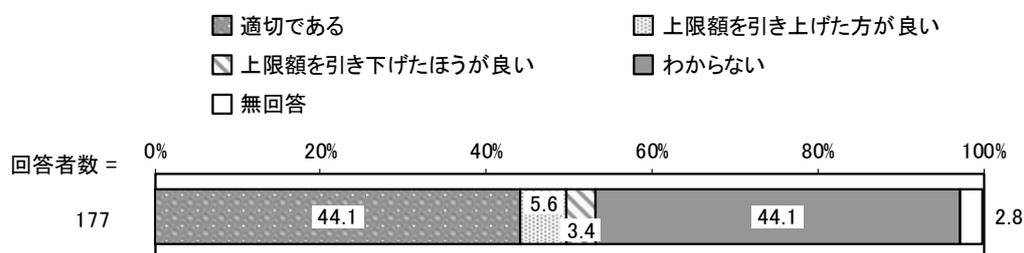
問 13 まちづくり円卓会議で提案できる事業の予算措置限度額は、上限が 500 万円（事業実施要領に基づく）となっています。この上限額についてどのように思われますか？（○は1つだけ）

「適切である」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 36.2%、「上限額を引き下げた方がよい」の割合が 15.3%となっています。



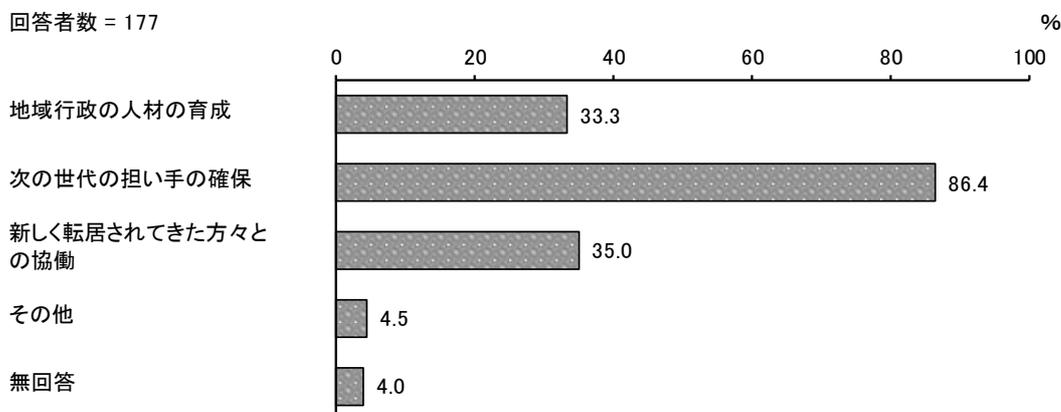
問 14 まちづくり円卓会議の運営費は、上限が 30 万円（運営費補助金交付要綱に基づき）となっています。この上限額についてどのように思われますか？  
（○は1つだけ）

「適切である」、「わからない」の割合が 44.1%と最も高くなっています。



問 15 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われるか？（○はいくつでも）

「次の世代の担い手の確保」の割合が 86.4%と最も高く、次いで「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が 35.0%、「地域行政の人材の育成」の割合が 33.3%となっています。

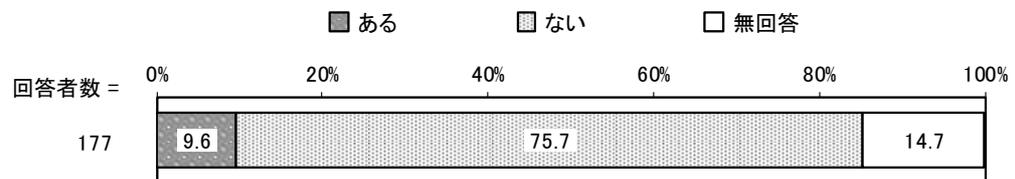


<その他の主な意見（抜粋）>

- ・もっと他の市民活動や個人と連携する機会をつくるべき
- ・人の意見が聞ける人材が中心となること
- ・交流のチャンスがなく、接点作りが困難
- ・人材育成

問 16 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文について、見直しすべき点がありますか？（○は1つだけ）

「ある」の割合が9.6%、「ない」の割合が75.7%となっています。

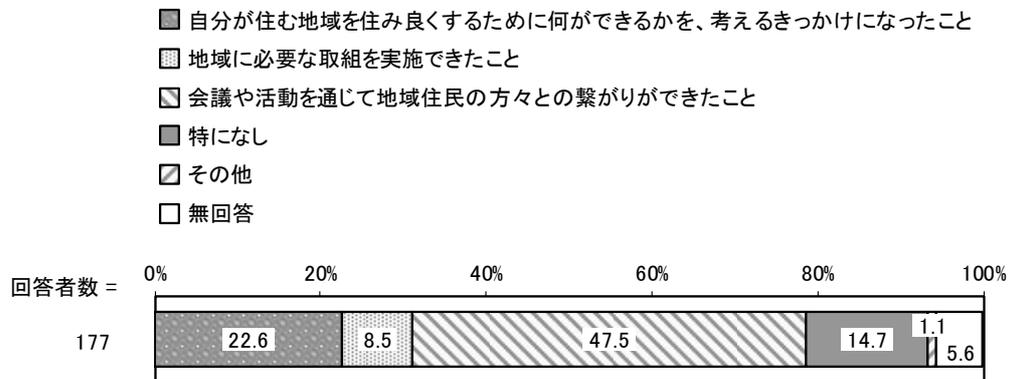


<見直しすべき点（抜粋）>

- ・身近な問題を処理できるので、小学校区単位にすべき
- ・法人化に努めても、その後何をしているかがわからない
- ・役員を選出を見直す
- ・対等な立場で、お互いの役割を理解し、協働できること
- ・3つの円卓会議が合同で一つの事業を提案・遂行できるようにする
- ・円卓会議の目的達成のため、「地域ビジョン」の策定は必須であり、その策定期限を設ける
- ・地域ビジョンは、市のビジョンに沿って策定されるべき
- ・条例が制定されたときの目的をもう一度見直すべき
- ・全体的に円卓会議の絵が具体的に絵に描いた餅にならないように
- ・活動に要する収入の確保に積極的に取り組む

問 17 これまでまちづくり円卓会議に参画してみて、あなた自身が良かったと思うことは何ですか？あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

「会議や活動を通じて地域住民の方々との繋がりができたこと」の割合が47.5%と最も高く、次いで「自分が住む地域を住み良くするために何ができるかを、考えるきっかけになったこと」の割合が22.6%、「特になし」の割合が14.7%となっています。

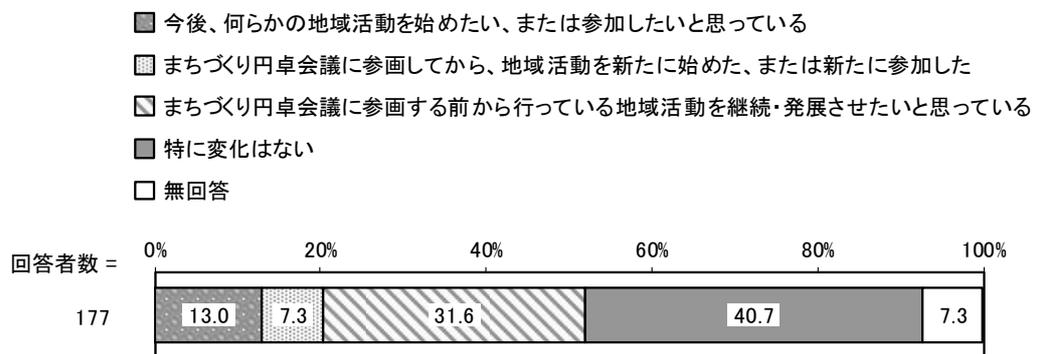


<その他の意見>

- ・様々な、イベントに参加したり、長年にわたり自分自身充実したと思っています
- ・運営方法が民主的でないことが分かった

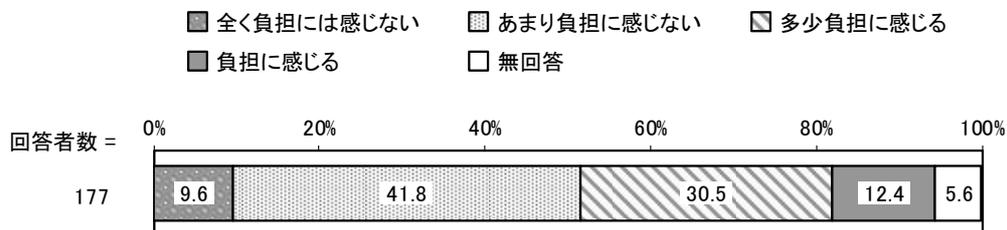
問 18 まちづくり円卓会議への参加をきっかけとし、地域づくりや地域活動に対するあなた自身の心境や行動に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

「特に変化はない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「まちづくり円卓会議に参画する前から行っている地域活動を継続・発展させたいと思っている」の割合が31.6%、「今後、何らかの地域活動を始めたい、または参加したいと思っている」の割合が13.0%となっています。



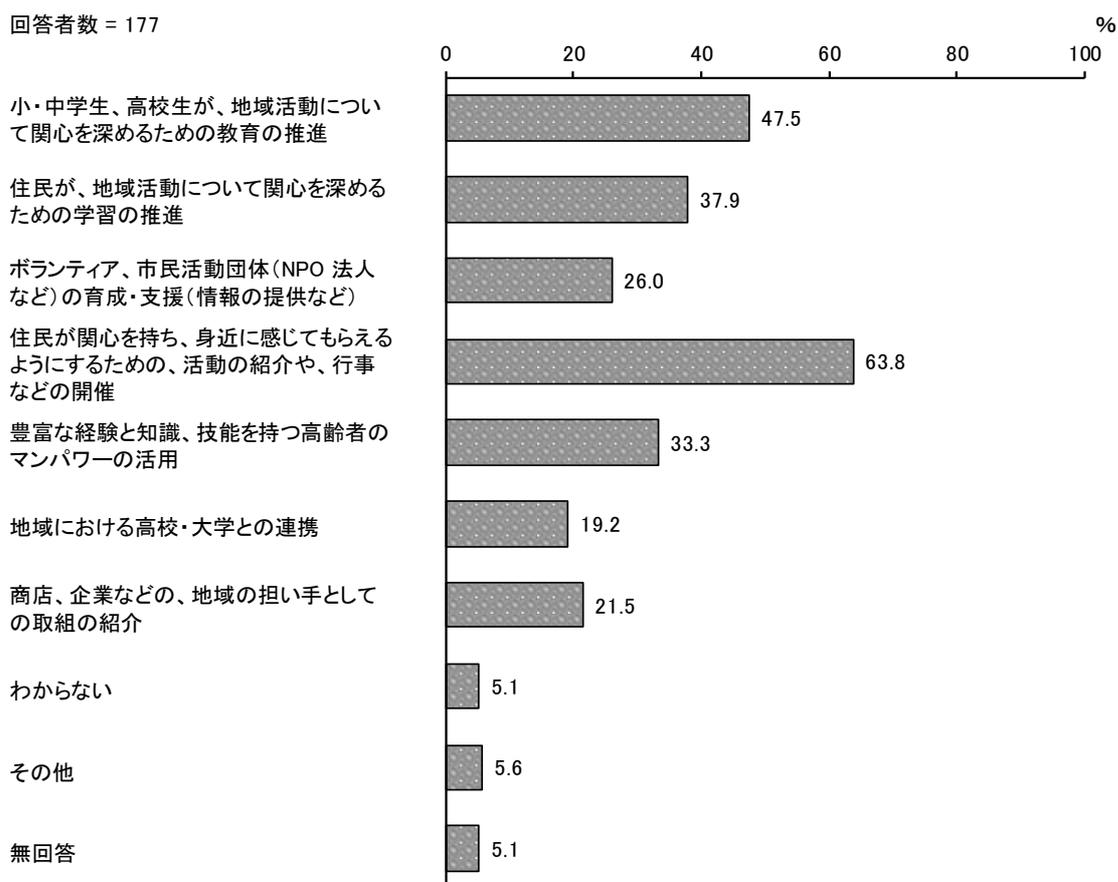
**問 19 まちづくり円卓会議の活動に参加していて負担に感じることはありますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。（○は1つだけ）**

「あまり負担に感じない」の割合が41.8%と最も高く、次いで「多少負担に感じる」の割合が30.5%、「負担に感じる」の割合が12.4%となっています。



**問 20 まちづくり円卓会議の活動に新しい人やたくさんの人に参画してもらうにはどんなことが必要だと思いますか？（○はいくつでも）**

「住民が関心を持ち、身近に感じてもらえるようにするための、活動の紹介や、行事などの開催」の割合が63.8%と最も高く、次いで「小・中学生、高校生が、地域活動について関心を深めるための教育の推進」の割合が47.5%、「住民が、地域活動について関心を深めるための学習の推進」の割合が37.9%となっています。

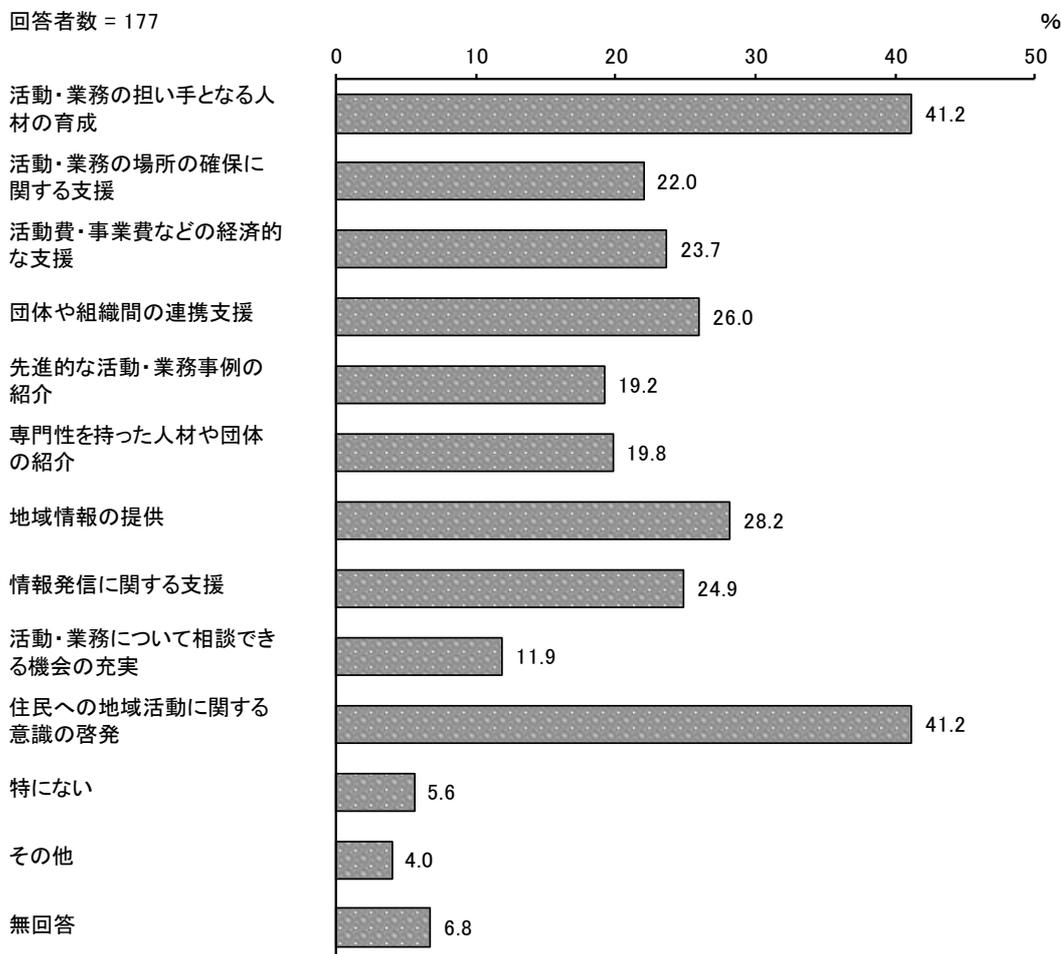


**<その他の主な意見（抜粋）>**

- ・ 停滞の理由を公表し、市民の意見を聞き、改善に向ける
- ・ 円卓会議運営体制の見直し
- ・ 校区内全ての自治会からの推薦者を参画させる

**問 21 まちづくり円卓会議の活動をすすめるうえで、行政に求めることはありますか？  
(〇はいくつでも)**

「活動・業務の担い手となる人材の育成」、「住民への地域活動に関する意識の啓発」の割合が41.2%と最も高く、次いで「地域情報の提供」の割合が28.2%となっています。



**<その他の主な意見（抜粋）>**

- ・職員がオブザーバー的な立場でなく、対等に会議に参加するシステムが必要、円卓会議を「手伝える」ではなく「一緒に動かしていく」という思いが必要
- ・制約を少なくする

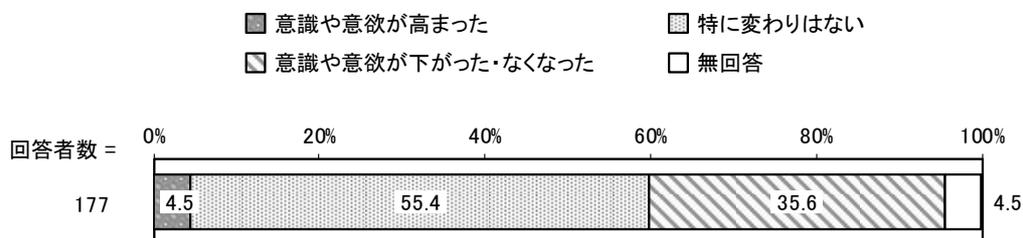
**問 22 まちづくり円卓会議において実施してみたい事業や取り組みはありますか？**

**<主な意見（抜粋）>**

- ・地域の災害(防災マップ)に合った防災訓練の実施(自治会組織単位)
- ・三中学校区(南・三・狭山)共同の取り組み、連携
- ・高齢化に伴う生活、買い物、通院の手助け
- ・地元の子どもたちとの交流
- ・小学生全員参加の美化清掃活動
- ・世代間交流の推進
- ・円卓会議の認知度向上

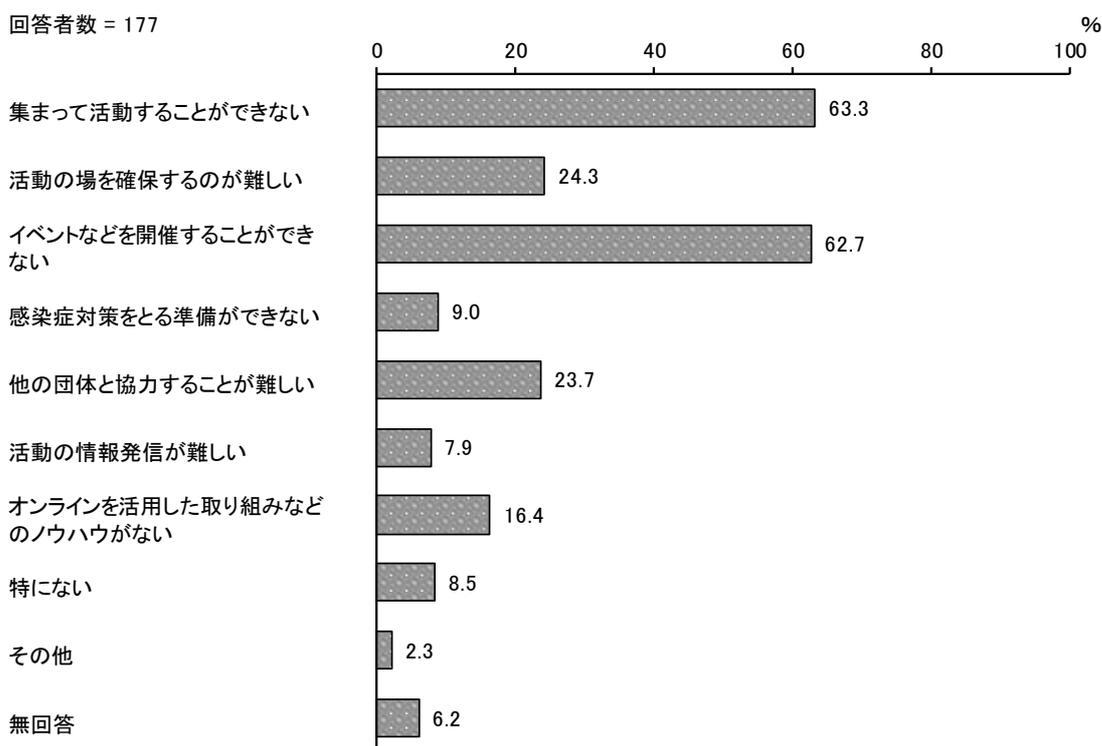
問 23 新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって、事業が中止や延期になりました。それによってご自身の参画への意識や意欲に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

「特に変わりはない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「意識や意欲が下がった・なくなった」の割合が35.6%となっています。



問 24 コロナ禍で事業を継続するうえで難しいと感じることはありますか？(〇はいくつでも)

「集まって活動することができない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「イベントなどを開催することができない」の割合が62.7%、「活動の場を確保するのが難しい」の割合が24.3%となっています。



#### <その他の意見>

- ・ 対策の統一性
- ・ 一旦止まった(中止等)行事など、2~3年も空けば再度、元に戻すのに労力が必要になります
- ・ 正しい情報の提供、取得 コロナ禍でも事業を中断しないための方策
- ・ コロナということで実施しないのではなく、他のやり方を考えて、実施することが必要と思う

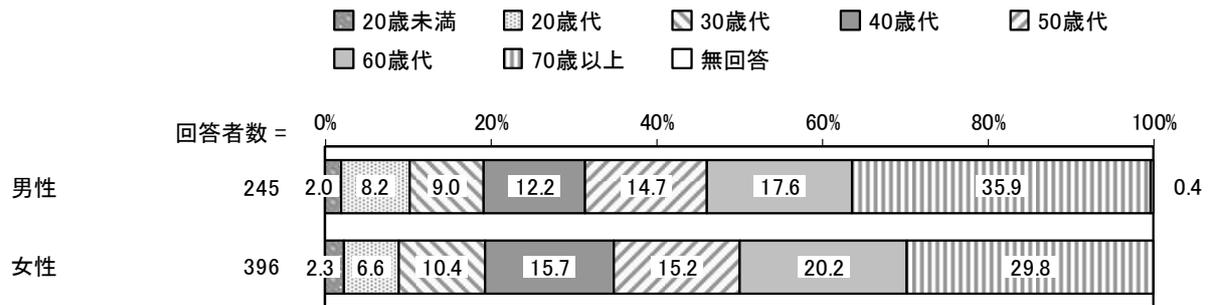
### Ⅲ クロス集計結果

#### 1 市民

##### (1) 性別クロス集計結果

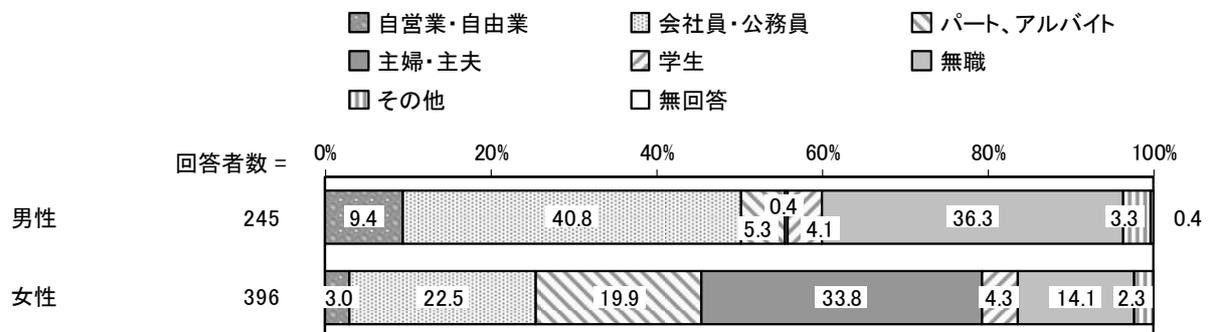
**問2 年齢をお聞かせください。**

性別で見ると、女性に比べ、男性で「70歳以上」の割合が高くなっています。



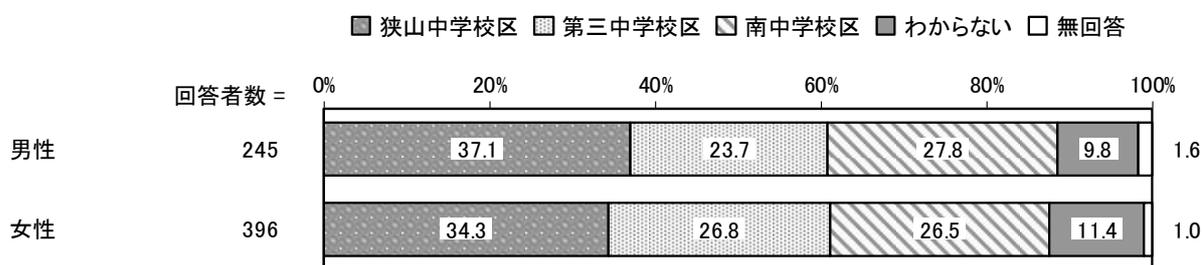
**問3 職業をお聞かせください。**

性別で見ると、女性に比べ、男性で「会社員・公務員」「無職」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「主婦・主夫」の割合が高くなっています。



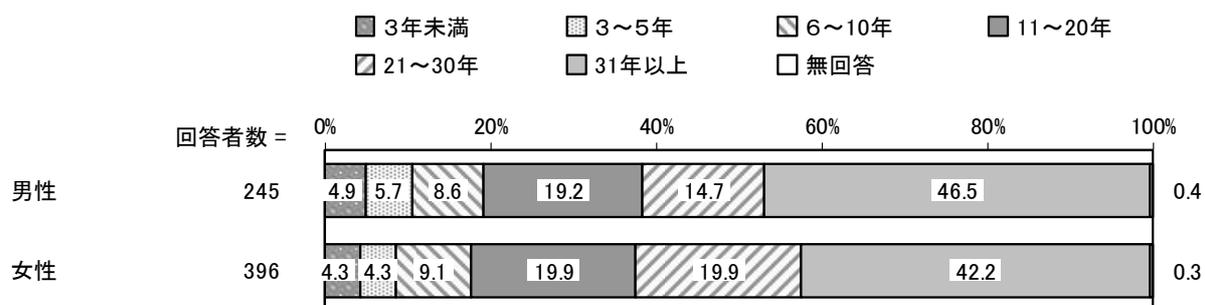
**問4 お住まいの中学校区をお聞かせください。**

性別でみると、大きな差異はみられません。



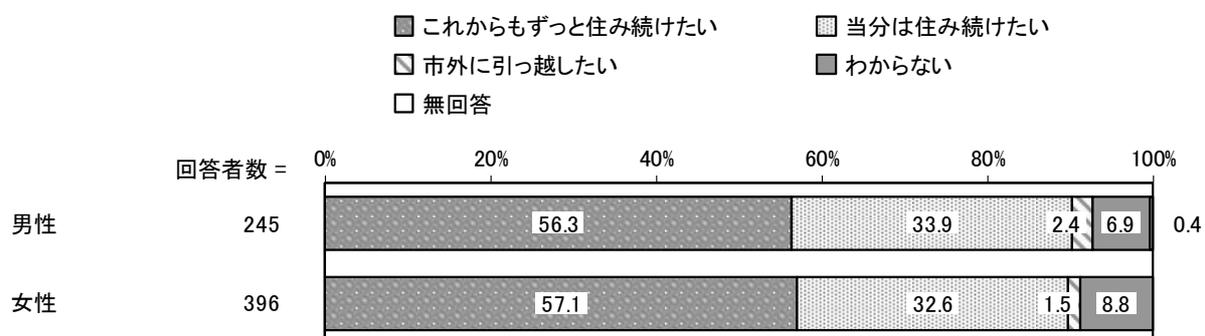
**問5 大阪狭山市での居住年数をお聞かせください。**

性別でみると、男性に比べ、女性で「21～30年」の割合が高くなっています。



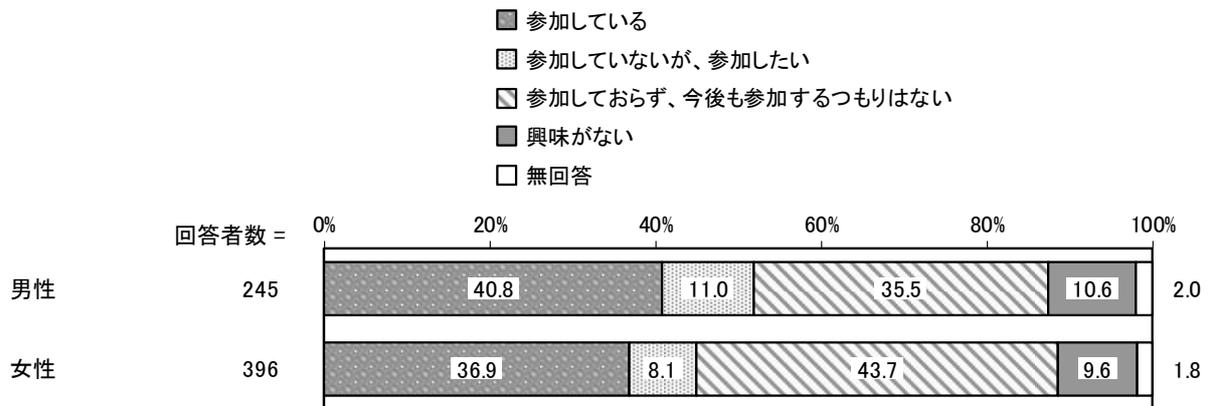
**問6 これからも大阪狭山市に住み続けたいと思われませんか？**

性別でみると、大きな差異はみられません。



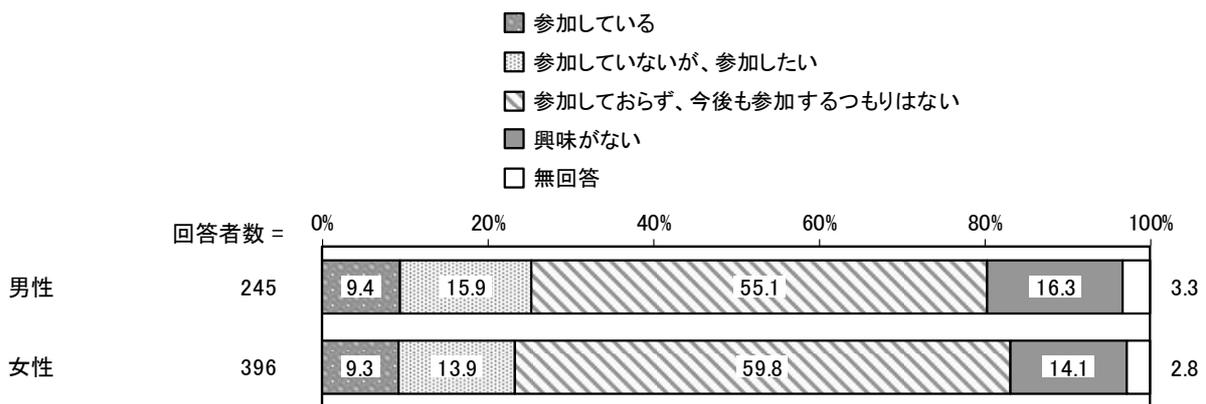
**問7 自治会活動に参加されていますか？（○は1つだけ）**

性別で見ると、男性に比べ、女性で「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっています。



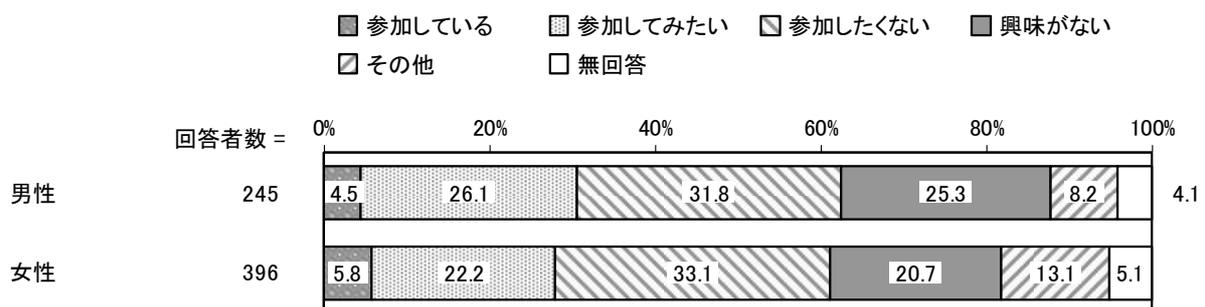
**問8 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動に参加されていますか？（○は1つだけ）**

性別で見ると、大きな差異はみられません。



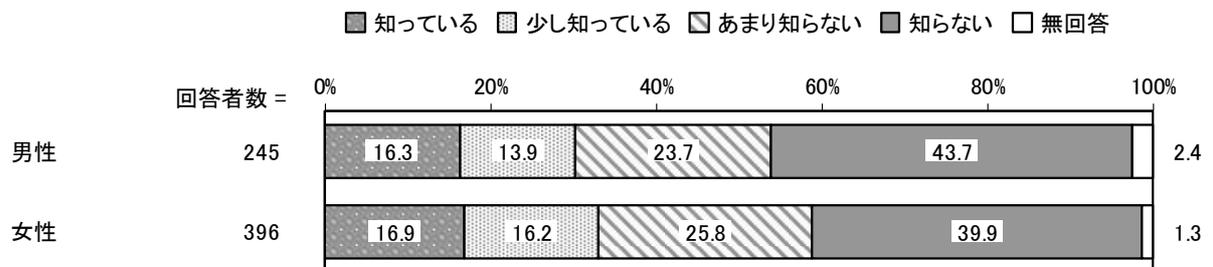
**問9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの担い手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについてどう思われますか？（○は1つだけ）**

性別で見ると、大きな差異はみられません。



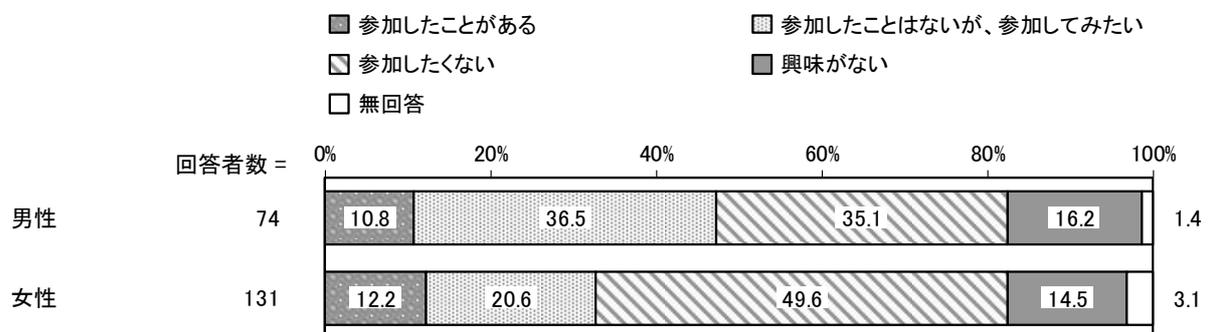
問 10 市では、市民のみなさんが身近なところからまちづくりに主体的にかかわるための契機づくりの場として、自主的に一堂に会してまちづくりを話し合う場である「まちづくり円卓会議」を設置しました。ここでは、地域のニーズに即した事業について市に提案したり、独自の事業を実施していただいています。このようなまちづくり円卓会議について知っていましたか？（○は1つだけ）

性別でみると、大きな差異はみられません。



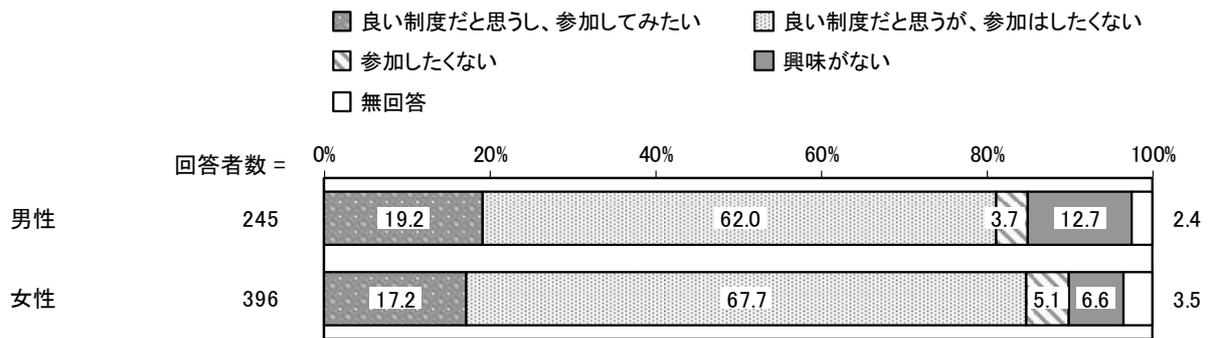
問 10-1 「まちづくり円卓会議」に参加されたことはありますか？（○は1つだけ）

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加したことはないが、参加してみたい」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「参加したくない」の割合が高くなっています。



問 11 まちづくり円卓会議は、「自分たちのまちを自分たちでつくる」という理念のもとに、自分たちのまちに必要なことを話し合いながら、地域のニーズに即した事業を市に提案したり、独自で実施したりする制度です。この制度についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

性別で見ると、男性に比べ、女性で「良い制度だと思うが、参加はしたくない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「興味がない」の割合が高くなっています。



問 12 「まちづくり円卓会議」に参加されたことのある方のみお答えください。  
「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)  
また、ご意見はその他にご記入ください。

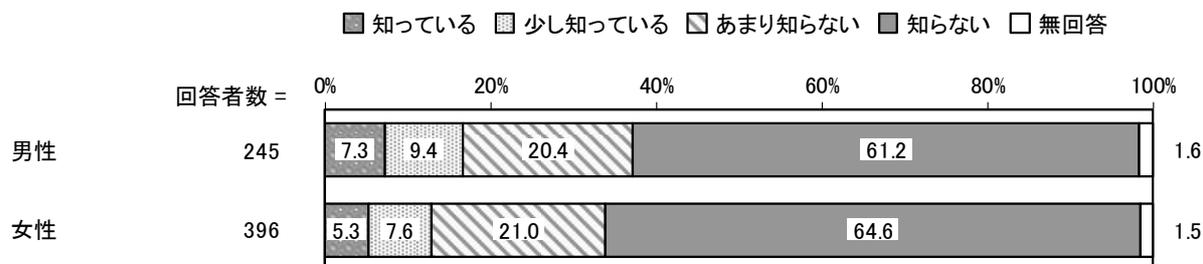
性別で見ると、有効な回答がありませんでした。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、関われるところが良い	自分が住む地域に必要な事業を、自分で提案できるところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い	行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い	「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性化しているところが良い	特に感じない	その他	無回答
男性	8	25.0	—	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5	—	—
女性	16	18.8	12.5	37.5	56.3	18.8	18.8	6.3	6.3	18.8

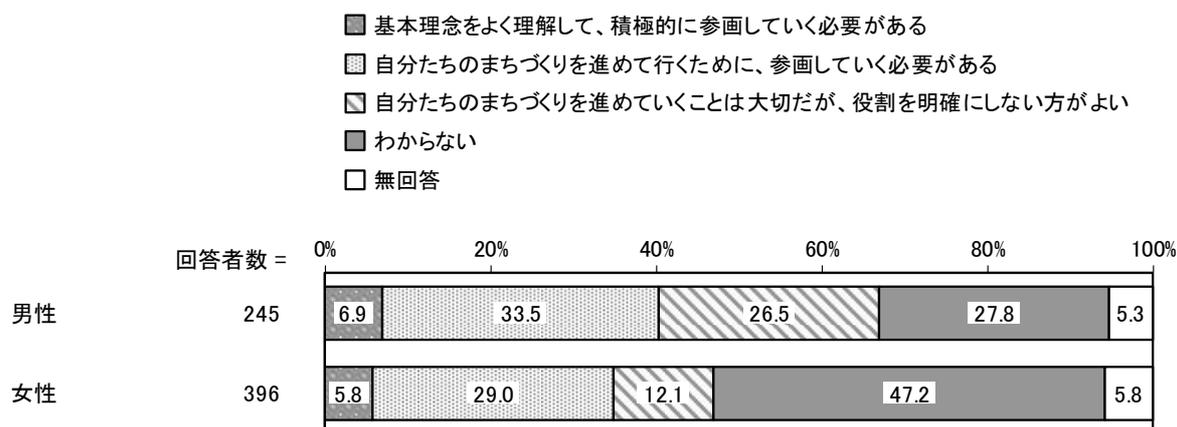
問 13 市では、「まちづくり円卓会議」が、より自律的に活動できるように平成 25 年 4 月 1 日から市民自治のまちづくり「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を施行しています。このような条例があることをご存じですか？（○は 1 つだけ）

性別で見ると、大きな差異はみられません。



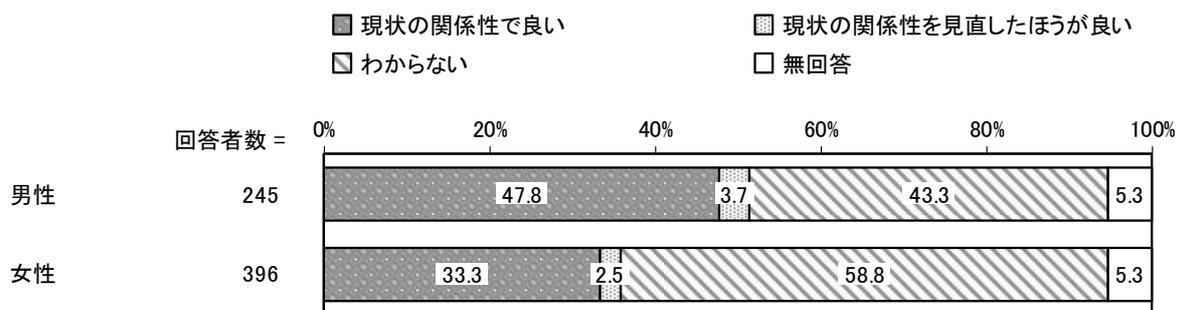
問 14 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、「まちづくり円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理解し、協働して行う」という基本理念に基づいて、市民のみなさんの役割として、まちづくりへの関心を高めるとともに、積極的にこれに参画するものとしています。この市民の役割についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを 1 つ選んでください。（○は 1 つだけ）

性別で見ると、女性に比べ、男性で「自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



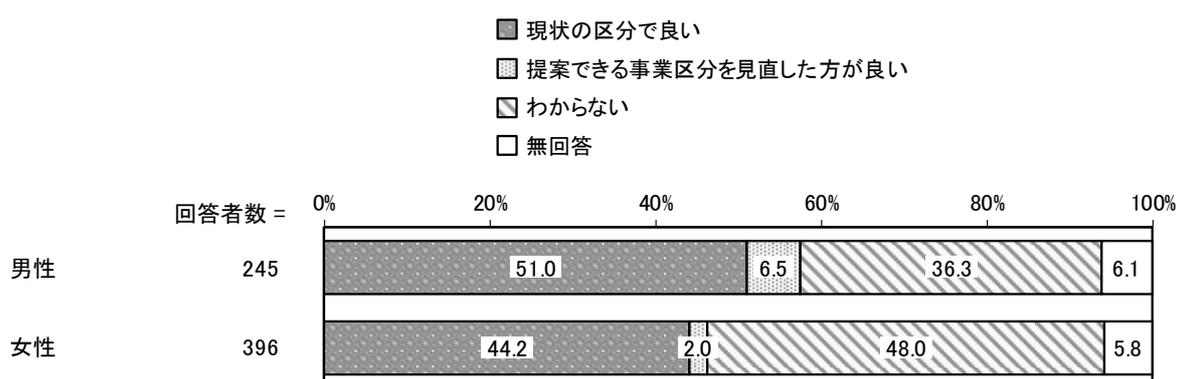
問 17 まちづくり円卓会議は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という趣旨のもと、主体的にまちづくりに参画し、行政は円卓会議の自主性・自立性を尊重し、活動のサポートを行うことを原則としています。このような、地域と行政の関係性についてどのように思われますか。あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

性別で見ると、女性に比べ、男性で「現状の関係性で良い」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



問 18 まちづくり円卓会議から市への事業提案は、①地域コミュニティの育成に関する事業、②地域福祉の増進に関する事業、③環境に関する事業、④防犯・防災等に関する事業、⑤その他校区のまちづくりにつながる事業の5つの事業区分となっています。この事業区分について、どのように思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

性別で見ると、女性に比べ、男性で「現状の区分で良い」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



問 20 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(〇はいくつでも)

性別でみると、女性に比べ、男性で「地域行政の人材の育成」の割合が高くなっています。

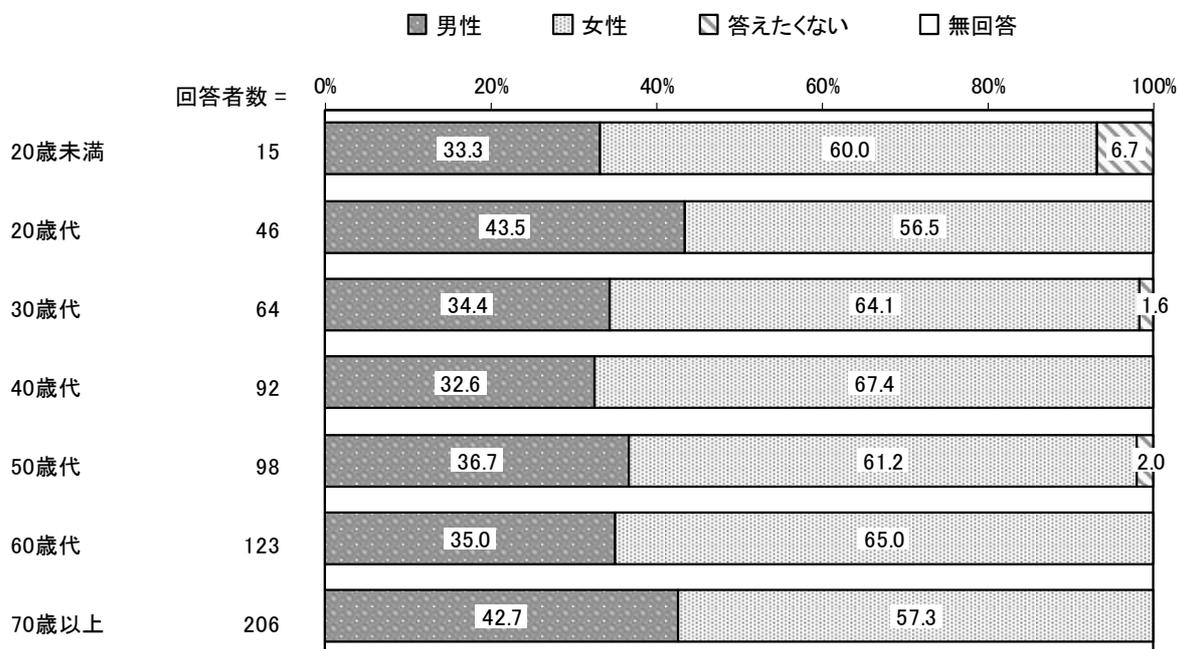
単位：%

区分	回答者数 (件)	地域行政の人材の育成	次の世代の担い手の確保	新しく転居されてきた 方々との協働	その他	無回答
男性	245	30.2	56.3	20.8	5.3	9.8
女性	396	24.7	57.6	17.7	4.8	13.6

## (2) 年代別クロス集計結果

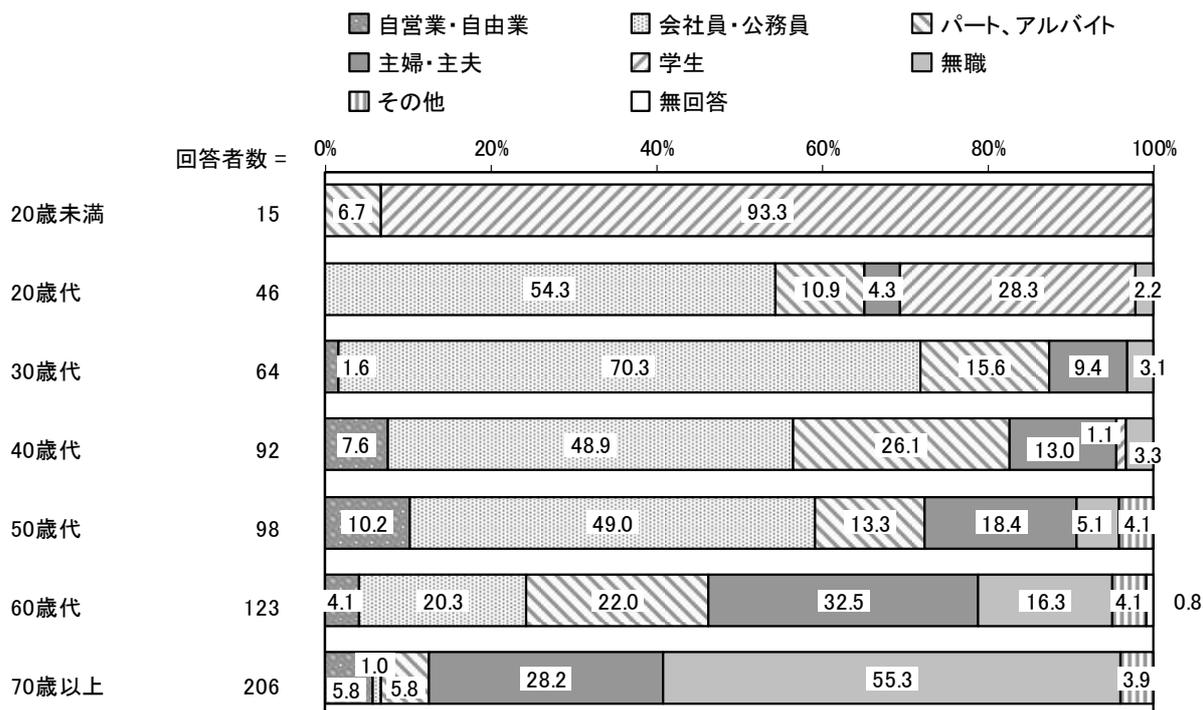
### 問1 性別をお聞かせください。

年代別でみると、他に比べ、20歳未満で「答えたくない」の割合が高くなっています。



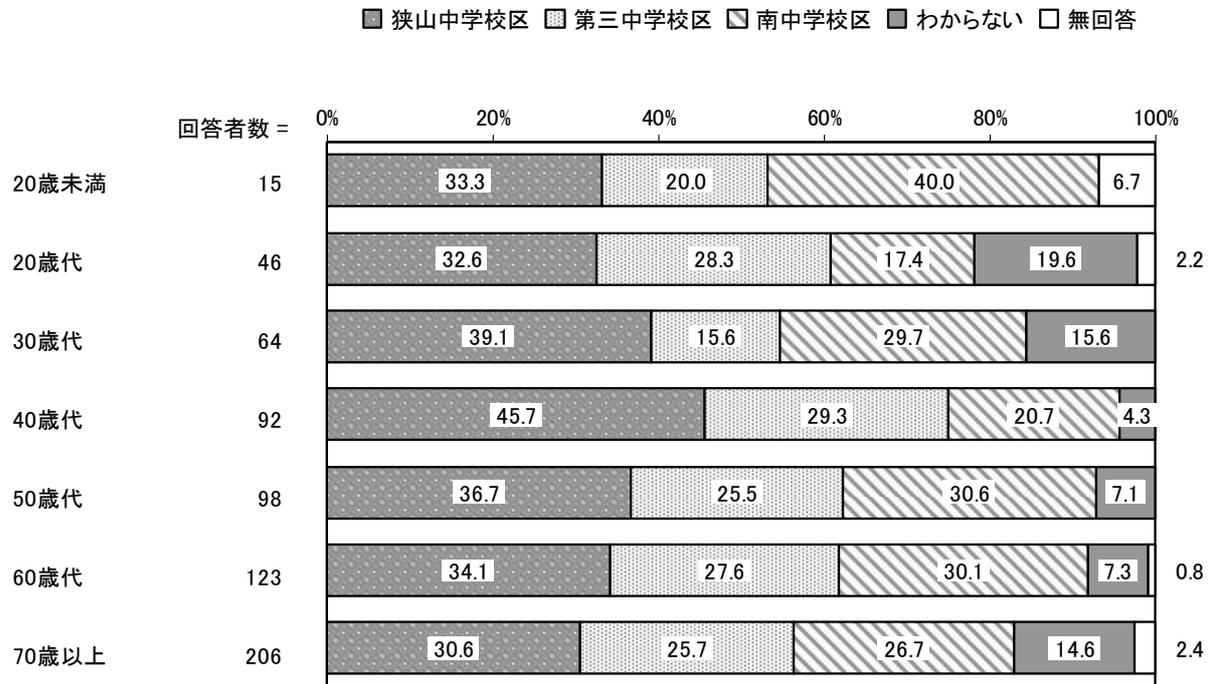
### 問3 職業をお聞かせください。

年代別でみると、他に比べ、20歳未満で「学生」の割合が、30歳代で「会社員・公務員」の割合が、60歳代で「主婦・主夫」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「無職」の割合が高くなっています。



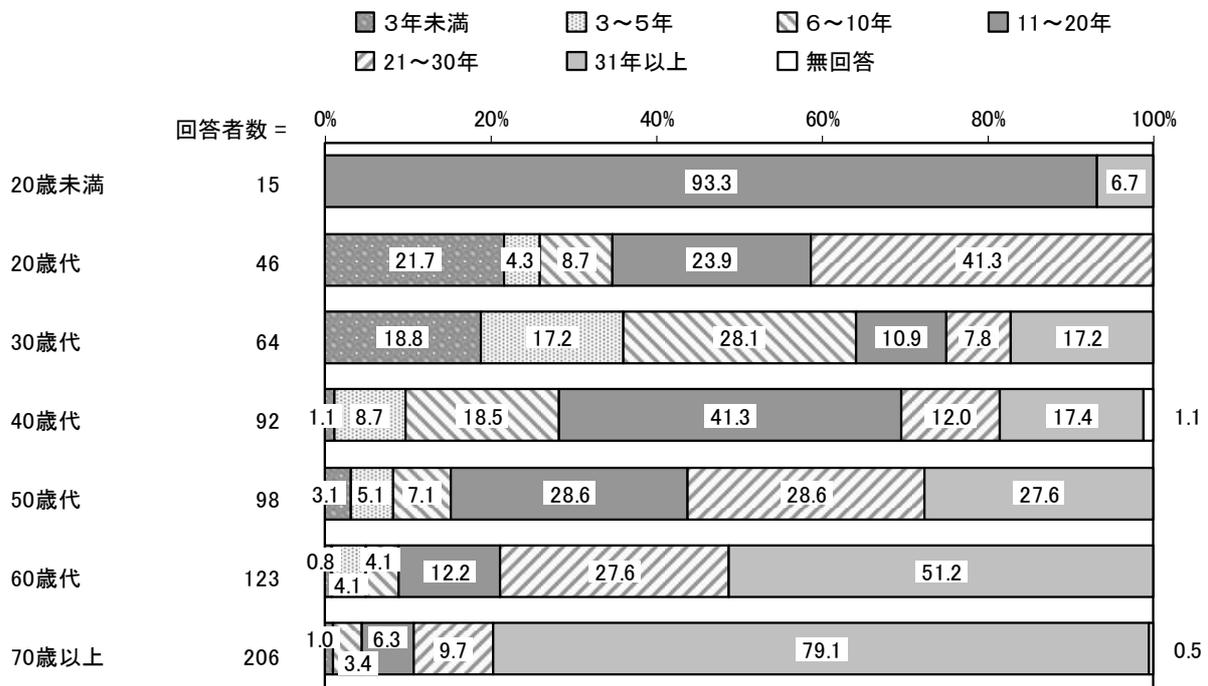
問4 お住まいの中学校区をお聞かせください。

年代別でみると、他に比べ、40歳代で「狭山中学校区」の割合が、20歳未満で「南中学校区」の割合が高くなっています。



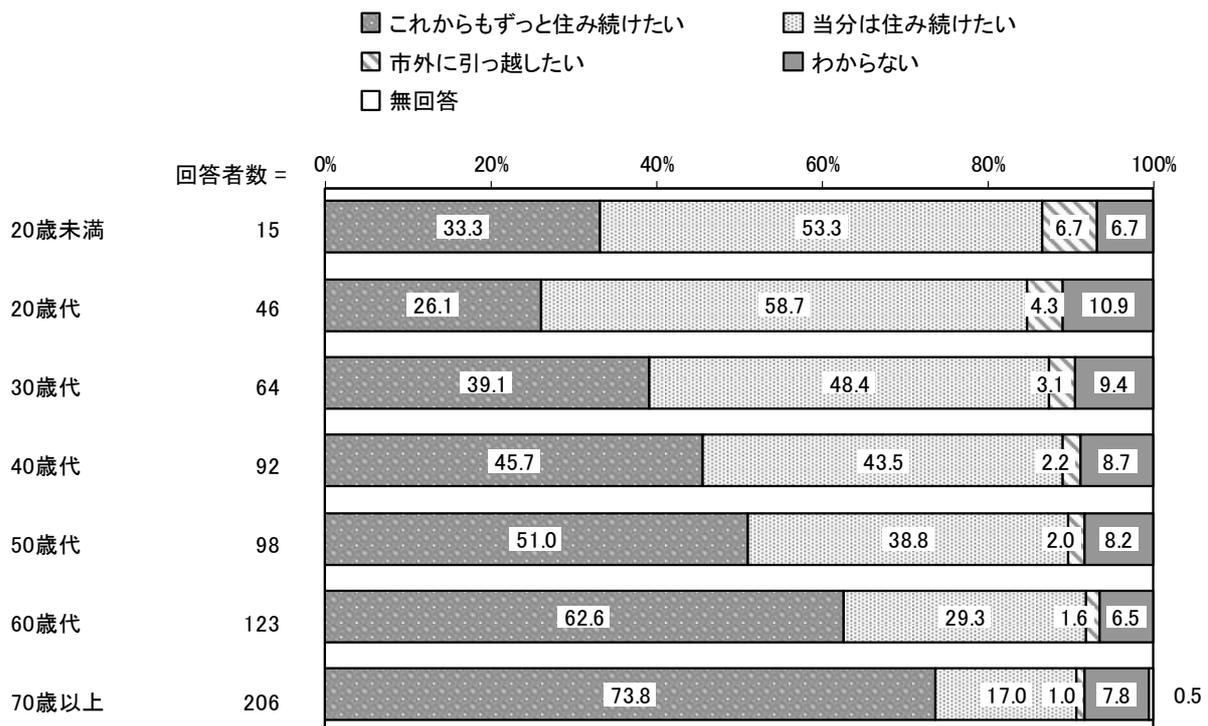
### 問5 大阪狭山市での居住年数をお聞かせください。

年代別でみると、他に比べ、20歳未満で「11～20年」の割合が、20歳代で「21～30年」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「31年以上」の割合が高くなっています。



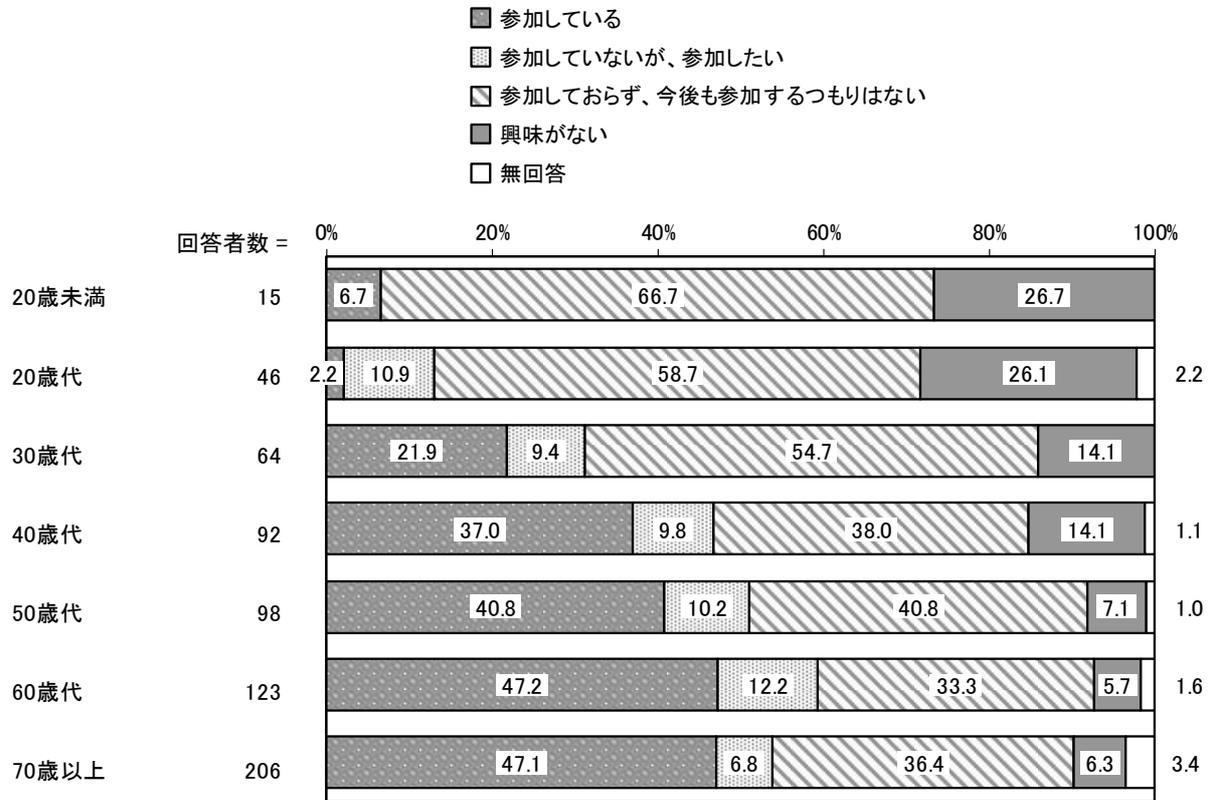
### 問6 これからも大阪狭山市に住み続けたいと思われませんか？

年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「これからもずっと住み続けたい」の割合が、20歳代で「当分は住み続けたい」の割合が高くなっています。



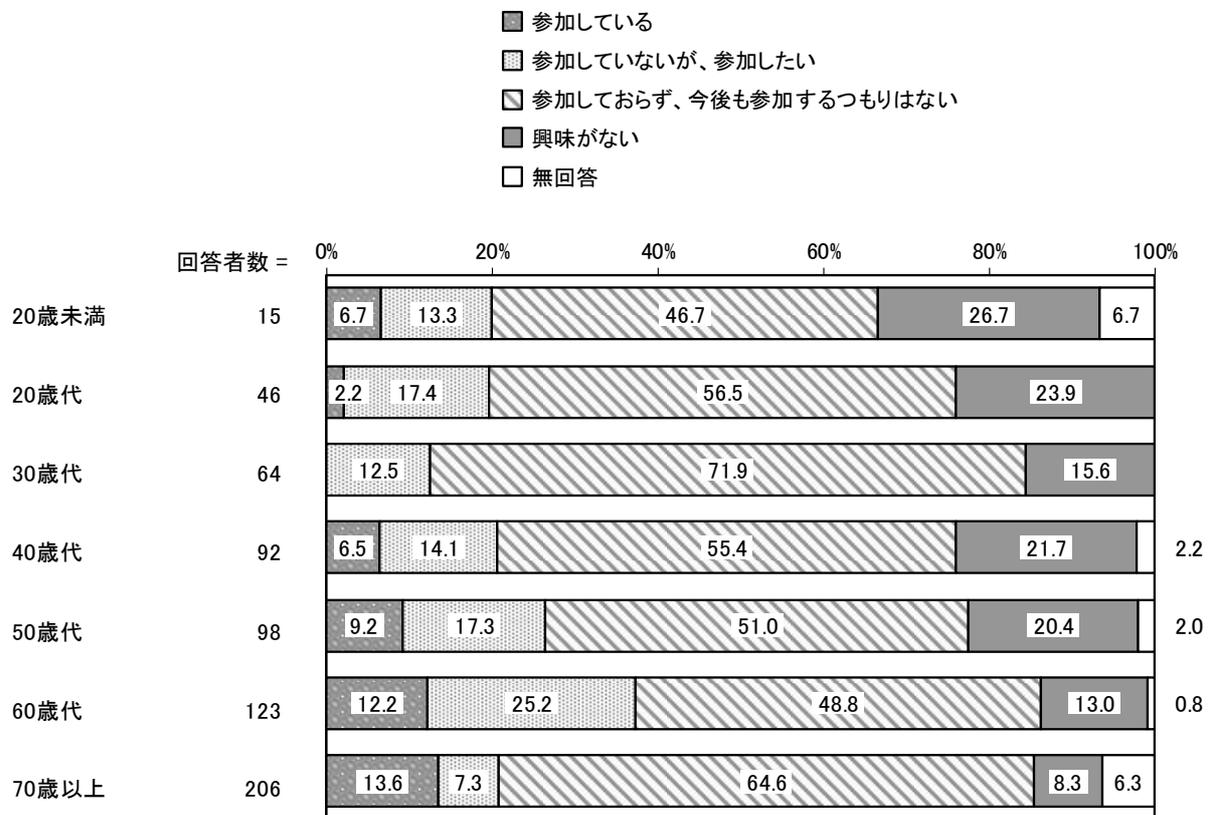
問7 自治会活動に参加されていますか？（○は1つだけ）

年代別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「参加している」の割合が、20歳未満で「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっています。また、20歳未満で「参加している」の割合が低くなっています。



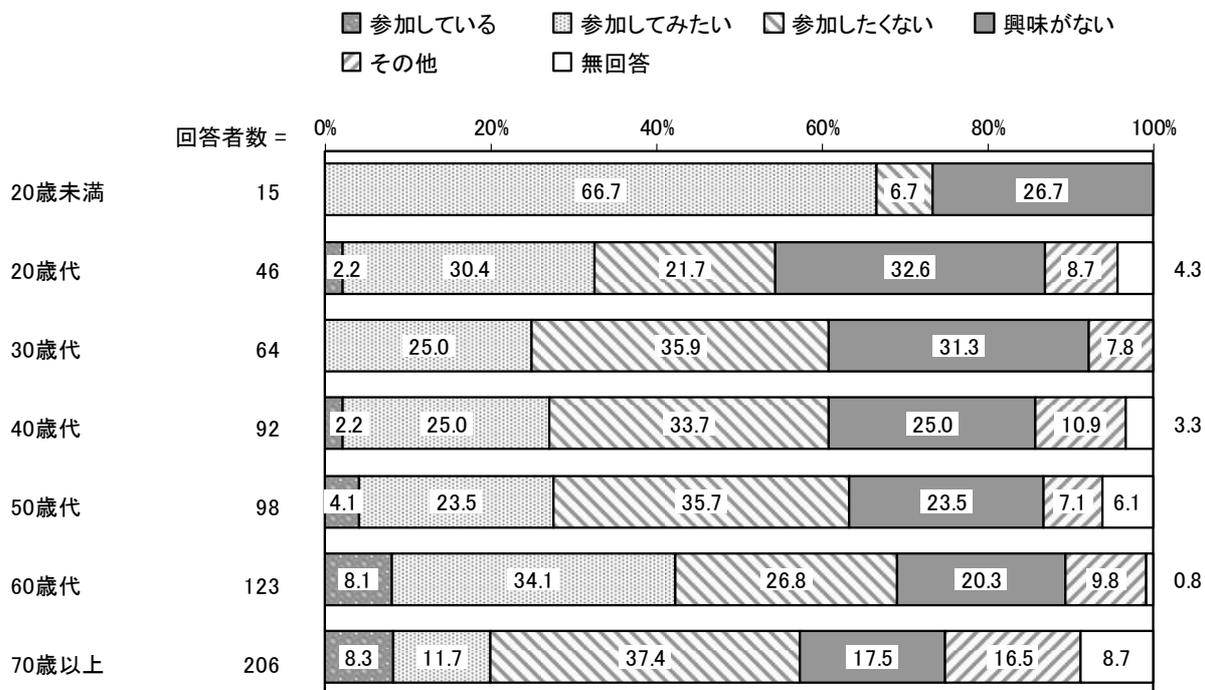
問8 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動に参加されていますか？  
(〇は1つだけ)

年代別で見ると、他に比べ、60歳代で「参加していないが、参加したい」の割合が、70歳以上で「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっています。



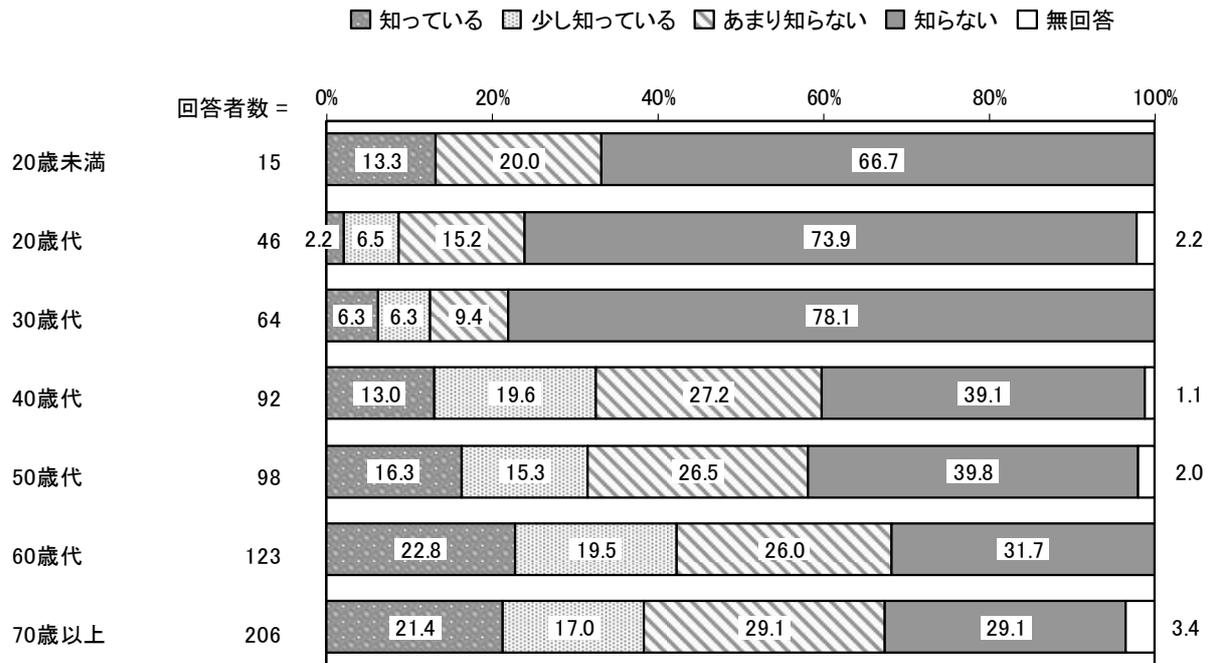
問9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの担い手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについてどう思われますか？（〇は1つだけ）

年代別でみると、他に比べ、20歳未満で「参加してみたい」の割合が高くなっています。



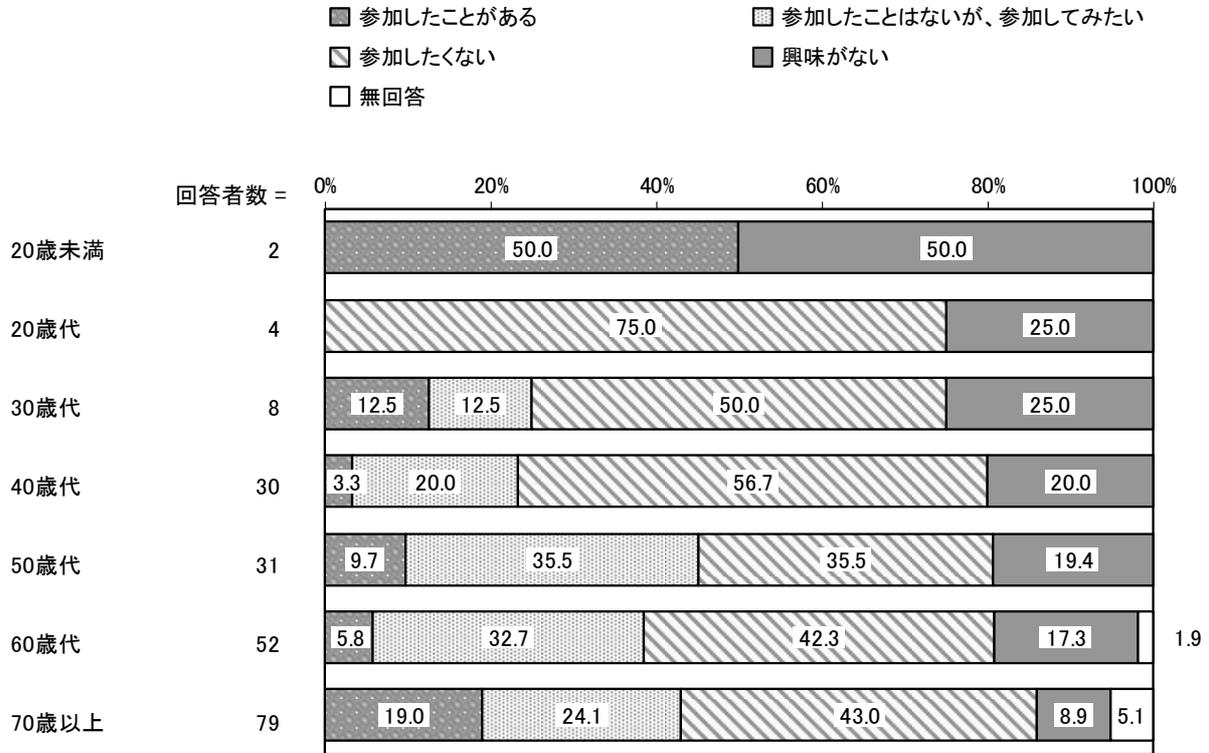
問 10 市では、市民のみなさんが身近なところからまちづくりに主体的にかかわるための契機づくりの場として、自主的に一堂に会してまちづくりを話し合う場である「まちづくり円卓会議」を設置しました。ここでは、地域のニーズに即した事業について市に提案したり、独自の事業を実施していただいています。このようなまちづくり円卓会議について知っていましたか？（○は1つだけ）

年代別で見ると、他に比べ、20歳未満、20歳代、30歳代で「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が高くなっています。



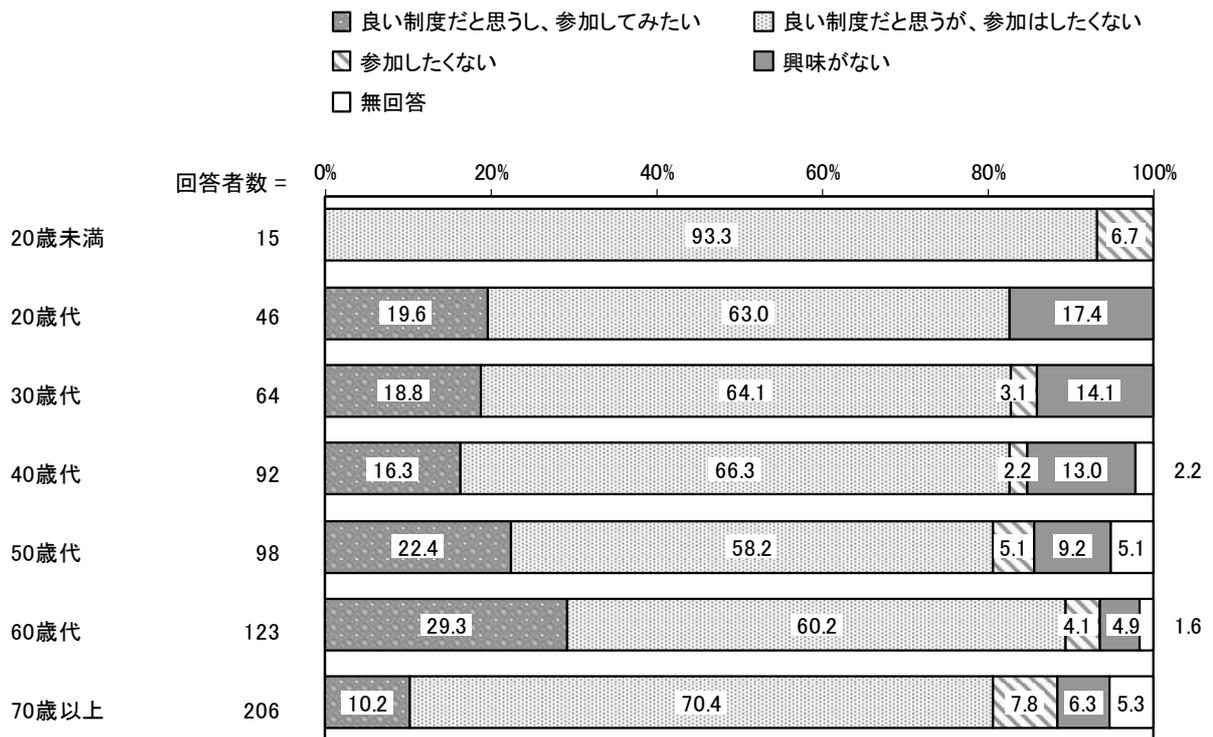
問 10-1 「まちづくり円卓会議」に参加されたことはありますか？（○は1つだけ）

年代別でみると、他に比べ、40歳代で「参加したくない」の割合が、70歳以上で「参加したことがある」の割合が高くなっています。



問 11 まちづくり円卓会議は、「自分たちのまち自分たちでつくる」という理念のもとに、自分たちのまちに必要なことを話し合いながら、地域のニーズに即した事業を市に提案したり、独自で実施したりする制度です。この制度についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

年代別でみると、他に比べ、20歳未満で「良い制度だと思うが、参加はしたくない」の割合が、60歳代で「良い制度だと思うし、参加してみたい」の割合が高くなっています。



問 12 「まちづくり円卓会議」に参加されたことのある方のみお答えください。

「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。（〇はいくつでも）

また、ご意見はその他にご記入ください。

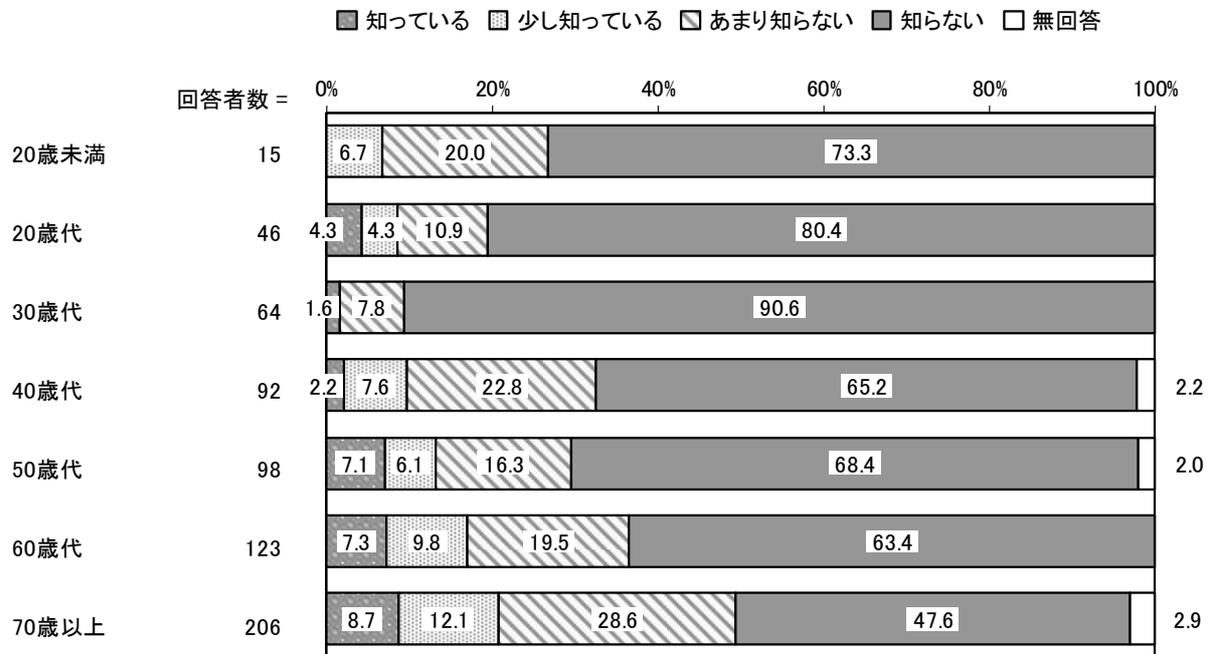
年代別でみると、有効な回答がありませんでした。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分が住む地域のまちづくりについて、 自分の意見が言え、聞かれるところが良い	自分が住む地域に必要な事業を、自分で 提案できるところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、意見を 交わすことが出来るところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、新しい 知見が得られたところが良い	行政が地域住民と適度な距離を保ち、 地域住民の自律性を促しているところが良い	「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、 地域が活性化しているところが良い	特に感じない	その他	無回答
20 歳未満	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
20 歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30 歳代	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
40 歳代	1	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—
50 歳代	3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	—	—
60 歳代	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	—	—	33.3
70 歳以上	15	20.0	—	33.3	46.7	13.3	13.3	6.7	6.7	13.3

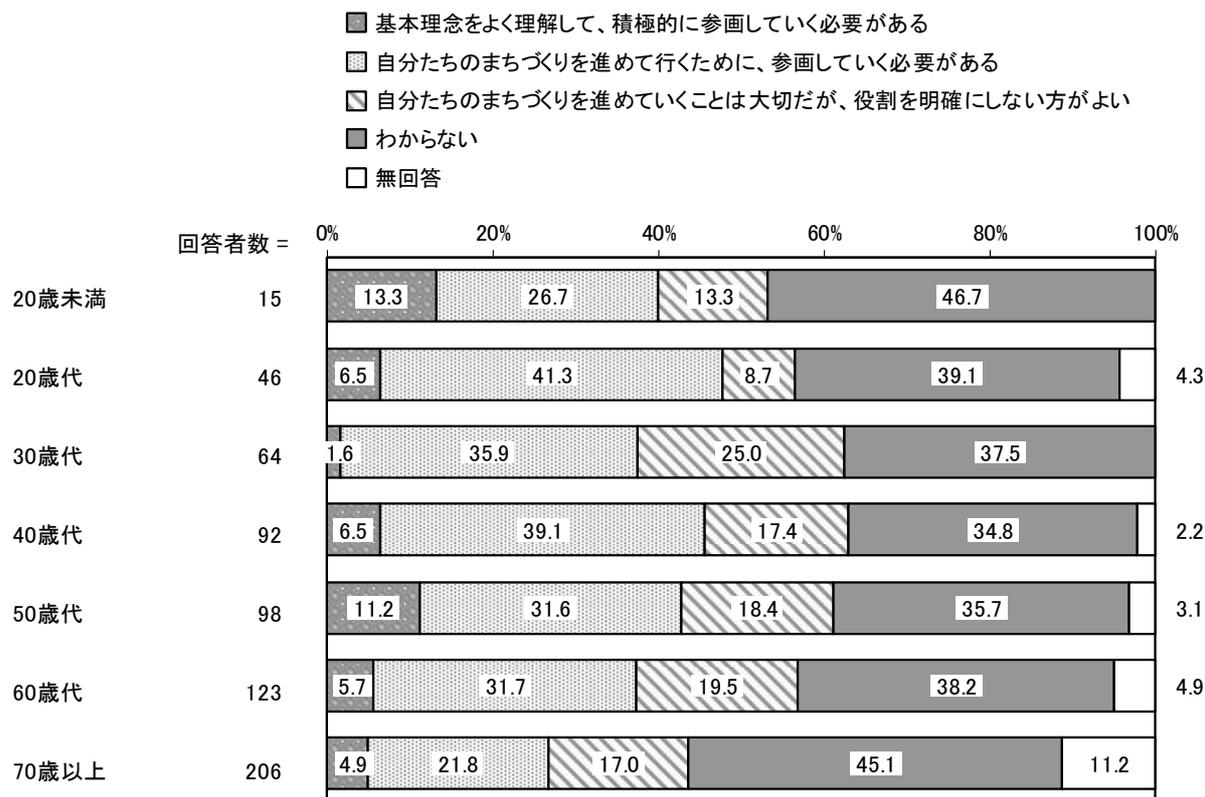
問 13 市では、「まちづくり円卓会議」が、より自律的に活動できるように平成 25 年 4 月 1 日から市民自治のまちづくり「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を施行しています。このような条例があることをご存じですか？（○は 1 つだけ）

年代別でみると、他に比べ、30 歳代で「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が高くなっています。



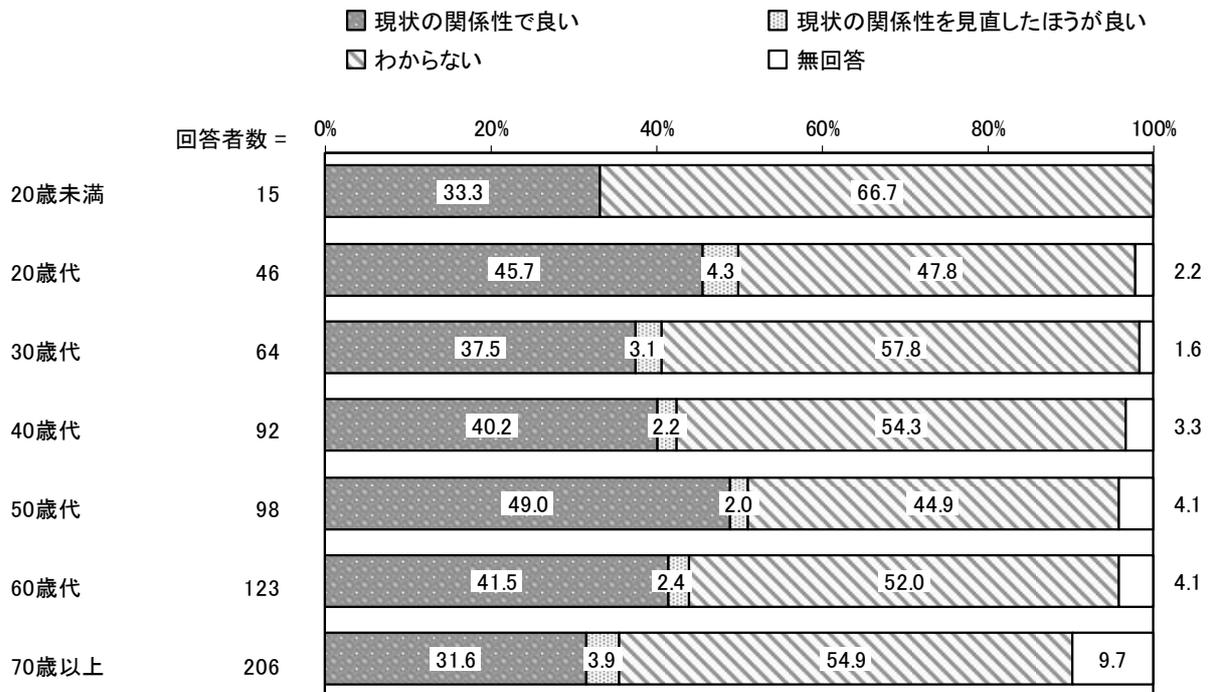
問 14 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、「まちづくり円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理解し、協働して行う」という基本理念に基づいて、市民のみなさんの役割として、まちづくりへの関心を高めるとともに、積極的にこれに参画するものとしています。この市民の役割についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

年代別で見ると、他に比べ、30歳代で「自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい」の割合が高くなっています。



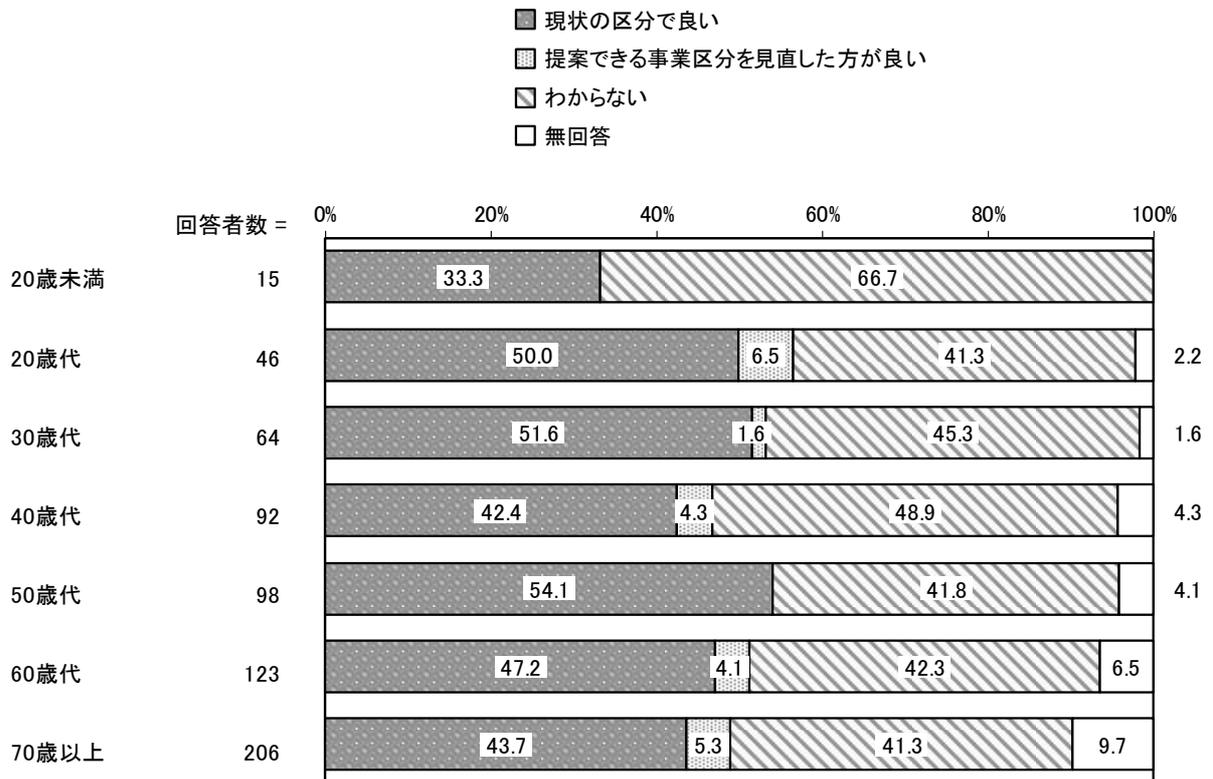
問 17 まちづくり円卓会議は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という趣旨のもと、主体的にまちづくりに参画し、行政は円卓会議の自主性・自立性を尊重し、活動のサポートを行うことを原則としています。このような、地域と行政の関係性についてどのように思われますか。あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

年代別で見ると、他に比べ、20歳未満で「わからない」の割合が高くなっています。



問 18 まちづくり円卓会議から市への事業提案は、①地域コミュニティの育成に関する事業、②地域福祉の増進に関する事業、③環境に関する事業、④防犯・防災等に関する事業、⑤その他校区のまちづくりにつながる事業の5つの事業区分となっています。この事業区分について、どのように思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

年代別で見ると、他に比べ、20歳未満で「わからない」の割合が高くなっています。



問 20 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(〇はいくつでも)

年代別で見ると、他に比べ、30歳代、50歳代で「地域行政の人材の育成」の割合が、20歳代で「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が高くなっています。

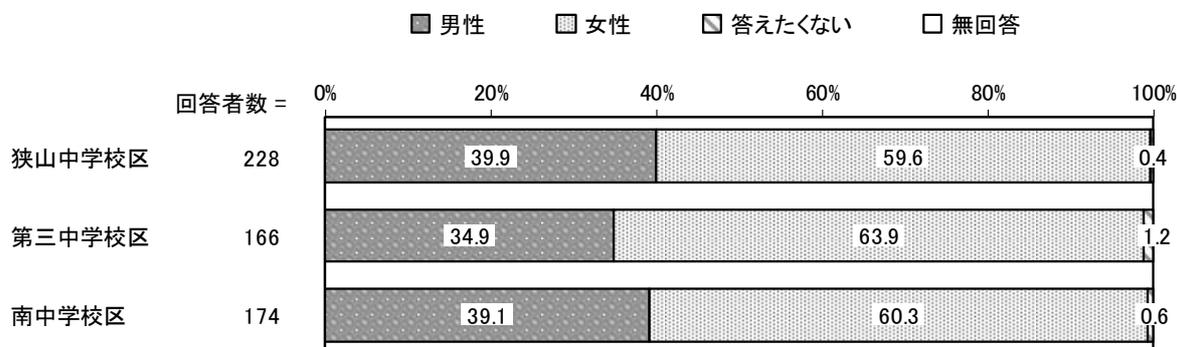
単位：%

区分	回答者数 (件)	地域行政の 人材の育成	次の世代の 担い手の確保	新しく転居 されてきた 方々との協働	その他	無回答
20歳未満	15	13.3	66.7	33.3	—	—
20歳代	46	21.7	47.8	39.1	6.5	2.2
30歳代	64	37.5	39.1	18.8	12.5	4.7
40歳代	92	22.8	69.6	9.8	4.3	8.7
50歳代	98	37.8	62.2	15.3	4.1	8.2
60歳代	123	22.8	61.0	18.7	5.7	13.0
70歳以上	206	25.7	53.9	19.4	2.9	20.4

### (3) 校區別クロス集計結果

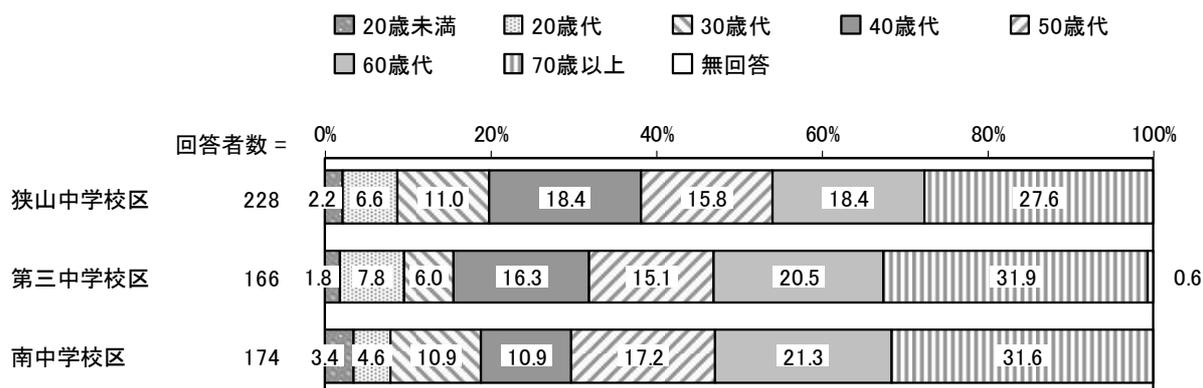
#### 問1 性別をお聞かせください。

校區別でみると、大きな差異はみられません。



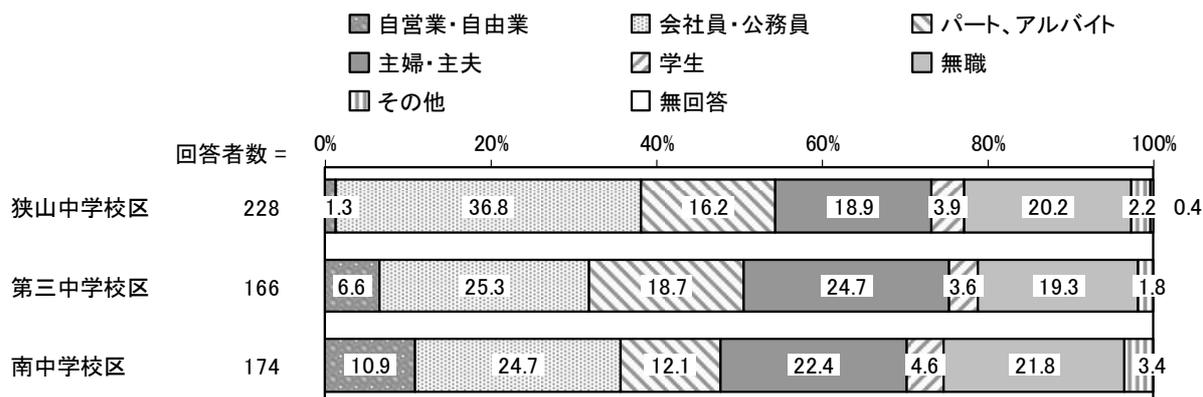
#### 問2 年齢をお聞かせください。

校區別でみると、大きな差異はみられません。



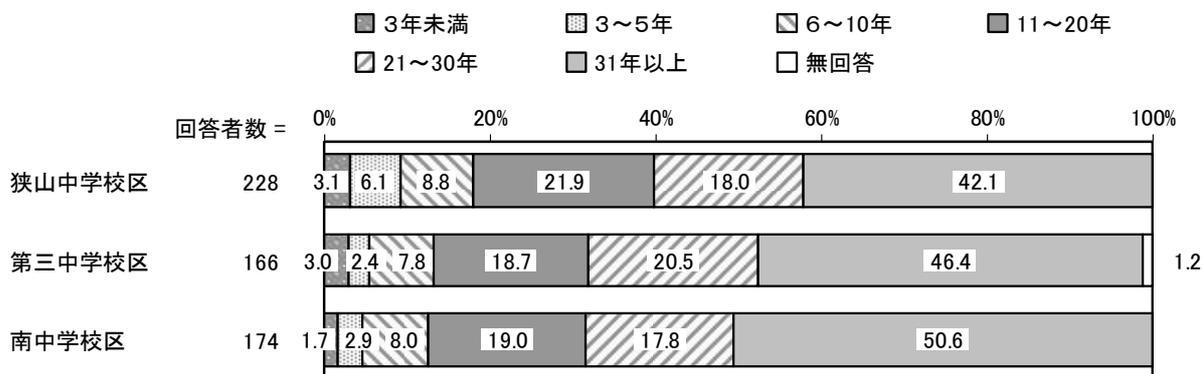
#### 問3 職業をお聞かせください。

校區別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「会社員・公務員」の割合が高くなっています。



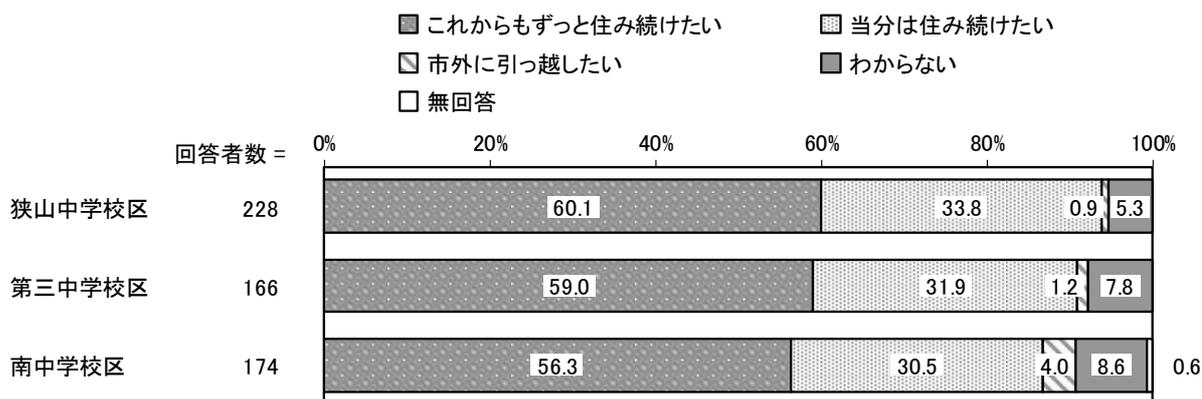
**問5 大阪狭山市での居住年数をお聞かせください。**

校区別でみると、大きな差異はみられません。



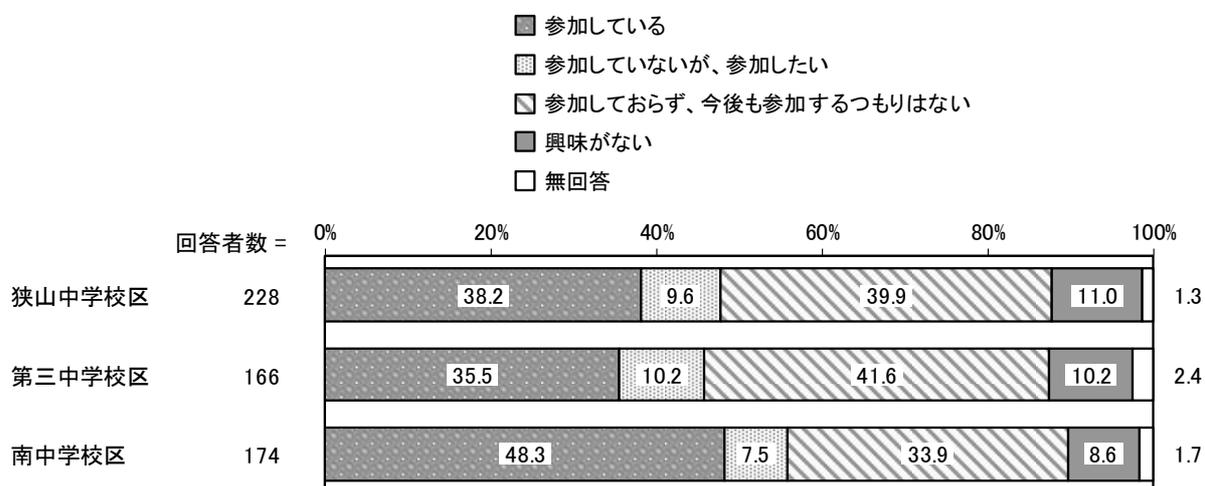
**問6 これからも大阪狭山市に住み続けたいと思われますか？**

校区別でみると、大きな差異はみられません。



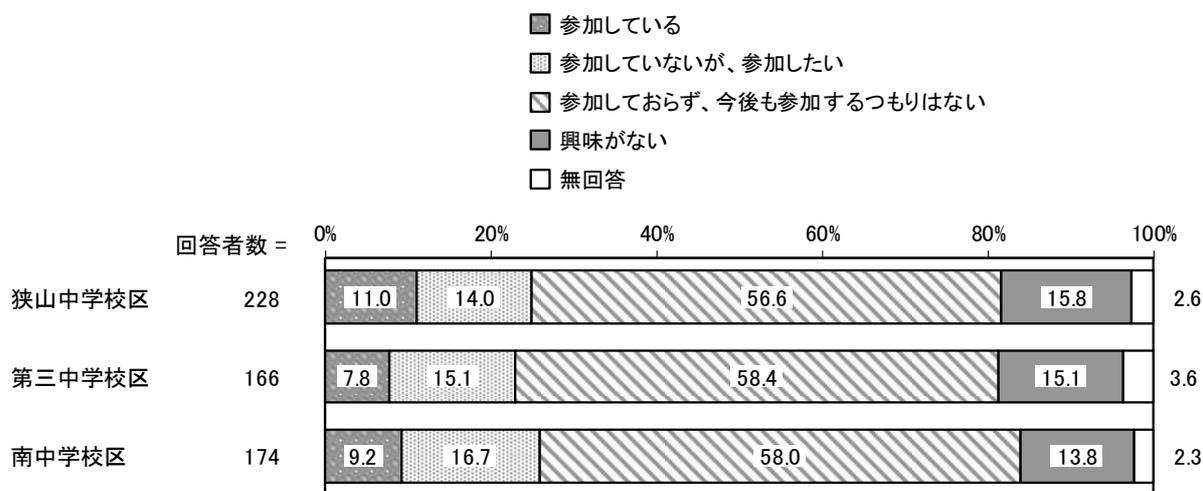
**問7 自治会活動に参加されていますか？（○は1つだけ）**

校区別でみると、他に比べ、南中学校区で「参加している」の割合が高くなっています。



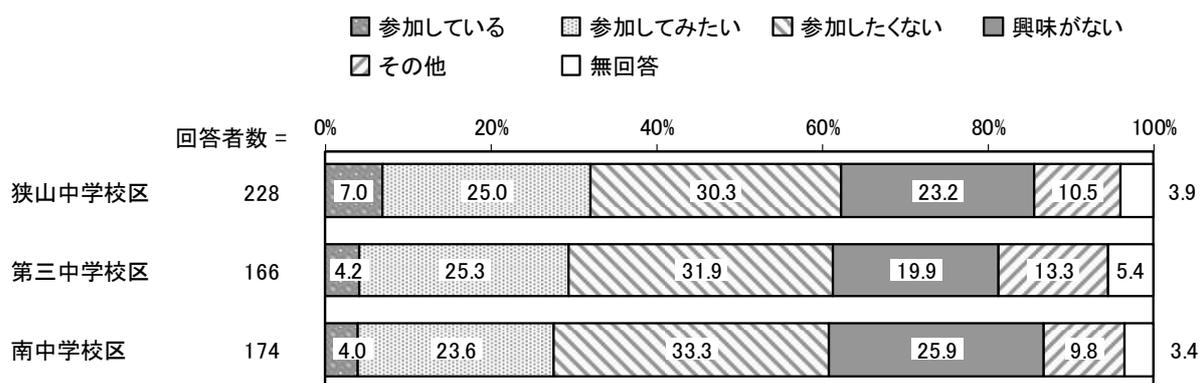
**問 8 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動に参加されていますか？**  
 (〇は1つだけ)

校区別でみると、大きな差異はみられません。



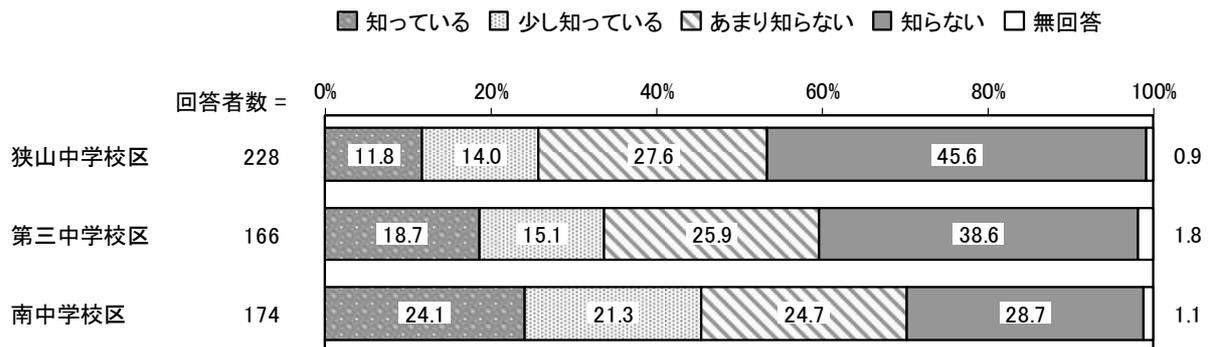
**問 9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの担い手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについてどう思われますか？** (〇は1つだけ)

校区別でみると、大きな差異はみられません。



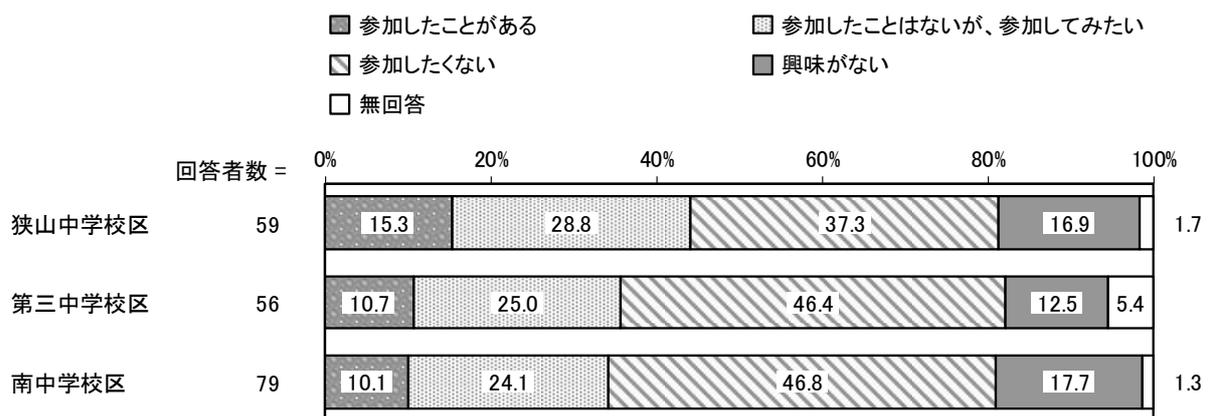
問 10 市では、市民のみなさんが身近なところからまちづくりに主体的にかかわるための契機づくりの場として、自主的に一堂に会してまちづくりを話し合う場である「まちづくり円卓会議」を設置しました。ここでは、地域のニーズに即した事業について市に提案したり、独自の事業を実施していただいています。このようなまちづくり円卓会議について知っていましたか？（○は1つだけ）

校区別でみると、他に比べ、南中学校区で「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が、狭山中学校区で「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が高くなっています。



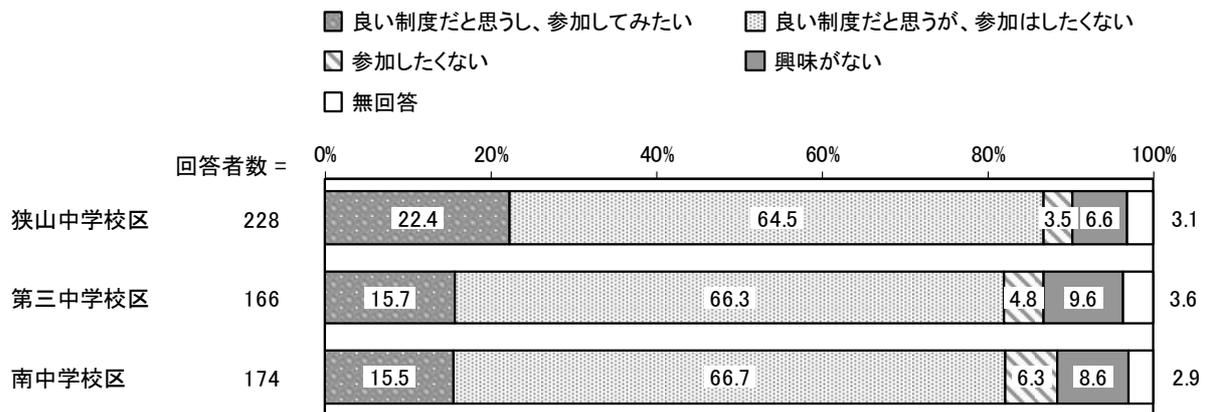
問 10-1 「まちづくり円卓会議」に参加されたことはありますか？（○は1つだけ）

校区別でみると、他に比べ、第三中学校区、南中学校区で「参加したくない」の割合が高くなっています。



問 11 まちづくり円卓会議は、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という理念のもとに、自分たちのまちに必要なことを話し合いながら、地域のニーズに即した事業を市に提案したり、独自で実施したりする制度です。この制度についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「良い制度だと思うし、参加してみたい」の割合が高くなっています。



問 12 「まちづくり円卓会議」に参加されたことのある方のみお答えください。  
「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)  
また、ご意見はその他にご記入ください。

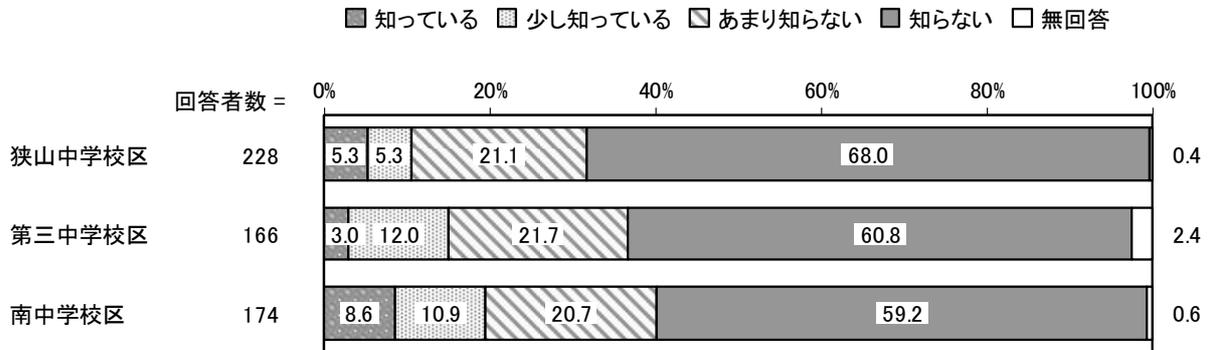
校区別でみると、有効な回答がありませんでした。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、聞かれるところが良い	自分が住む地域に必要な事業を、自分で提案できるところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い	行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い	「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性化しているところが良い	特に感じない	その他	無回答
狭山中学校区	9	11.1	—	44.4	55.6	22.2	11.1	—	—	22.2
第三中学校区	6	33.3	16.7	33.3	83.3	16.7	33.3	—	—	—
南中学校区	8	12.5	—	25.0	25.0	12.5	—	25.0	12.5	12.5

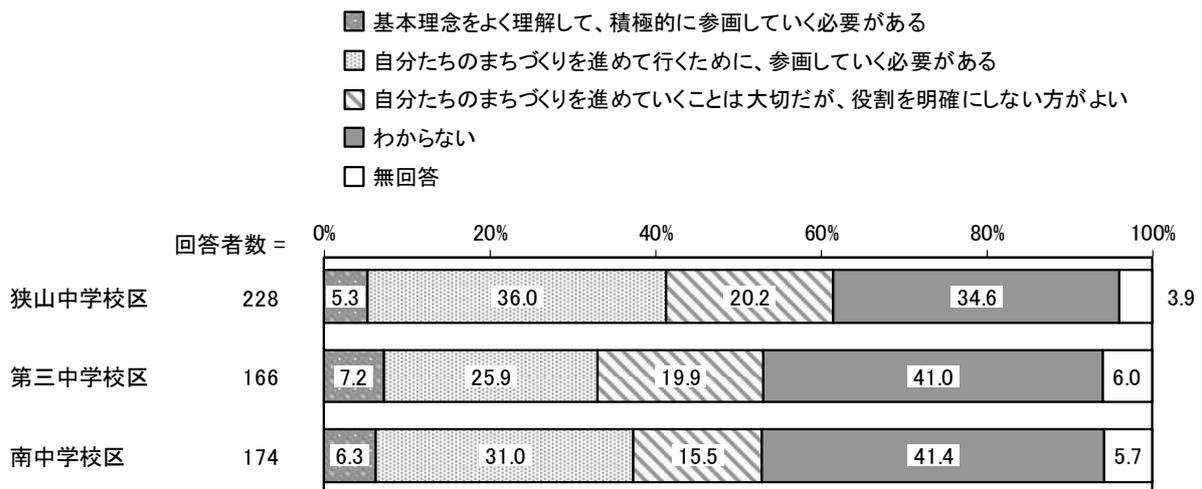
問 13 市では、「まちづくり円卓会議」が、より自律的に活動できるように平成 25 年 4 月 1 日から市民自治のまちづくり「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を施行しています。このような条例があることをご存じですか？（○は 1 つだけ）

校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が高くなっています。



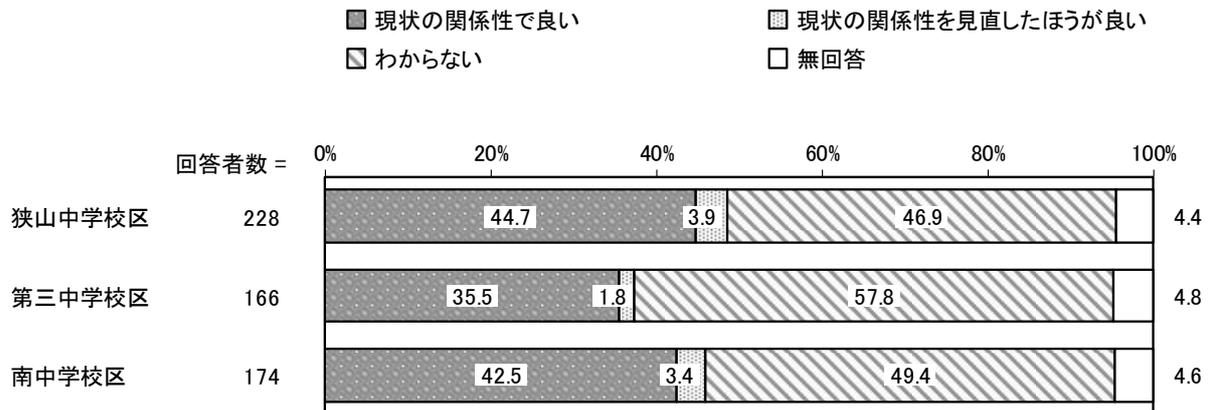
問 14 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、「まちづくり円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理解し、協働して行う」という基本理念に基づいて、市民のみなさんの役割として、まちづくりへの関心を高めるとともに、積極的にこれに参画するものとしています。この市民の役割についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを 1 つ選んでください。（○は 1 つだけ）

校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が高くなっています。



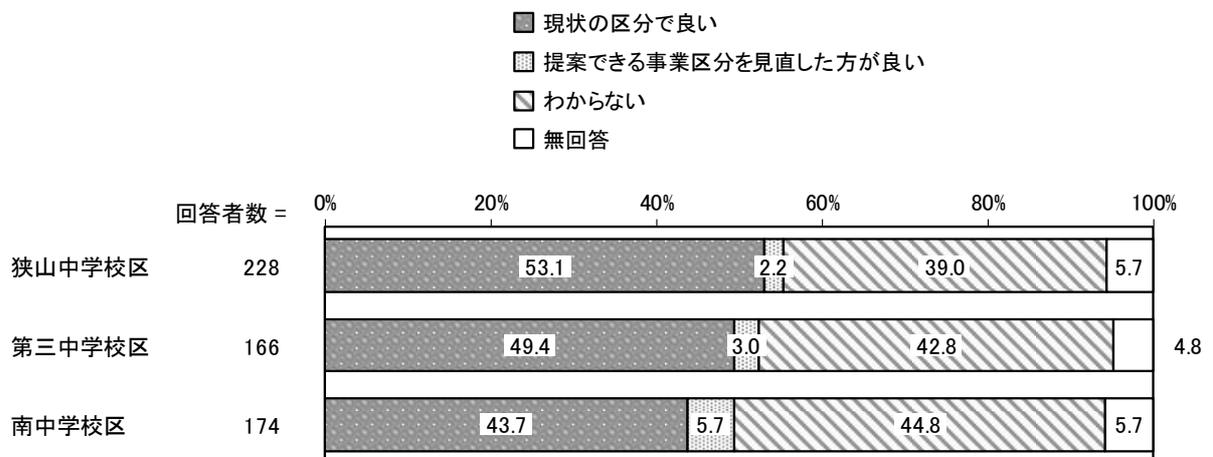
問 17 まちづくり円卓会議は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という趣旨のもと、主体的にまちづくりに参画し、行政は円卓会議の自主性・自立性を尊重し、活動のサポートを行うことを原則としています。このような、地域と行政の関係性についてどのように思われますか。あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

校区別でみると、他に比べ、第三中学校区で「わからない」の割合が高くなっています。



問 18 まちづくり円卓会議から市への事業提案は、①地域コミュニティの育成に関する事業、②地域福祉の増進に関する事業、③環境に関する事業、④防犯・防災等に関する事業、⑤その他校区のまちづくりにつながる事業の5つの事業区分となっています。この事業区分について、どのように思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区、第三中学校区で「現状の区分で良い」の割合が高くなっています。



問 20 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(〇はいくつでも)

校区別でみると、大きな差異はみられません。

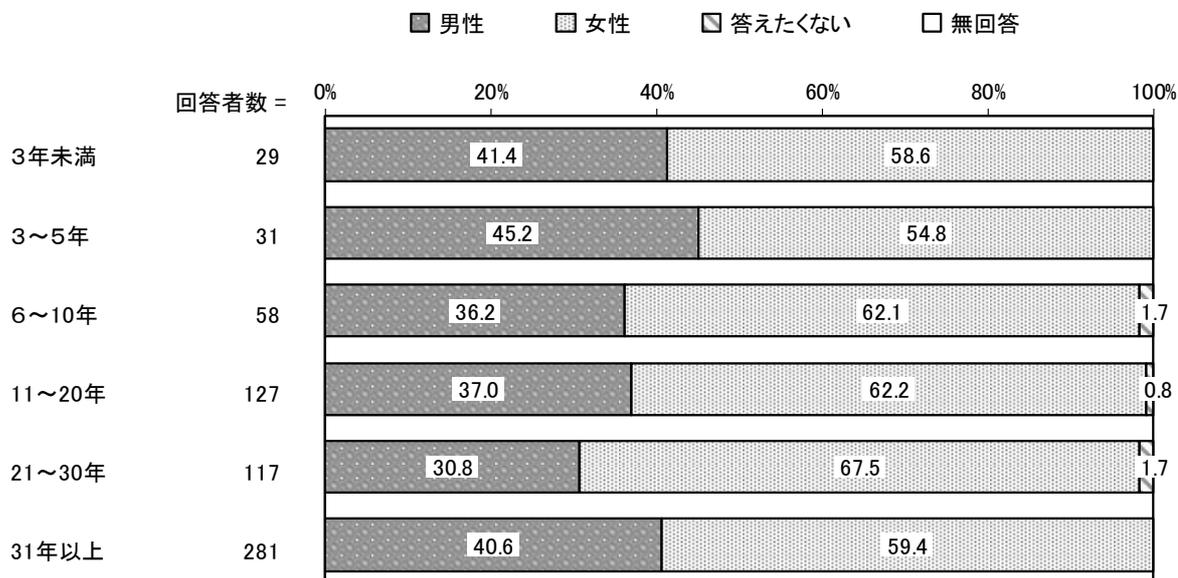
単位：%

区分	回答者数 (件)	地域行政の人材の育成	次の世代の担い手の確保	新しく転居されてきた 方々との協働	その他	無回答
狭山中学校区	228	28.1	61.8	18.0	3.9	10.1
第三中学校区	166	24.1	58.4	13.3	4.2	10.8
南中学校区	174	28.7	59.2	19.5	5.2	12.6

## (4) 居住年数別クロス集計結果

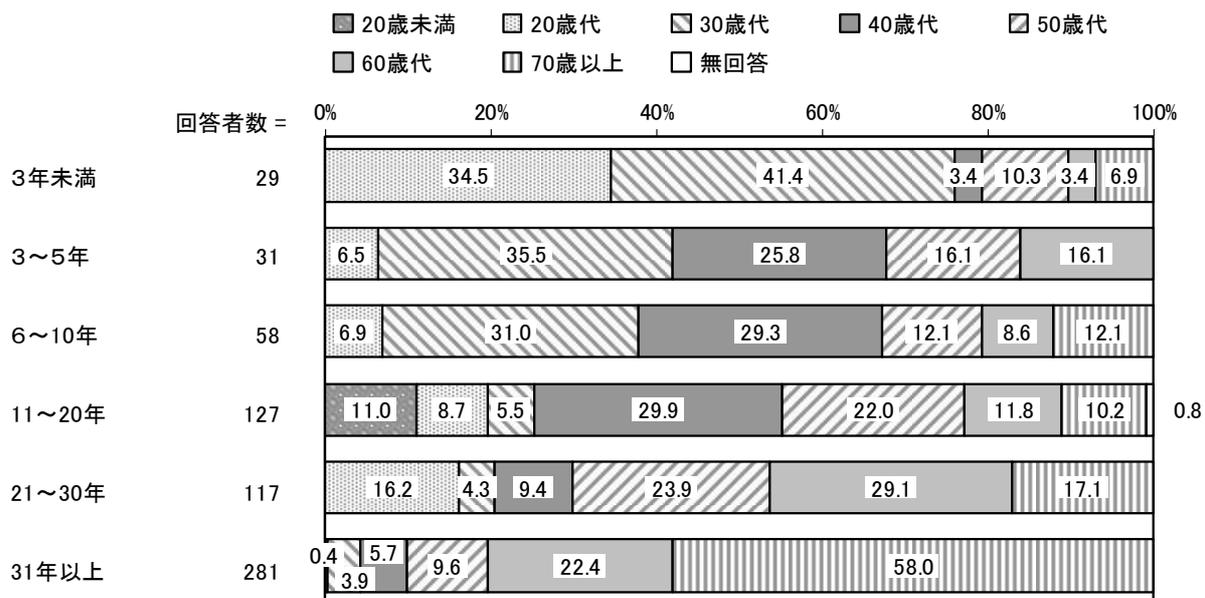
### 問1 性別をお聞かせください。

居住年数別で見ると、他に比べ、21～30年で「女性」の割合が高くなっています。



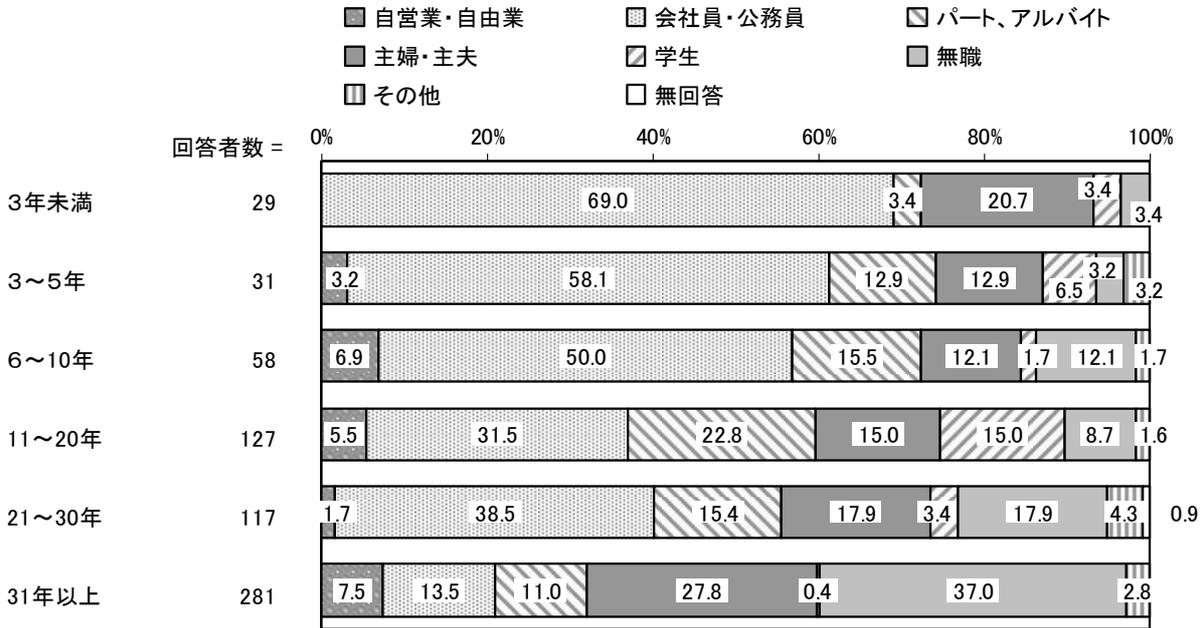
### 問2 年齢をお聞かせください。

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「20歳代」「30歳代」の割合が、11～20年で「20歳未満」の割合が高くなっています。また、31年以上で「70歳以上」の割合が高くなっています。



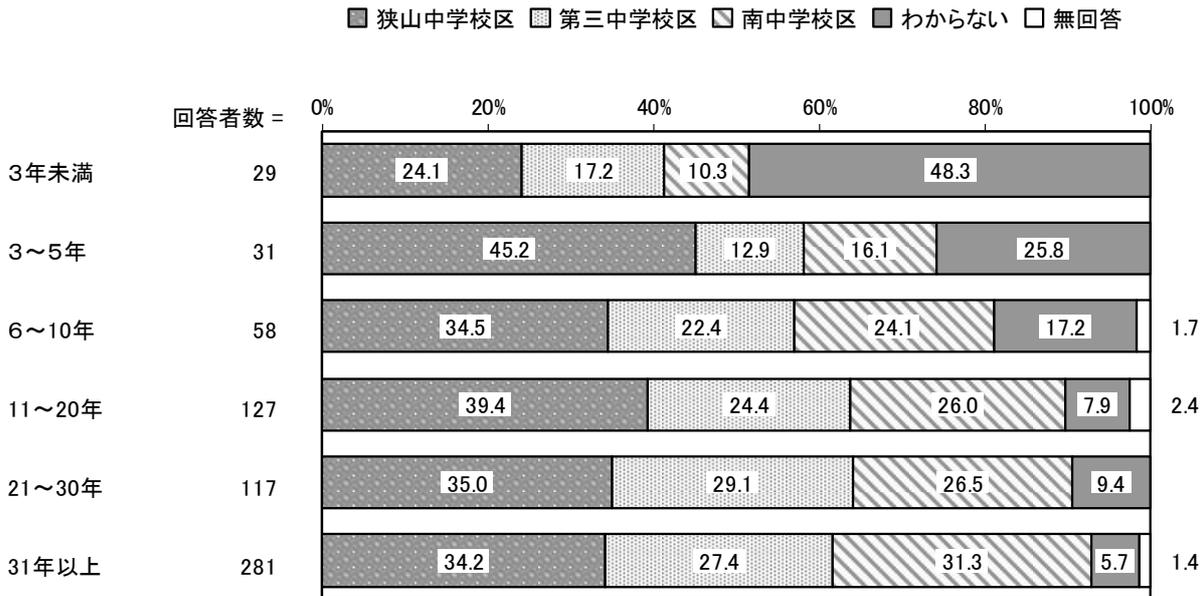
**問3 職業をお聞かせください。**

居住年数で見ると、他に比べ、3年未満で「会社員・公務員」の割合が、31年以上で「主婦・主夫」「無職」の割合が高くなっています。



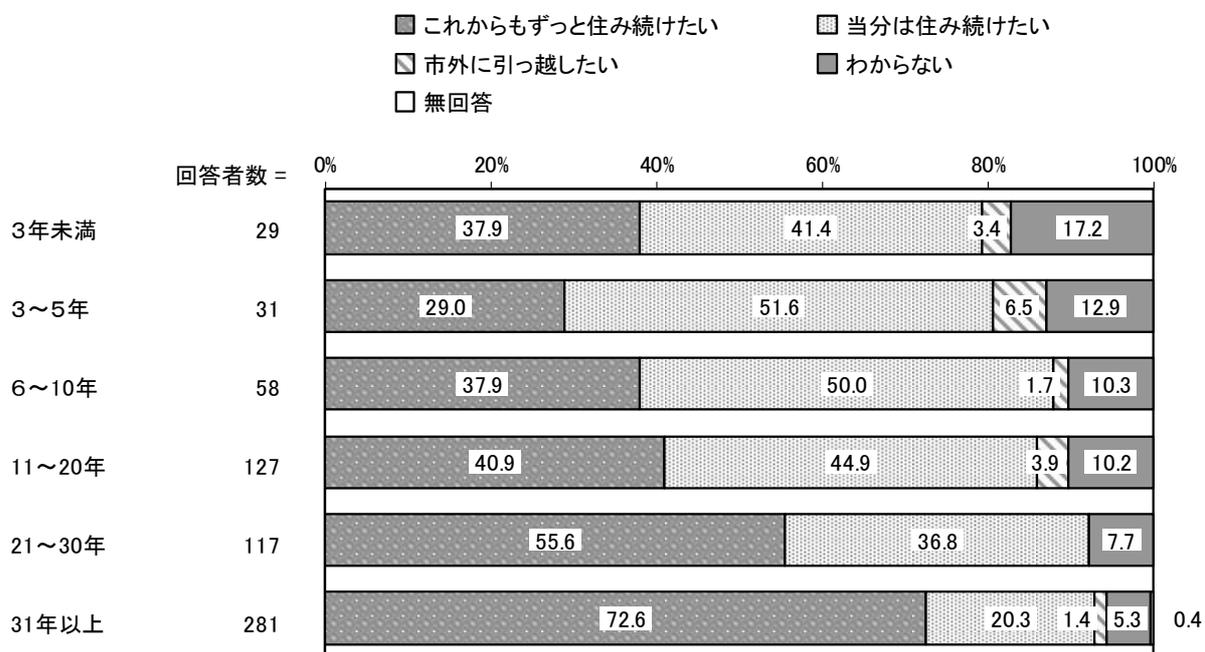
**問4 お住まいの中学校区をお聞かせください。**

居住年数別で見ると、他に比べ、3～5年で「狭山中学校区」の割合が、3年未満で「わからない」の割合が高くなっています。



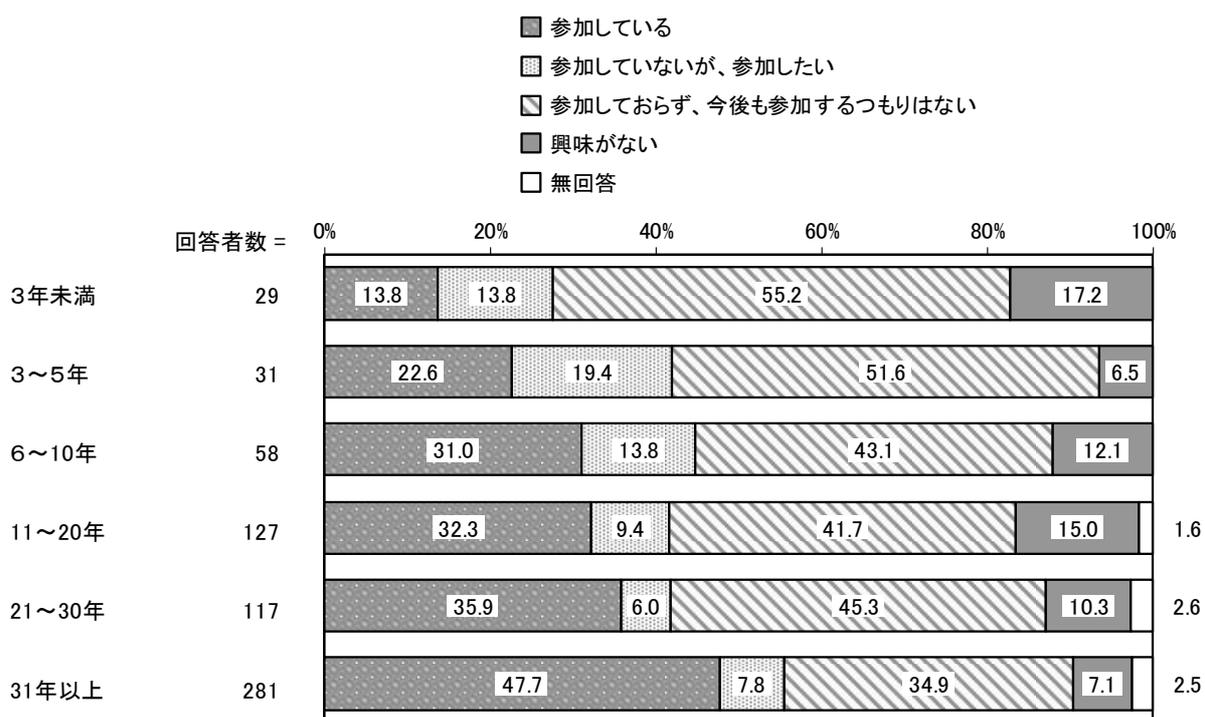
**問6 これからも大阪狭山市に住み続けたいと思われませんか？**

居住年数別で見ると、他に比べ、21～30年、31年以上で「これからもずっと住み続けたい」の割合が高くなっています。



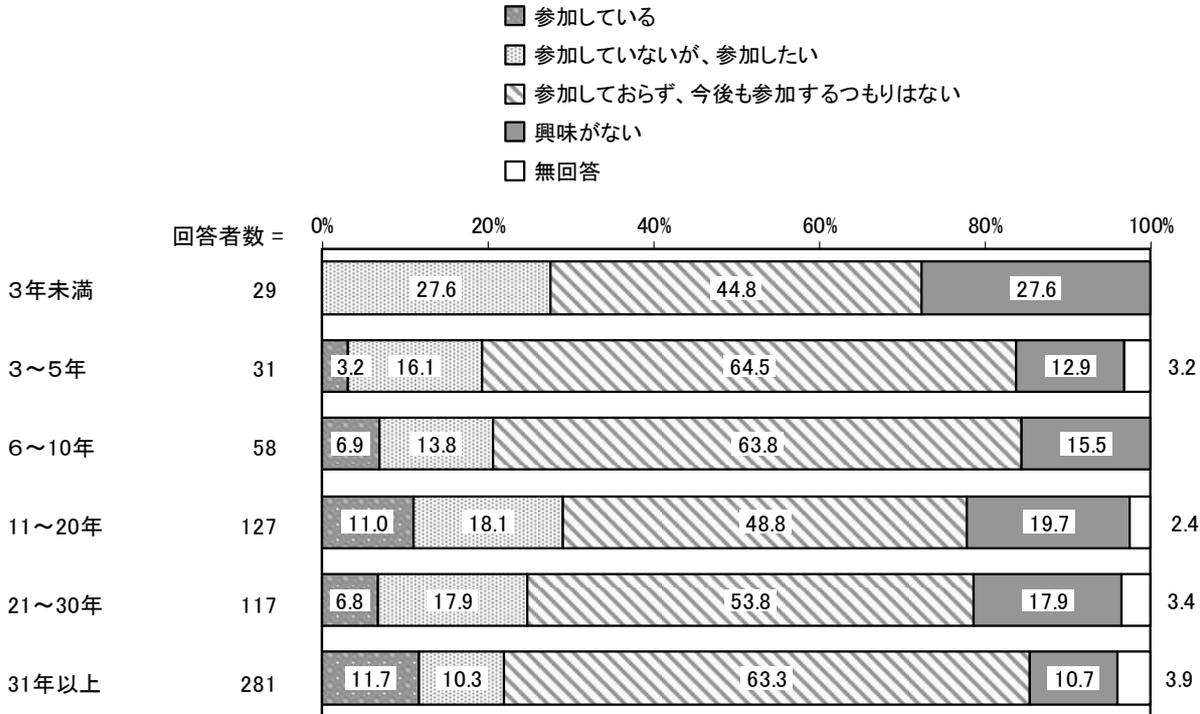
**問7 自治会活動に参加されていますか？（○は1つだけ）**

居住年数別で見ると、他に比べ、31年以上で「参加している」の割合が、3～5年で「参加していないが、参加したい」の割合が高くなっています。



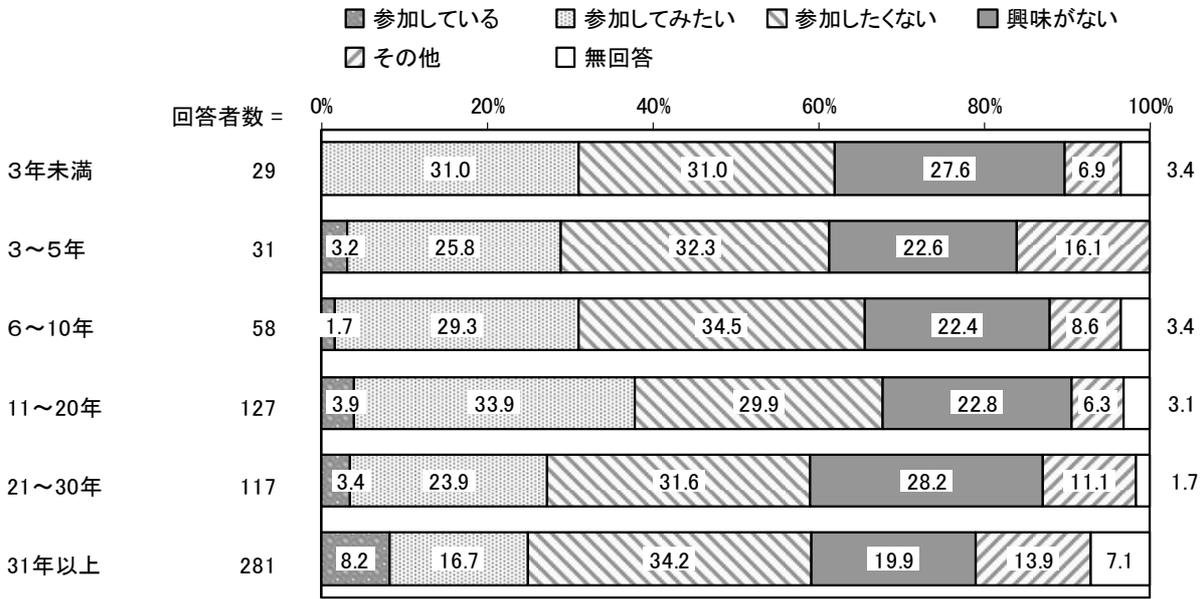
**問8 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動に参加されていますか？**  
(○は1つだけ)

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「参加していないが、参加したい」の割合が、3年未満で「興味がない」の割合が高くなっています。



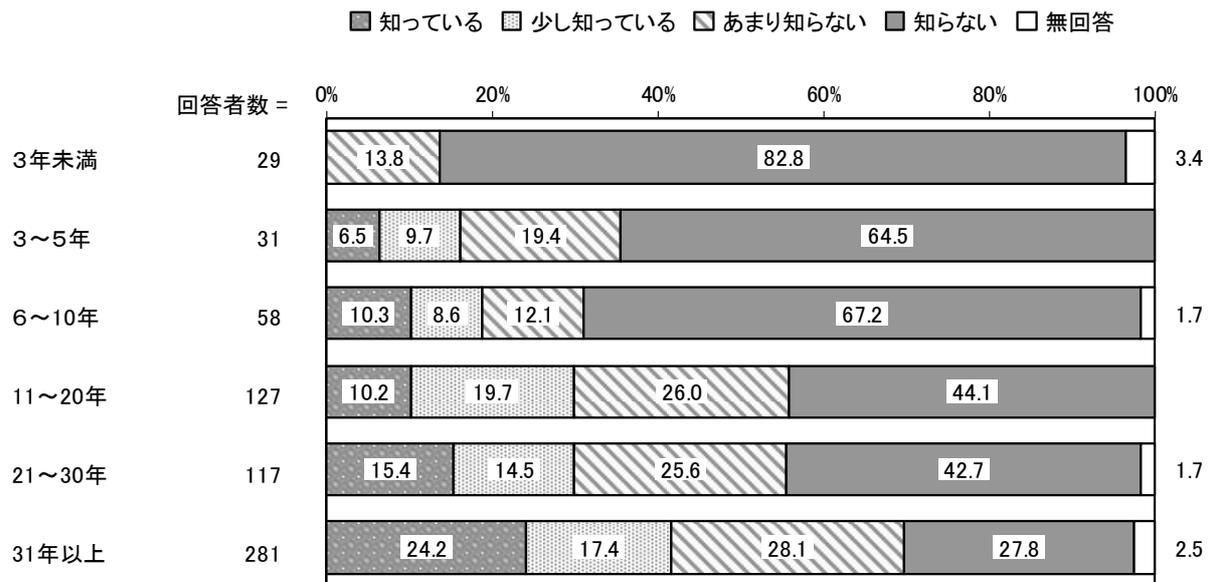
**問9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの担い手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについてどう思われますか？** (○は1つだけ)

居住年数別で見ると、大きな差異はみられません。



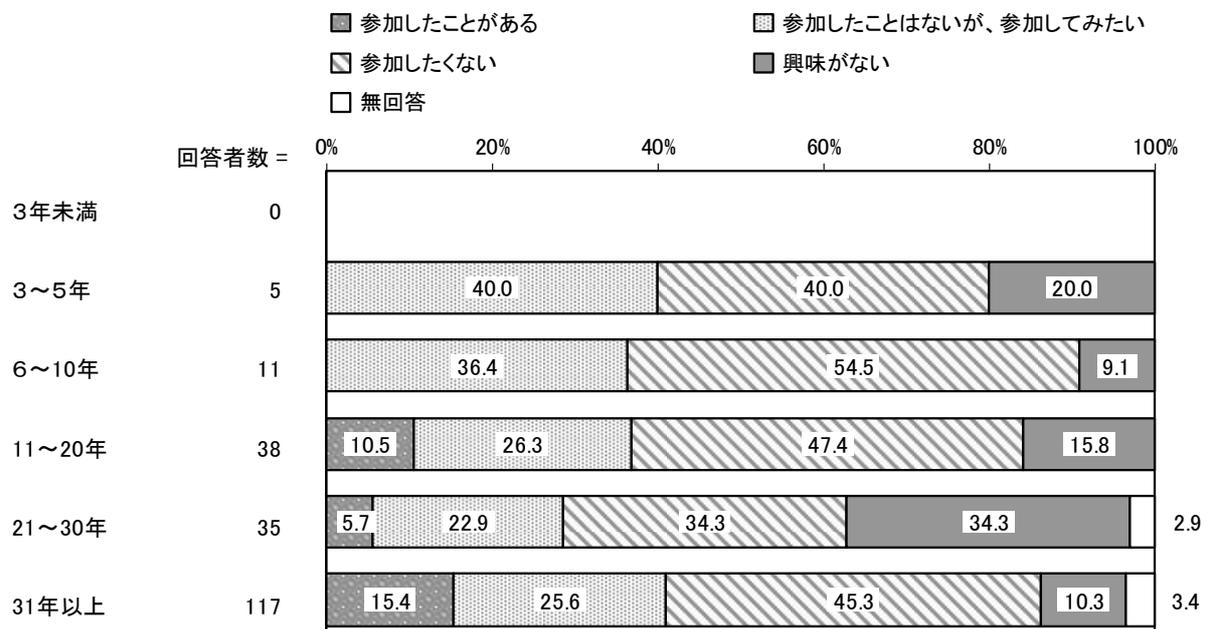
問 10 市では、市民のみなさんが身近なところからまちづくりに主体的にかかわるための契機づくりの場として、自主的に一堂に会してまちづくりを話し合う場である「まちづくり円卓会議」を設置しました。ここでは、地域のニーズに即した事業について市に提案したり、独自の事業を実施していただいています。このようなまちづくり円卓会議について知っていましたか？（○は1つだけ）

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が、31年以上で「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が高くなっています。



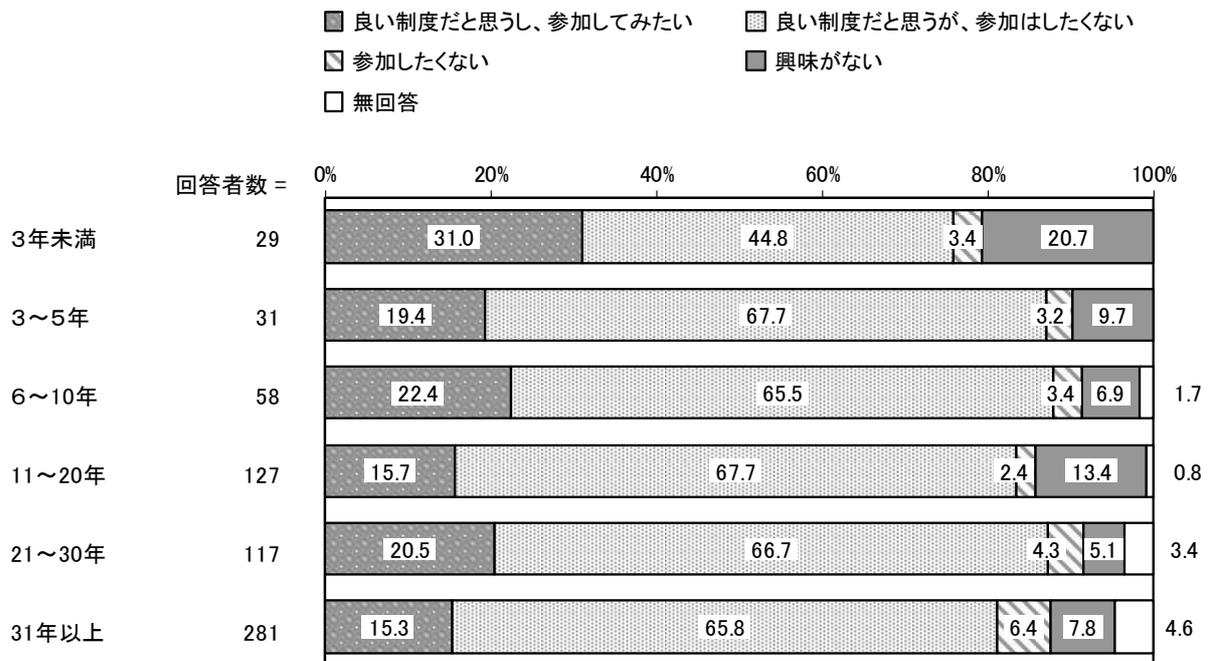
問 10-1 「まちづくり円卓会議」に参加されたことはありますか？（○は1つだけ）

居住年数別で見ると、他に比べ、21～30年で「興味がない」の割合が高くなっています。



問 11 まちづくり円卓会議は、「自分たちのまち是自己たちでつくる」という理念のもとに、自分たちのまちに必要なことを話し合いながら、地域のニーズに即した事業を市に提案したり、独自で実施したりする制度です。この制度についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「良い制度だと思うし、参加してみたい」「興味がない」の割合が高くなっています。



問 12 「まちづくり円卓会議」に参加されたことのある方のみお答えください。  
「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(〇はいくつでも)  
また、ご意見はその他にご記入ください。

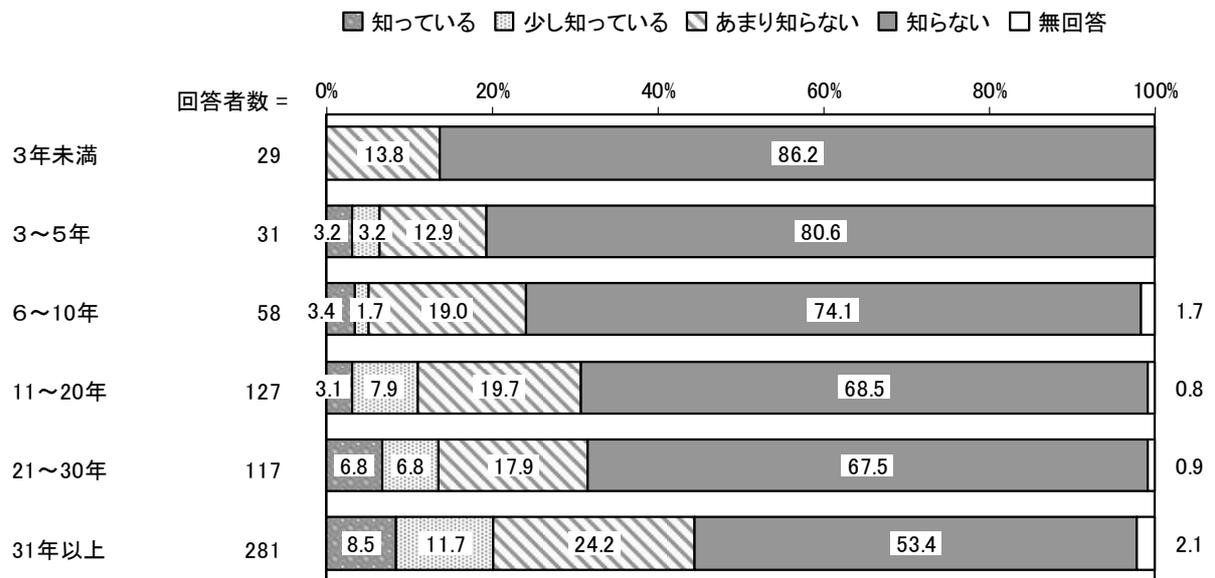
居住年数別でみると、有効な回答がありませんでした。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分が住む地域のまちづくりについて、 自分の意見が言え、聞かれるところが良い	自分が住む地域に必要な事業を、自分で 提案できるところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、意見を 交わすことが出来るところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、新しい 知見が得られたところが良い	行政が地域住民と適度な距離を保ち、 地域住民の自律性を促しているところが良い	「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、 地域が活性化しているところが良い	特に感じない	その他	無回答
3年未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3～5年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6～10年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11～20年	4	25.0	25.0	75.0	75.0	25.0	25.0	—	—	—
21～30年	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—
31年以上	18	16.7	—	27.8	50.0	16.7	11.1	5.6	5.6	16.7

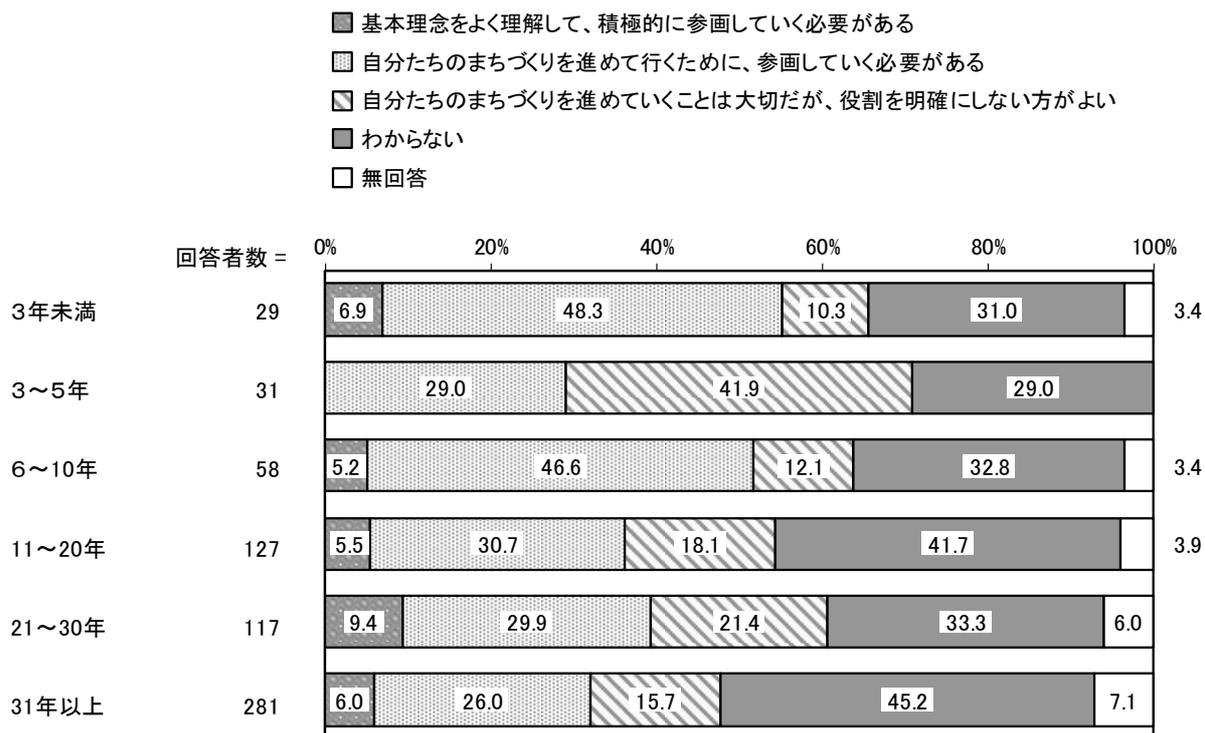
問 13 市では、「まちづくり円卓会議」が、より自律的に活動できるように平成 25 年 4 月 1 日から市民自治のまちづくり「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を施行しています。このような条例があることをご存じですか？（○は 1 つだけ）

居住年数別で見ると、他に比べ、3 年未満で「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が、31 年以上で「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が高くなっています。



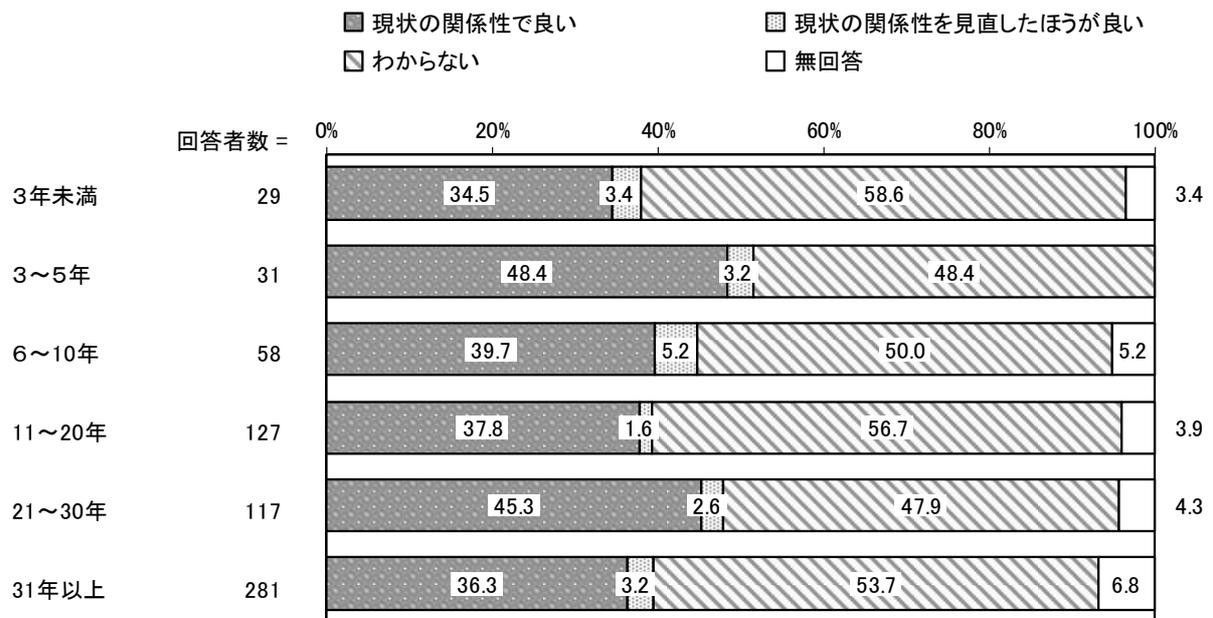
問 14 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、「まちづくり円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理解し、協働して行う」という基本理念に基づいて、市民のみなさんの役割として、まちづくりへの関心を高めるとともに、積極的にこれに参画するものとしています。この市民の役割についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満、6～10年で「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が、3～5年で「自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい」の割合が高くなっています。



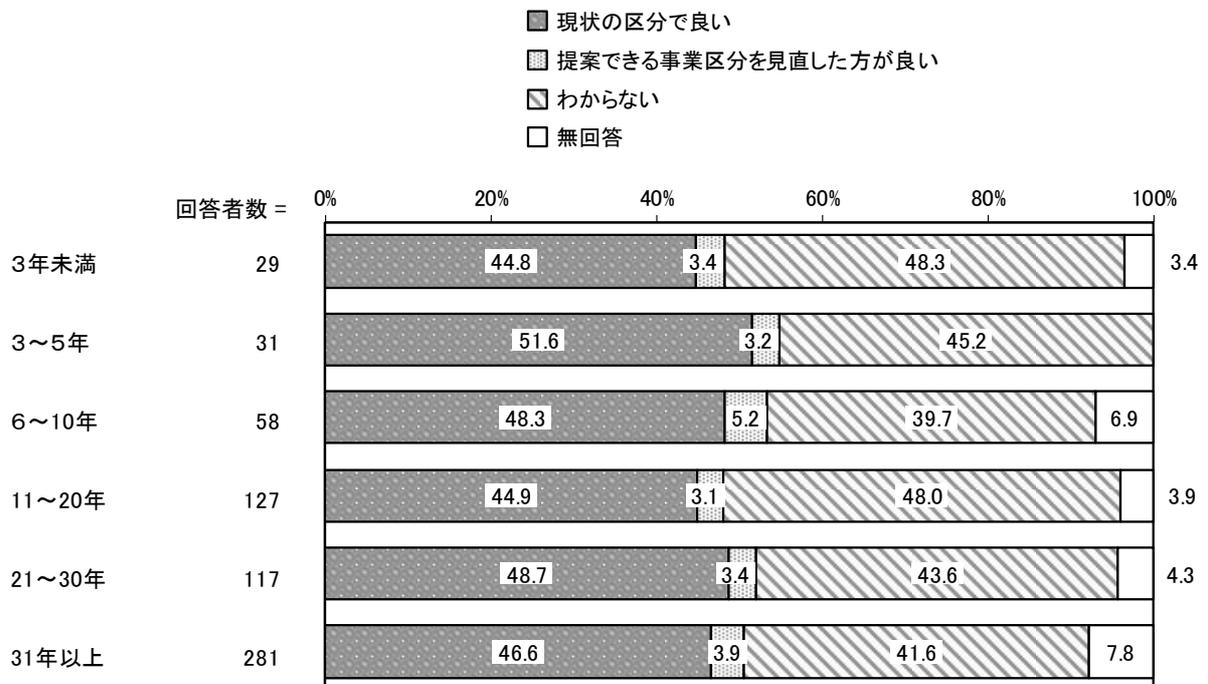
問 17 まちづくり円卓会議は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という趣旨のもと、主体的にまちづくりに参画し、行政は円卓会議の自主性・自立性を尊重し、活動のサポートを行うことを原則としています。このような、地域と行政の関係性についてどのように思われますか。あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

居住年数別で見ると、他に比べ、3～5年、21～30年で「現状の関係性で良い」の割合が高くなっています。



問 18 まちづくり円卓会議から市への事業提案は、①地域コミュニティの育成に関する事業、②地域福祉の増進に関する事業、③環境に関する事業、④防犯・防災等に関する事業、⑤その他校区のまちづくりにつながる事業の5つの事業区分となっています。この事業区分について、どのように思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

居住年数別で見ると、大きな差異はみられません。



問 20 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。  
 (〇はいくつでも)

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が、11～20年、21～30年で「次の世代の担い手の確保」の割合が高くなっています。

単位：%

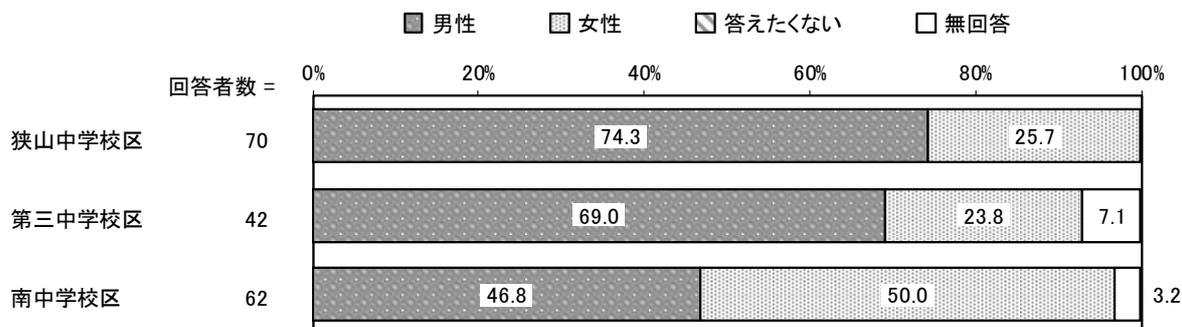
区分	回答者数 (件)	地域行政の 人材の育成	次の世代の 担い手の確保	新しく転居 されてきた 方々との協働	その他	無回答
3年未満	29	34.5	31.0	34.5	10.3	3.4
3～5年	31	22.6	45.2	29.0	22.6	3.2
6～10年	58	31.0	53.4	15.5	1.7	10.3
11～20年	127	27.6	65.4	18.1	3.1	7.1
21～30年	117	26.5	65.0	22.2	2.6	9.4
31年以上	281	26.3	55.5	16.0	5.0	17.1

## 2 まちづくり円卓会議メンバー

### (1) 校區別クロス集計結果

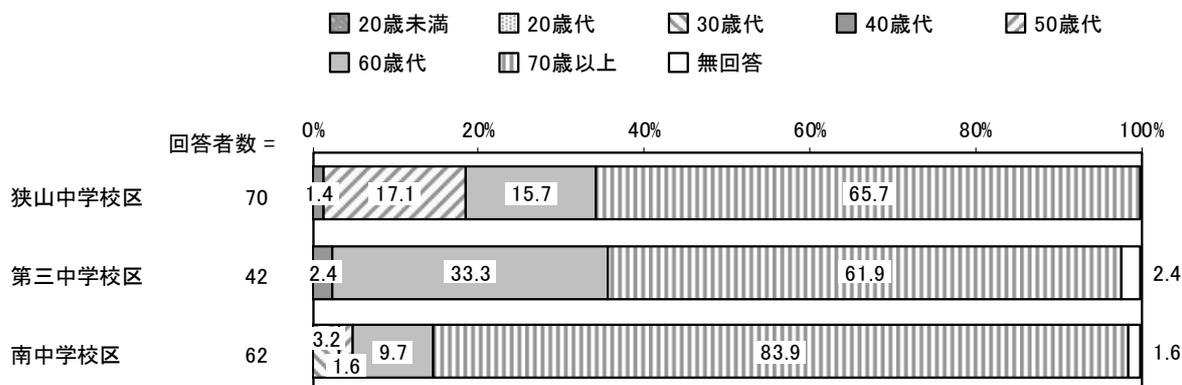
#### 問1 性別をお聞かせください。

校區別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「男性」の割合が、南中学校区で「女性」の割合が高くなっています。



#### 問2 年齢をお聞かせください。

校區別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「50歳代」の割合が高くなっています。また、第三中学校区で「60歳代」の割合が、南中学校区で「70歳以上」の割合が高くなっています。



**問3 現在、所属の団体をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)**

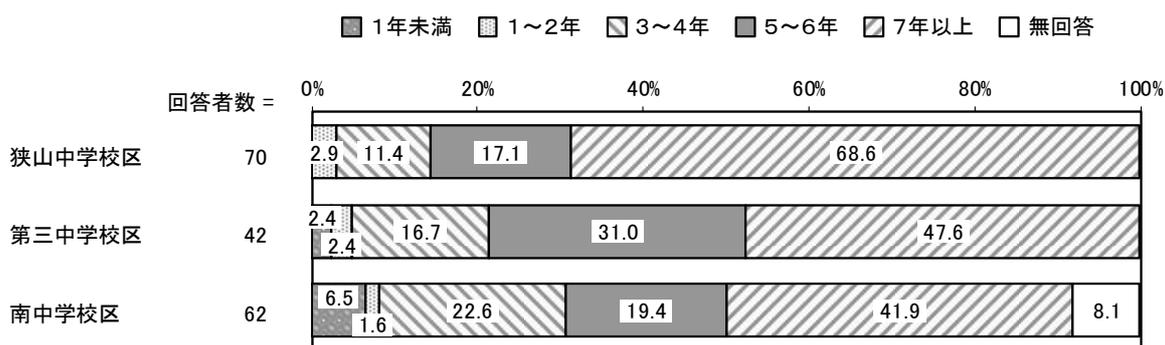
校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「市民活動団体」の割合が、南中学校区で「NPO」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自治会	住宅会	NPO	市民活動団体	事業所	その他	無回答
狭山中学校区	70	54.3	8.6	2.9	44.3	8.6	10.0	7.1
第三中学校区	42	69.0	—	4.8	31.0	2.4	11.9	4.8
南中学校区	62	75.8	1.6	41.9	12.9	3.2	11.3	—

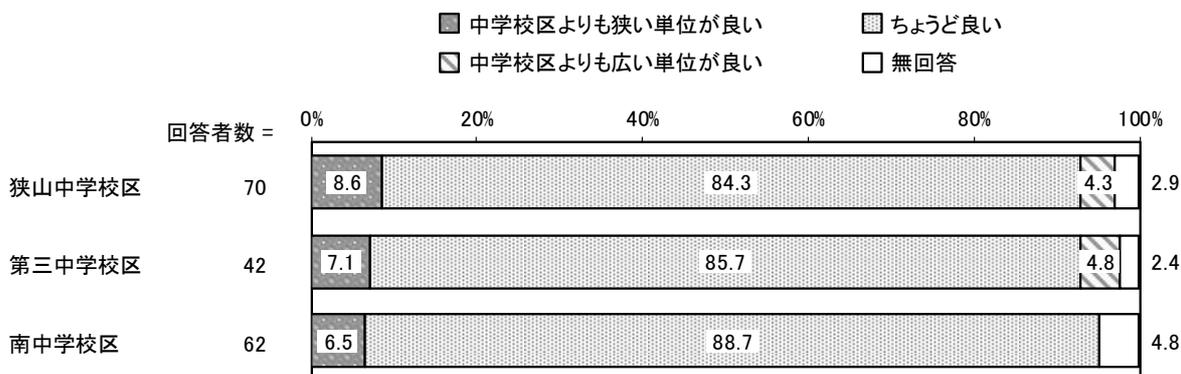
**問5 まちづくり円卓会議の経験年数をお聞かせください。**

校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「7年以上」の割合が高くなっています。また、第三中学校区で「5～6年」の割合が高くなっています。



**問6 地域のさまざまな意見を集め、地域課題を話し合うにあたって、まちづくり円卓会議の設置単位(中学校区)は、どのように感じますか。(1・3の場合、理由もあわせてお答えください。)**

校区別でみると、大きな差異はみられません。



**問7 「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？**  
(〇はいくつでも)

校区別でみると、他に比べ、南中学校区で「自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、関われるところが良い」「地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い」「地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い」「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性しているところが良い」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「特に感じない」の割合が高くなっています。

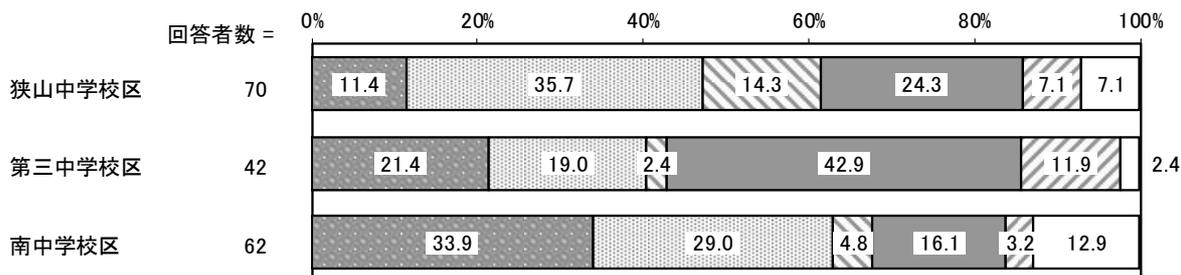
単位：%

区分	回答者数(件)	自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、関われるところが良い	自分が住む地域に必要な事業を、自分で提案できるところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い	地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い	行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い	「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性しているところが良い	特に感じない	その他	無回答
狭山中学校区	70	30.0	15.7	37.1	28.6	24.3	30.0	20.0	8.6	2.9
第三中学校区	42	21.4	26.2	35.7	28.6	31.0	16.7	7.1	2.4	4.8
南中学校区	62	38.7	22.6	48.4	37.1	27.4	37.1	9.7	6.5	6.5

**問8 まちづくり円卓会議は、実際にあなたの地域に対してどのような面で役立ったと感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。**  
(〇は1つだけ)

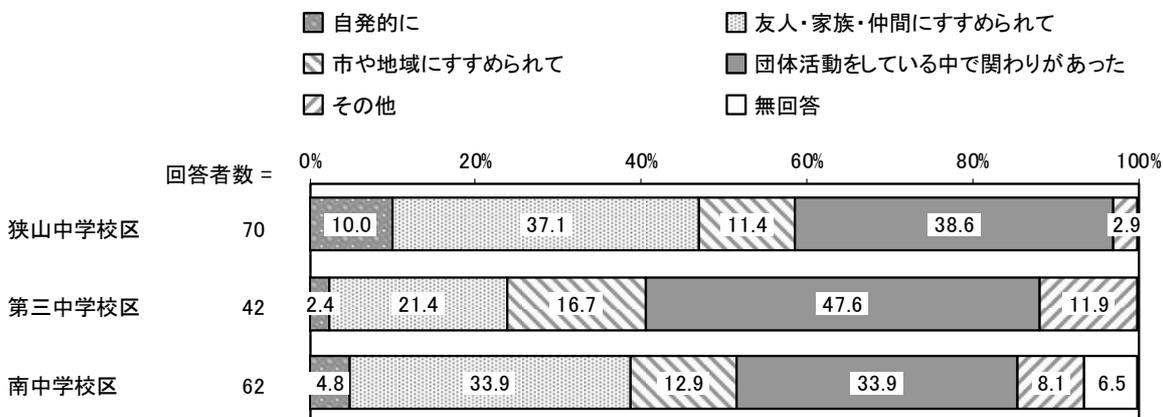
校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「まちづくり円卓会議経験者が、地域で活躍する人材となった(=人材育成)こと」「役立ったことはない」の割合が高くなっています。また、南中学校区で「地域のさまざまな意見の集約と調整が図られたこと」の割合が高くなっています。

- 地域のさまざまな意見の集約と調整が図られたこと
- まちづくり円卓会議経験者が、地域で活躍する人材となった(=人材育成)こと
- 役立ったことはない
- わからない
- その他
- 無回答



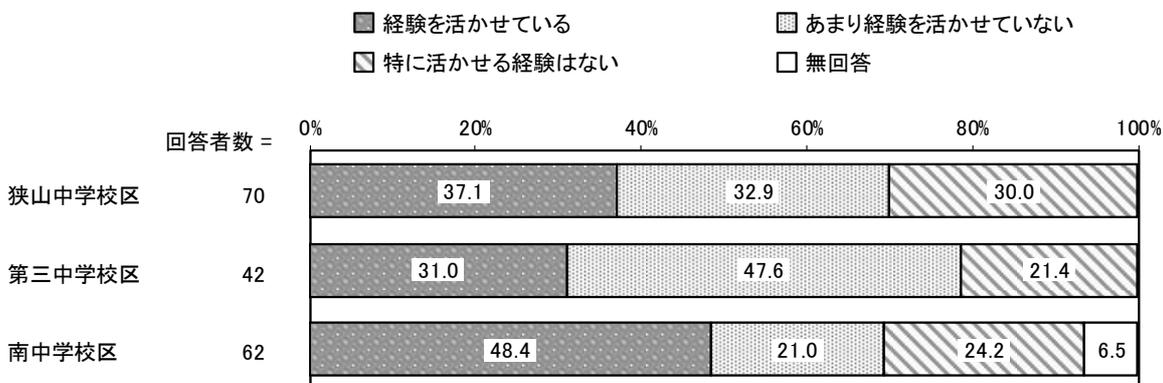
**問9 まちづくり円卓会議の活動に参加することになったきっかけは何ですか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)**

校区別で見ると、他に比べ、狭山中学校区で「友人・家族・仲間にすすめられて」の割合が高くなっています。また、第三中学校区で「団体活動をしている中で関わりがあった」の割合が高くなっています。



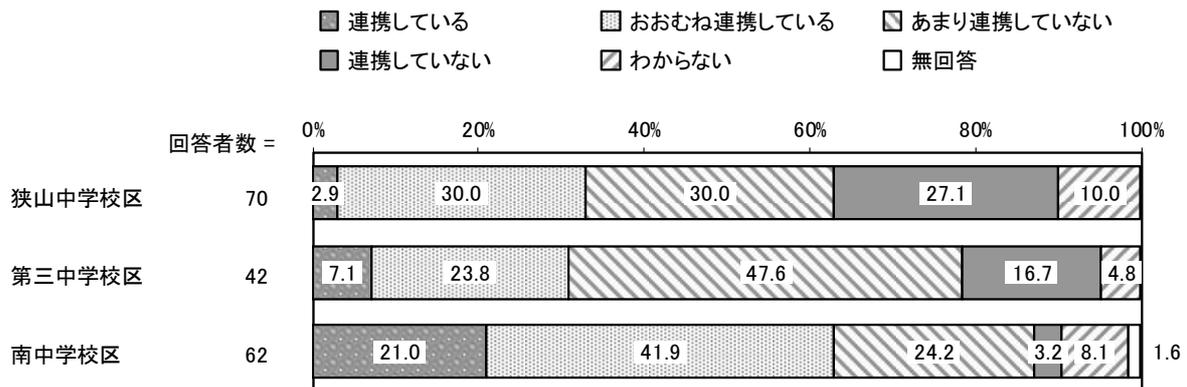
**問10 まちづくり円卓会議の活動はご自身の経験を活かしていると感じますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)**

校区別で見ると、他に比べ、南中学校区で「経験を活かしている」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「特に活かせる経験はない」の割合が、第三中学校区で「あまり経験を活かしていない」の割合が高くなっています。



問 11 まちづくり円卓会議が活動する上で、地域コミュニティや自治会等の地域の団体との連携は、必要不可欠ですが、あなたの地域では、連携が行われていると感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

校区別でみると、他に比べ、南中学校区で「連携している」と「おおむね連携している」をあわせた“連携している”の割合が高くなっています。また、第三中学校区で「あまり連携していない」と「連携していない」をあわせた“連携していない”の割合が高くなっています。



問 12 まちづくり円卓会議が、協議等をする上で、足りていないと感じるものはありますか。あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。  
(○はいくつでも)

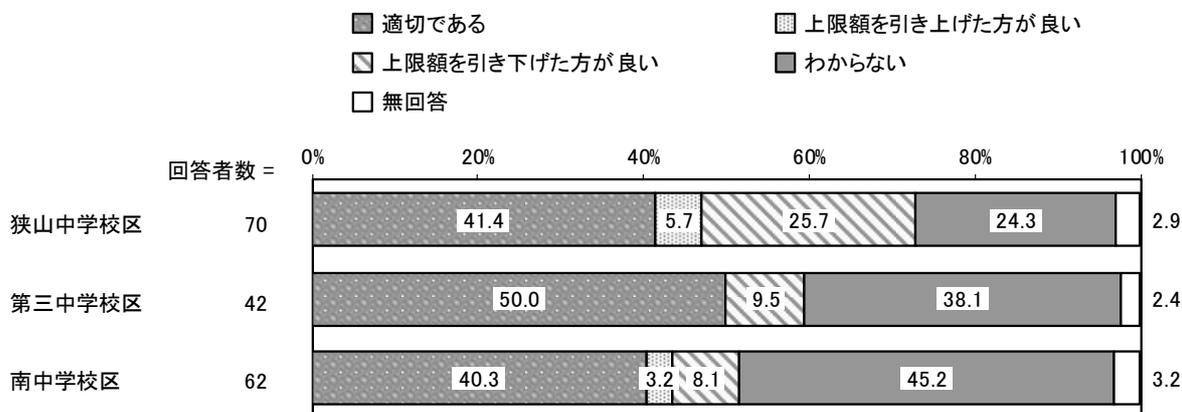
校区別でみると、他に比べ、狭山中学校区で「行政の協力」「まちづくり円卓会議メンバーのやる気ややりがい」の割合が高くなっています。また、第三中学校区で「まちづくり円卓会議の認知度」の割合が高くなっています。

単位: %

区分	回答者数 (件)	組織や人材 まちづくり円卓会議で考えた 事業の実施に協力してくれる	まちづくり円卓会議の運営・協 議の効率化	まちづくり円卓会議の認知度	行政の協力	まちづくり円卓会議メンバ ーのやる気ややりがい	特になし	その他	無回答
狭山中学校区	70	38.6	20.0	54.3	25.7	31.4	12.9	2.9	—
第三中学校区	42	45.2	9.5	73.8	19.0	23.8	4.8	4.8	—
南中学校区	62	48.4	14.5	54.8	17.7	12.9	8.1	1.6	1.6

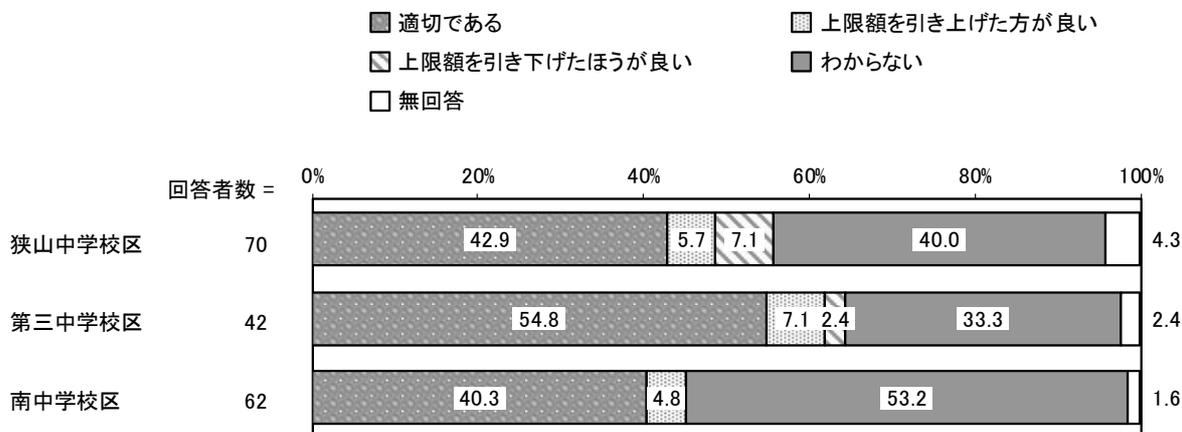
問 13 まちづくり円卓会議で提案できる事業の予算措置限度額は、上限が 500 万円（事業実施要領に基づく）となっています。この上限額についてどのように思われますか？（○は1つだけ）

校区別で見ると、他に比べ、第三中学校区で「適切である」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「上限額を引き下げた方がよい」の割合が高くなっています。



問 14 まちづくり円卓会議の運営費は、上限が 30 万円（運営費補助金交付要綱に基づく）となっています。この上限額についてどのように思われますか？（○は1つだけ）

校区別で見ると、他に比べ、第三中学校区で「適切である」の割合が高くなっています。



問 15 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？（○はいくつでも）

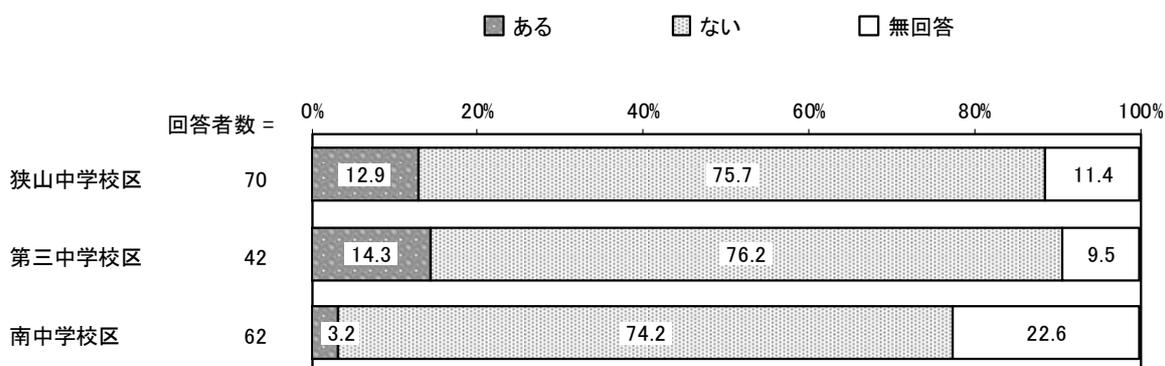
校区別でみると、他に比べ、第三中学校区で「地域行政の人材の育成」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域行政の人材の育成	次の世代の担い手の確保	新しく転居されてきた方々との協働	その他	無回答
狭山中学校区	70	31.4	82.9	44.3	1.4	1.4
第三中学校区	42	42.9	88.1	19.0	4.8	2.4
南中学校区	62	30.6	91.9	33.9	8.1	6.5

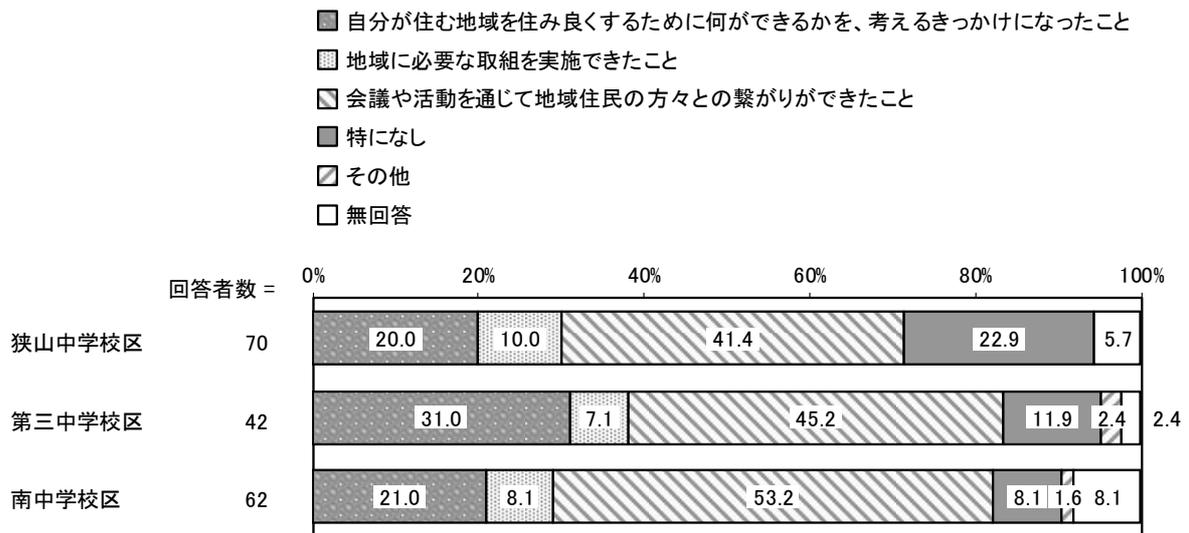
問 16 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文について、見直しすべき点がありますか？（○は1つだけ）

校区別でみると、南中学校区に比べ、狭山中学校区、第三中学校区で「ある」の割合が高くなっています。



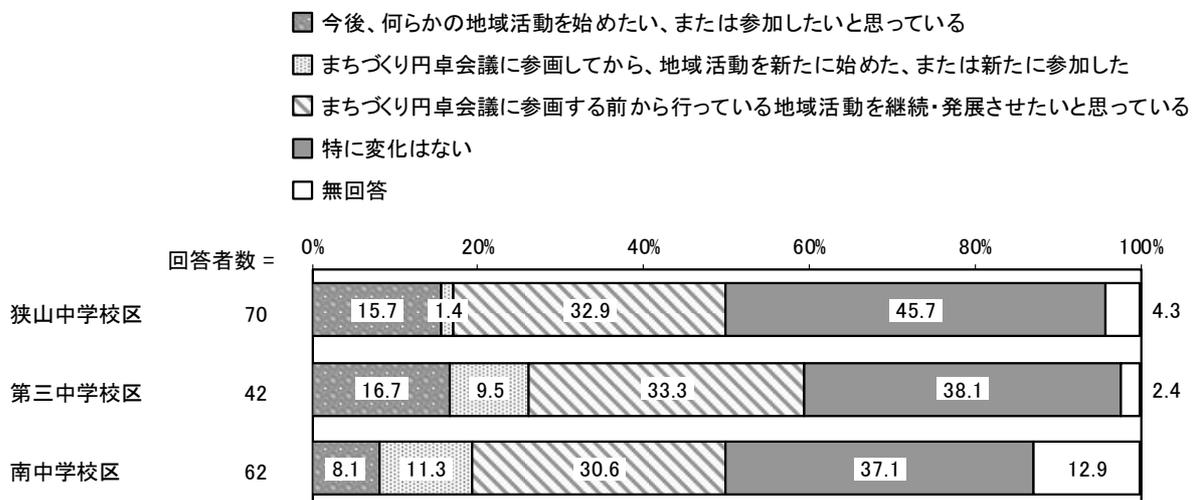
問 17 これまでまちづくり円卓会議に参画してみて、あなた自身が良かったと思うことは何ですか？あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。  
(○は1つだけ)

校区別で見ると、他に比べ、第三中学校区で「自分が住む地域を住み良くするために何ができるかを、考えるきっかけになったこと」の割合が、南中学校区で「会議や活動を通じて地域住民の方々との繋がりができたこと」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「特になし」の割合が高くなっています。



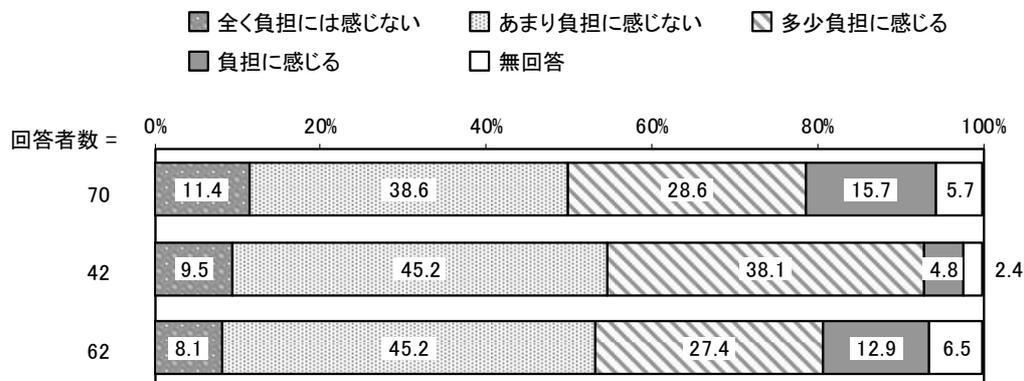
問 18 まちづくり円卓会議への参加をきっかけとし、地域づくりや地域活動に対するあなた自身の心境や行動に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

校区別で見ると、他に比べ、狭山中学校区、第三中学校区で「今後、何らかの地域活動を始めたい、または参加したいと思っている」の割合が、第三中学校区、南中学校区で「まちづくり円卓会議に参画してから、地域活動を新たに始めた、または新たに参加した」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「特に変化はない」の割合が高くなっています。



**問 19 まちづくり円卓会議の活動に参加していて負担に感じることはありますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。（○は1つだけ）**

校区別でみると、第三中学校区に比べ、狭山中学校区、南中学校区で「負担に感じる」の割合が高くなっています。



**問 20 まちづくり円卓会議の活動に新しい人やたくさんの人に参画してもらうにはどんなことが必要だと思いますか？（○はいくつでも）**

校区別でみると、他に比べ、第三中学校区で「住民が、地域活動について関心を深めるための学習の推進」「ボランティア、市民活動団体（NPO 法人など）の育成・支援（情報の提供など）」「地域における高校・大学との連携」の割合が高くなっています。また、南中学校区で「小・中学生、高校生が、地域活動について関心を深めるための教育の推進」「商店、企業などの、地域の担い手としての取組の紹介」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	小・中学生、高校生が、地域活動について関心を深めるための教育の推進	住民が、地域活動について関心を深めるための学習の推進	ボランティア、市民活動団体（NPO 法人など）の育成・支援（情報の提供など）	住民が関心を持ち、身近に感じてもらうようにするための、活動の紹介や、行事などの開催	豊富な経験と知識、技能を持つ高齢者のマンパワーの活用	地域における高校・大学との連携	商店、企業などの、地域の担い手としての取組の紹介	わからない	その他	無回答
狭山中学校区	70	42.9	37.1	18.6	54.3	28.6	12.9	18.6	8.6	8.6	2.9
第三中学校区	42	40.5	50.0	40.5	69.0	35.7	28.6	19.0	2.4	2.4	4.8
南中学校区	62	59.7	32.3	25.8	71.0	38.7	19.4	27.4	3.2	3.2	6.5

問 21 まちづくり円卓会議の活動をすすめるうえで、行政に求めることはありますか？  
（〇はいくつでも）

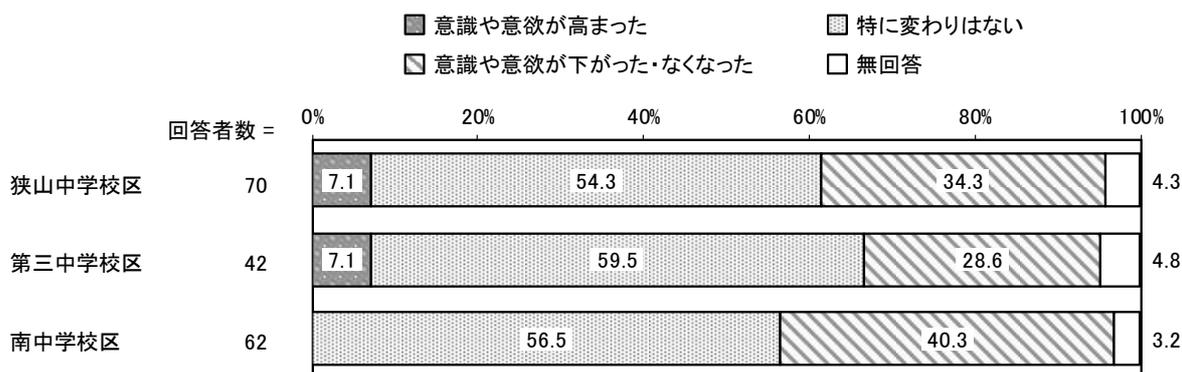
校区別でみると、他に比べ、第三中学校区で「活動・業務の場所の確保に関する支援」「情報発信に関する支援」の割合が高くなっています。また、南中学校区で「先進的な活動・業務事例の紹介」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	活動・業務の担い手となる人材の育成	活動・業務の場所の確保に関する支援	活動費・事業費などの経済的な支援	団体や組織間の連携支援	先進的な活動・業務事例の紹介	専門性を持った人材や団体の紹介	地域情報の提供	情報発信に関する支援	活動・業務について相談できる機会の充実	住民への地域活動に関する意識の啓発	特にない	その他	無回答
狭山中学校区	70	41.4	15.7	18.6	28.6	15.7	15.7	31.4	25.7	8.6	35.7	5.7	7.1	7.1
第三中学校区	42	45.2	31.0	26.2	21.4	14.3	23.8	26.2	38.1	14.3	45.2	4.8	2.4	2.4
南中学校区	62	40.3	24.2	29.0	27.4	27.4	22.6	25.8	16.1	14.5	46.8	6.5	—	8.1

問 23 新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって、事業が中止や延期になりました。それによってご自身の参画への意識や意欲に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。（〇は1つだけ）

校区別でみると、他に比べ、南中学校区で「意識や意欲が下がった・なくなった」の割合が高くなっています。



問 24 コロナ禍で事業を継続するうえで難しいと感じることはありますか？  
(〇はいくつでも)

校区別でみると、他に比べ、南中学校区で「集まって活動することができない」の割合が高くなっています。また、狭山中学校区で「オンラインを活用した取り組みなどのノウハウがない」の割合が、第三中学校区で「感染症対策をとる準備ができない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	集まって活動することが できない	活動の場を確保するのが 難しい	イベントなどを開催する ことができない	感染症対策をとる準備が できない	他の団体と協力すること が難しい	活動の情報発信が難しい	オンラインを活用した取 組みなどのノウハウがない	特 に ない	そ の 他	無 回 答
狭山中学校区	70	55.7	27.1	62.9	4.3	27.1	11.4	21.4	7.1	1.4	4.3
第三中学校区	42	64.3	23.8	54.8	21.4	23.8	4.8	9.5	11.9	2.4	9.5
南中学校区	62	72.6	22.6	67.7	6.5	21.0	6.5	14.5	8.1	3.2	4.8

## IV 自由意見のまとめ

この自由意見のまとめは、アンケート調査の末尾に設けた「まちづくり円卓会議」及び「まちづくり円卓会議条例」に関する意見として記入があった内容を分類してまとめたものです。

(記入された内容は、整理し抜粋しています。)

### 1 市民

分類	件数
1. まちづくり円卓会議について	37
2. 市民へのPR不足、意見箱の設置について	24
3. 市の財源、補助金について	4
4. まちの活性化、地域の交流について	9
5. 高齢化、人口減少について	5
6. その他	31

#### 【分類別の意見】

##### (1) まちづくり円卓会議について

- ・大阪狭山や各地域のまちづくりに関心や熱意のある市民が円卓会議に参加しやすくする手立てを講じてほしい。
- ・外国人や若い世帯も巻き込めるような仕組み。
- ・円卓会議のジュニアバージョンとして学生を巻き込み、イベント等へ参加してくれるような仕組みをつくる。
- ・ネットを利用するなどして、多くの考えが聞けるように。
- ・市民に周知されていないので、市自体のPR活動が必要。
- ・行政がまちづくりをしっかり考え計画し、これに協力してもらおう組織であってほしい。
- ・円卓会議の議事録の広報誌等の掲載、予算や活動成果の明示。
- ・登校下校時の見守り隊の方など、多くの方が関わっていることを知り、いつか自分もできることがあればと思っている。
- ・アンケートを通じて円卓会議のことを知ったので、今後参加してみたい。

##### (2) 市民へのPR不足、意見箱の設置について

- ・無記名のご意見箱があるとよい。
- ・転入者へのPR活動が必要。
- ・TwitterやLINE登録で情報が自動で届くと周知しやすい。
- ・子育て世代は、共働きが多く、忙殺されている。追加で、市への役割が増えることには反対。
- ・行政、市民の責任の明確化をしっかり行い、効果・実績の見える化を期待する。
- ・あらゆる世代、生活水準のニーズに応じて声を拾い上げ、事業にのせていってほしい。

- ・子どもの貧困やヤングケアラーの課題など、どのような課題があるのか。課題に対する方向性が明確でない。

### (3) 市の財源、補助金について

- ・市からの補助金をもっと明確にして還元すべき。
- ・予算は一校区 200 万ほどでよい。

### (4) まちの活性化、地域の交流について

- ・子どもがたくさんいるので、もっと地域交流に力を入れる。
- ・インターネット上に掲示板を作って、「どんなアイデアがありますか？」と問いかけ、市民が自由に書き込んでまちづくりを考えていけたら楽しい。
- ・母子家庭のお手伝いやヤングケアラーのバックアップなど本当に困っている人の声を吸い上げる組織であってほしい。
- ・コミュニティカフェは子連れでもふらっと入りやすい雰囲気だとよい。
- ・コミュニティ単位をシンプルな構造に変えて、その中で人材を育成し、テーマごとに細分化して、課題抽出・解決に向けて市民が主体的に取り組んでいく仕組みとしてはどうか。

### (5) 高齢化、人口減少について

- ・高齢化に伴う人口減少を阻止するため、狭山の魅力を訴えていけるセールスポイントがあればよい。
- ・免許返納後の通院、買い物等に利用しやすい乗り物を走らせてもらいたい。
- ・子育て世代が転居してきたくなる大阪狭山市にするにはどうしたらよいかを真剣に考えないといけない。

## 2 まちづくり円卓会議メンバー

分類	件数
1. 円卓会議のPRについて	27
2. 次の担い手の確保、育成について	9
3. 行政に求めることについて	6
4. 防犯、防災について	1
5. 市の財源、補助金について	2
6. 事業の見直しについて	6
7. まちの活性化、地域の交流について	3
8. 新型コロナウイルス感染症の影響について	1
9. その他	7

### 【分類別の意見】

#### (1) 円卓会議のPRについて

- ・行政の円卓会議活動に対するPRや、協働によるまちづくりの意識が薄れてきている。
- ・円卓会議に参加可能な市民は全体の数%であり、市民全体の活動になっていない。
- ・市サイドからも地域ごとに合った事業を提案すればよい。
- ・地域には、専門知識がある有能な人材も存在する。人的な能力を活かし、連携、協働の力を発揮できる仕組みをつくる。
- ・毎年各円卓会議の評価を実施し公表してほしい。
- ・自分の校区以外の二つの校区の情報不足。広報への掲載を増やしてほしい。
- ・メンバーの高齢化もみられるため、現状の運営体制について議論が必要。

#### (2) 次の担い手の確保、育成について

- ・事業を行うにおいて、次の担い手の確保・育成と地域の協力が重要。
- ・ドラスティックな若返りによる新しい活動。
- ・若い人や女性の方の参加が少ない。興味をもってもらいたい。
- ・設立時の構成員も高齢化が進み、参加意識もやや低下している。
- ・若手メンバーの参加しやすいような事業や取り組みを考えなければならない。
- ・活動業務の担い手となる人材の育成(確保)は、いずれの団体でも最重要課題。
- ・世代交替の時期が来ている。声掛けから始めることが必要。

#### (3) 行政に求めることについて

- ・行政が主導する。
- ・条例制定の目的、趣旨を原点に戻って見直すべき。
- ・自治会長が理事になっているが自治会での説明がない。
- ・今後もあきがない会議活動を。

#### (4) 防犯、防災について

- ・防犯、防災、福祉等の諸活動に各市委員会社協との連携が少ない、話し合い場が必要と思う。地区としては各委員の選出が大変。

#### (5) 市の財源、補助金について

- ・自治会単位で行う事業への人的補助、運営費等の補助。
- ・参加者個人による出費や行動に対しての援助も必要ではないか。
- ・各校区で 500 万円ずつ配布しているが、市民の税金を当てにしていろいろな行事をすることはやめてほしい。

#### (6) 事業の見直しについて

- ・高齢化とコロナ禍でイベントも少なく、住民の意欲が低下し、元に戻せない。
- ・事業計画を数年実施していない箇所は行政から見直しの指導があってもよい。
- ・事業、活動内容がマンネリ化している。設立当初の理念に基づいて、制度自体を白紙にもどして検討し再出発すべき。存廃も検討すべき。
- ・自治会の存続も難しい現在、円卓会議を市民とつながった組織に育成することは難しい。
- ・南中校区では、狭山ニュータウン地区再生連協を立ち上げ、本来円卓会議が行わなければならない事を市が主導で進めている。これでは、円卓会議の存在意義がない。
- ・現状維持が望ましい。

#### (7) まちの活性化、地域の交流について

- ・行事を通してコミュニケーションが計れることはよい。
- ・「まちづくり」をするためには、住民の行動(他人の為の行動)が必要になると考えます。
- ・各地域で日常の生活で課題、改善項目を列挙し、初期に戻って考えることも必要である。

#### (8) 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・今はコロナのため何もできない。
- ・コロナ禍で活動が制約されても、考える時間はたっぷりあった。しかし、何もせず仕舞だった。市のこのアンケートにしても、もっと早くすべきだった。

## V ヒアリング調査のまとめ

このヒアリング調査のまとめは、各円卓会議の定例会及び3つの円卓会議情報交換会にて、まちづくり円卓会議の活動や課題について聞き取り調査を行い、その内容についてまとめたものです。  
(記入された内容は、整理し抜粋しています。)

### 1 各円卓会議への聞き取り

#### (1) 新型コロナウイルス感染症による影響

##### ○まちづくり円卓会議の活動への影響

- ・コロナの影響でいろいろな事業が出来ていない。構成員が集まる機会も少ない。
- ・特にコロナ禍に入って地域との接点がないというのがより大きくなっている。
- ・円卓会議の事業で、パトロール以外は何らかの制約を受けて、あまりできないか全くできてないという状況。
- ・これまでなんらかの形で毎月、毎日やっていたのが、コロナで市民が円卓会議を忘れがちになってきたのではないかと思う。ボランティアも3年ぶりになると、もう1回やる気になるのに少し時間がかかる気がする。
- ・コロナにおいては構成員、地域の人が集まるようなことはほとんどできていない。夏祭りも徹底した感染防止ができないということで中止している。

##### ○コロナ禍における対処

- ・コロナ禍に広く浅く情報を共有できるものということで、SNSでの発信を積極的にしていた。しかし周知徹底が、1人では力不足で、2次発信、3次発信というものを戦略的に作っていかないといけないと感じている。
- ・集まることができないが、幹事会だけは大きな会議室で月1回情報交換をやっている。
- ・各種団体の方々の日ごろの活動をDVDに集めてYouTubeで発信したということがあった。

#### (2) まちづくり円卓会議の活動における課題

##### ○各種事業を実施している中で感じている課題

- ・外から見た時に活動が見えてない。せっかくまちづくり円卓会議という中で動いている割には、市民に浸透していないのではと思う。
- ・活動は幹事会のメンバーが主でやっているが、メンバーにそう変化がないので、12年、ほとんど変わらない。

##### ○円卓会議を運営するうえでの課題

- ・活動の中心となる人と他の活動でも顔を合わせることが多く、中心となる人が重なっている印象がある。関係の濃い人は濃いのが、弊害として活動が広がっていない。
- ・参加していない人にどう興味を持ってもらうのが難しいと感じるので、広報とか発信とかの活動をやる必要があると思う。他団体がどういう活動をしているかが把握できていない中で、お互いの活動を発信することで、情報の連携につながるのかなと思う。

- ・何をしている団体かわからないという意見もよく聞く。円卓会議は何をしたいかをみんなで話し合う団体なので、自分でいかようにも変えられるということをPRすべきだと思う。
- ・メンバーの高齢化と、入ってくれる人の補充というのはなかなか難しい。そういうところが大きな課題。
- ・次代を担う人材の確保が課題。メンバーの平均年齢は75歳を超えており、このままだったらもう5年もしたら解散となってしまう。
- ・後ろを見たら誰もついて来ていないというのは実感としてあると思う。でも若い人にしたら、既存の人がみんな上の要職についてしまって、自分たちが入るところがないと思っっているようなところもあるのではないかなと思う。
- ・「円卓会議って何をしているの」という話を聞く。円卓会議のPRが欠けていると思うし、円卓ニュースそのものも、みんなの目にとまるようなニュースにしていけないとだめだと思う。
- ・円卓会議の事業が広まらない。みんなが周知してそこに参加してやろうというところまではまだ行っていないと思う。なかなか活動する人が集まらない。
- ・総会等で構成員の人に声をかけても、「こういうものやってほしい」という声がなかなか出ない。裏返せばそういう声を出したら自分も中心に入ってやらなければならないという思いがあって、なかなかそういう発言にならないのかということもあると思う。

### (3) 他団体との連携が必要だと感じること

- ・他の各種団体とのつながりについても、各組織の人との話し合いの場を持って、全体的に各組織の底上げをしていくことが必要だと感じている。
- ・30代から40代のヤングママ世代をしっかりと巻き込んで、情報公開して協力してもらおうといったようなことをやっていかないといけないと感じる。
- ・他団体の連携では、自治会、地区会をはじめとしていろいろな各組織との協働は必要だと思う。
- ・このコロナ禍の間で、円卓会議と自治会はだいぶ疎遠になってきている。
- ・自治会でも円卓会議でもどちらも後継者がいないという話がある。ただ、円卓会議と自治会が密になれば、円卓会議の後継者を自治会からも引き上げてもらおう、自治会は自治会で、各地域の中で役員を引き上げてもらおう、そういう仕組みを、円卓会議がリードしてあげたら良いのではないかな。
- ・例えば、「子どもを見回ろう」といった同じ活動がこっちでもあっちでもやっているという状況になってくるので、その辺りでうまく連携をとれるとよい。ただ、円卓会議が各組織の上に立ってコーディネートして、采配を振ってやるというのはなかなか難しいと思う。

### (4) 今後の展望

- ・円卓会議も単なる「所属体」ではなく、「運動体」として口だけしか出さないという参加でもいいからやっていかないといけないと思う。ただ黙っているだけで、今まで通りで良いというのでなくて、何らかの「運動体」につながるものに円卓会議が変わっていかないといけないと思う。

- ・円卓会議は、行政の本音の部分、首長が何を考えているのかを聞かせてもらった中で、それに協力するとか、次の動き方を決める段階に来ている。次どうするか、円卓のあるべき姿を決めるのも円卓会議の役割だと思う。
- ・住民自治活動の推進ということで、もう一度、この自治会活動の必要性というものを考える必要がある。自治会というのは行政の下請けだという捉え方をしているところがまだまだあると思う。なかったら有事の時にどうするのか、そういった原点に立って、自治会活動のあり方についても考えるべき。
- ・円卓会議は良いことをやっているなど思ってもらえるような事業をもう一度再構築しないといけない。今のまま「例年通りにやりましょう」とやっていたら、じり貧になる一方だと思う。
- ・市民のプレーヤーをもっと増やしていかないといけない。そのためには、例えば猫で困っている地域とか、見守りをする民生委員がいなくて困っている地域とか、市民がそれだったら参加したいと思うテーマ設定をしてプレーヤーを連れてこないことには、ずっと新しい人が入ってこないと思う。

## (5) 円卓会議や活動を進める上で、行政に求めること

- ・自分たちだけでPRするのは限界があるかなと思うので、市の広報等で再度、円卓会議や自治会のPRをやっていただきたい。

## 2 3つの円卓会議情報交換会でのアンケート集計結果報告時での聞き取り

### (1) 情報発信について

- ・パソコンやスマートフォンを使わない高齢者に発信するにあたって、動画と紙媒体を併用して発信していく方法が良いと思う。他にも、SAYAKA ホールで講演会を行うことも行っていきたい。
- ・情報発信のやり方について、効果があると分かっているやり方でも協力者に抜けられると完成できずに中途半端になってしまう。
- ・各会員に短い動画を撮ってもらって、技術のある会員に魅力的な動画を作成してもらうのはどうか。
- ・円卓構成員の強みの一つとして、住民が自治会に参加しているか否かの情報を持っていることがあり、この情報を用いて、自治会に未加入の住民にも情報を投げかけていくことはどうか。

### (2) 円卓会議に関心を向けてもらうために必要なことについて

- ・アンケートの結果では、「市民活動団体に参加しておらず、今後も参加するつもりがない」との回答が56.8%、自治会の組織率が53%と、自治会運営のこれからは厳しい状況にある。
- ・条例では地域活動をする人たちの、話し合いや交流の場を設けるのが円卓会議の役割ということだが、現状は事業を決めて人を募るという状況にある。

- 友人に誘われ参加するまで、円卓会議のことを知らなかった。市役所のPR下手・PR不足もあると思うが、興味を持ってくれる人をどう引き込めるか、自分から参加したいと思う事業を企画するのが私たちの仕事かなと思う。
- もともとボランティア活動に参加する時間が少ない人にも興味をもってもらえることを考えていかないと前進しない。
- 3団体であらゆる住民が参加できる競技で町内会対抗の大会を開くなど、地域に関心を持てることを行っていくと良いと思う。特に、綱引きは若い年齢からシニア層まで幅広く全員で参加ができて良いと思う。高齢者に全年齢向けの綱引きは難しいと思う。そうした場合は、シニアの部を作ればよいと思う。

## VI 調査結果のまとめ

### 1 地域活動への参加

#### ①自治会活動への参加

- 自治会活動への参加については、「参加している」の割合が37.4%となっています。「参加していないが、参加したい」の割合は9.0%となっています。
- 平成29年度調査と比較すると、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が増加しています。
- 年代別で見ると、60歳代、70歳以上で「参加している」の割合が高くなっています。一方で、20歳未満では「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっています。
- 校区別で見ると、他に比べ、南中学校区で「参加している」の割合が高くなっています。

#### ②市民活動団体等への参加

- 市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動への参加については、「参加している」の割合が9.1%となっています。一方で、「参加していないが、参加したい」の割合が14.3%となっています。
- 年代別で見ると、他に比べ、60歳代で「参加していないが、参加したい」の割合が高くなっています。

#### ③市民が自主的にまちづくりに取り組む動き

- 市民が自主的にまちづくりに取り組む動きについては、「参加している」の割合が5.3%となっています。また、「参加してみたい」の割合は23.6%となっています。
- 年代別で見ると、20歳未満で「参加してみたい」の割合が高くなっています。
- 参加したくない・興味がない理由は、「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が49.3%と最も高く、次いで「病気がち、または体が弱いから」の割合が22.0%、「どこで活動しているかわからないから」の割合が18.2%となっています。

### 2 まちづくり円卓会議への参加

#### ①まちづくり円卓会議の認知度と認識

- まちづくり円卓会議の認知度については、「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が31.7%、「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が66.4%となっています。
- 平成29年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。
- 年代別で見ると、他に比べ、20歳未満、20歳代、30歳代で“知らない”の割合が高くなっています。
- 校区別で見ると、南中学校区で“知っている”の割合が高い一方で、狭山中学校区では“知らない”の割合が高くなっています。

- 居住年数別でみると、他に比べ、3年未満では“知らない”の割合が高く、“知っている”人はいない状況となっています。
- まちづくり円卓会議の制度については、「良い制度だと思うし、参加してみたい」の割合が17.9%、「良い制度だと思うが、参加はしたくない」の割合が65.2%と、8割の人が良い制度だと感じています。

## ②まちづくり円卓会議への参加

- まちづくり円卓会議への参加状況については、「参加したことがある」の割合が11.5%となっています。また、「参加したことはないが、参加してみたい」の割合が26.3%となっています。
- 平成29年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が増加しています。

## ③協働における市民の役割への認識

- 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例の基本理念に基づく市民の役割については、「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が30.9%、「自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい」の割合が17.8%となっています。
- 平成29年度調査と比較すると、「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が増加しています。
- 年代別でみると、他に比べ、20歳代と40歳代で「自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある」の割合が高くなっています。

# 3 まちづくり円卓会議の活動状況

## ①まちづくり円卓会議の活動者

- まちづくり円卓会議メンバーへの調査結果では、活動者の年齢は、「70歳以上」の割合が70.1%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が18.1%となっています。
- まちづくり円卓会議メンバーの経験年数は、「7年以上」の割合が53.1%と最も高く、次いで「5～6年」の割合が20.9%、「3～4年」の割合が16.4%となっています。
- まちづくり円卓会議の活動に参画することになったきっかけは、「団体活動をしている中で関わりがあった」の割合が38.4%と最も高く、次いで「友人・家族・仲間にすすめられて」の割合が31.6%、「市や地域にすすめられて」の割合が13.0%となっています。

## ②まちづくり円卓会議の活動上の課題

- まちづくり円卓会議メンバーへの調査結果では、まちづくり円卓会議が協議等をする上で、足りていないと感じるものについては、「まちづくり円卓会議の認知度」の割合が59.3%と最も高く、次いで「まちづくり円卓会議で考えた事業の実施に協力してくれる組織や人材」の割合が43.5%、「まちづくり円卓会議メンバーのやる気ややりがい」の割合が22.6%となっています。

○まちづくり円卓会議メンバーへの調査結果では、まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上での課題については、「次の世代の担い手の確保」の割合が86.4%と最も高く、次いで「新しく転居されてきた方々との協働」の割合が35.0%、「地域行政の人材の育成」の割合が33.3%となっています。

### ③今後必要な取り組み

○まちづくり円卓会議メンバーへの調査結果では、まちづくり円卓会議の活動に新しい人やたくさんの人に参画してもらうために必要なこととして、「住民が関心を持ち、身近に感じてもらえるようにするための、活動の紹介や、行事などの開催」の割合が63.8%と最も高く、次いで「小・中学生、高校生が、地域活動について関心を深めるための教育の推進」の割合が47.5%、「住民が、地域活動について関心を深めるための学習の推進」の割合が37.9%となっています。

○まちづくり円卓会議メンバーへの調査結果では、まちづくり円卓会議の活動をすすめるうえで行政に求めることは、「活動・業務の担い手となる人材の育成」、「住民への地域活動に関する意識の啓発」の割合が41.2%と最も高く、次いで「地域情報の提供」の割合が28.2%となっています。

## 4 円卓会議条例の認識

### ①「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の認知度

○「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の認知度については、「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”の割合が14.3%、「あまり知らない」と「知らない」を合わせた“知らない”の割合が84.0%となっています。

○年代別でみると、他に比べ、30歳代で“知らない”の割合が高くなっています。

○校區別でみると、他に比べ、狭山中学校区で“知らない”の割合が高くなっています。

○居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“知らない”の割合が大半となっています。

### ②条例の見直し

○「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文を見直すべき点については、「ある」の割合が2.4%となっています。

○まちづくり円卓会議メンバーへの調査結果でも、「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文を見直すべき点については、「ある」の割合が9.6%となっています。

### ③円卓会議への期待

○「まちづくり円卓会議」や「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」に期待する効果については、「市民との協働によるまちづくりが推進される」の割合が49.7%と最も高く、次いで「行政の役割や責務が明確になり、分かりやすく効率的な市政運営が行われる」の割合が35.4%、「円卓会議の役割や責務が明確になり、主体的なまちづくり活動が活発となる」の割合が22.5%となっています。

## 5 今後の課題

市民の地域活動等の参加状況を見ると、自治会活動へ参加している市民は約4割、市民活動団体、NPO等などの地域の組織の活動では約1割、自主的にまちづくりに取り組む動きについては約5%となっていますが、いずれの活動においても、今後参加したいと考えている市民は一定数おり、市民の地域活動への参加意欲を高めることで、新たな参画が期待できます。特に、市民活動団体等の活動やまちづくり活動では、現在参加している割合より、今後参加したいと考えている割合が上回っており、参加意欲を持った人が具体的な活動につながるよう、市民活動に関心を持ってもらい、参加してもらえよう、更なる働きかけをしていく必要があります。

また、市民活動団体等の活動では60歳代が、まちづくり活動では、20歳未満で今後参加したいと考えている割合が高くなっており、各年代層の意欲やニーズに応じた様々な立場の市民への働きかけが重要です。

その中で、まちづくり円卓会議の活動に目を向けると、まちづくり円卓会議を知っている市民は約3割と平成29年度調査と比較して減少しています。また、中学校区ごとの地域差も見られます。特に、居住年数が3年未満の市民では知らない人が大半となっており、新型コロナウイルス感染症拡大下において事業が中止になっていた背景などから、新しい住民に知られていない現状がうかがえます。

また、まちづくり円卓会議メンバーへの調査では、活動者の年齢が70歳以上の人が7割と高齢の方が担い手の中心となっており、次の世代の担い手の確保が大きな課題となっています。今後より多くの人に参画してもらうために必要なこととしては、活動の紹介や行事などの開催が必要だと考える人が多く、行政に対しても、活動・業務の担い手となる人材の育成や住民への地域活動に関する意識の啓発を行っていくことが求められています。

こうした中、まちづくり円卓会議への参加については、平成29年度調査と比較して、参加したくないと考える市民が増加しているものの、今後参加してみたいとする市民も現在参加している市民以上に見られます。

新たな担い手を確保・育成していくうえで、新しい住民を中心に、まちづくり円卓会議の取り組みを紹介するなど、市民への周知を図り、新たな参画につなげていくことが必要です。

まちづくり円卓会議の制度については、約8割の市民が良い制度だと感じており、また、大阪狭山市まちづくり円卓会議条例における市民の役割についても、自分たちのまちづくりを進めて行くために参画していく必要があると考える市民の割合が増加しています。「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の認知度はまだ十分ではないものの、市民協働への理解が深まっていることがうかがえます。

また、「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文の見直しについては、大半の市民が見直すべき点はないと回答しており、条例を見直す必要を感じていないことがうかがえます。今後も、より多くの市民に条例が浸透し、協働への理解が深まり、具体的な活動への参画につながるよう、引き続きまちづくり円卓会議の活動を推進していくことが重要です。

# Ⅶ 資料（調査票）

## 1 市民

### 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」についての アンケート調査 ご協力のお願い

市民のみならずには、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
大阪狭山市では、市民が主体的にまちづくりに参加することを目的に「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を制定しています。これは、「大阪狭山市自治基本条例」に基づき、市民がまちづくりの重要な課題について話し合うための対話及び交流の場として設ける「まちづくり円卓会議」の運営を支援するための基本的な事項を定めたものです。  
本条例は、時代や環境の変化によって、現在の条文では目的を達成できず、または定めている内容と実態に隔たりが生じる可能性があるため、5年を超えない期間ごとに市民のみならずのご意見を聞きながら必要があれば条例改正の必要性を検討するものとなります。  
本アンケートは、条例改正の必要性を基礎資料とするために実施するものです。  
お忙しいところお手数をかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。  
令和4年8月

大阪狭山市長 古川 照人

#### 【ご記入に当たってのお願い】

- ◇調査票の記入について
  - ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
  - ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
  - ・令和4年8月1日現在の内容をご記入ください。
  - ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、( )内に具体的に記入ください。
  - ・設問によって、○をつけていただく数を( )内に指定していますので、ご注意ください。
  - ・大阪狭山市まちづくり円卓会議条例及び大阪狭山市自治基本条例の紹介リーフレットを同封しています。リーフレット2～3ページに大阪狭山市まちづくり円卓会議条例の全文を掲載しておりますので、必要に応じてご参照下さい。
  - ・インターネット回答フォームから回答することも可能です。郵便か回答フォームのどちらからかご回答いただきますよう、お願いいたします。

- ◇調査票の回収について
  - ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**9月16日(金)**までに郵送していただきますようお願いいたします。(切手は不要です)
- ◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。  
大阪府大阪狭山市狭山一丁目2384番地  
政策推進部 公民連携・協働推進グループ  
電話 072-366-0011(代表) FAX 072-367-1254  
インターネット回答フォームはこちら  
URL <https://logoform.jp/form/8s6o/1130677>



#### 1 ご本人についておたずねします。

問1 性別をお聞かせください。

1. 男性  
2. 女性  
3. 答えたくない

問2 年齢をお聞かせください。

1. 20歳未満  
2. 20歳代  
3. 30歳代  
4. 40歳代  
5. 50歳代  
6. 60歳代  
7. 70歳以上

問3 職業をお聞かせください。

1. 自営業・自由業  
2. 会社員・公務員  
3. パート、アルバイト  
4. 主婦・主夫  
5. 学生  
6. 無職  
7. その他( )

問4 お住まいの中学校区をお聞かせください。

1. 狭山中学校区  
2. 第三中学校区  
3. 南中学校区  
4. わからない(お住まいの住所(町丁目まで): )

問5 大阪狭山市での居住年数をお聞かせください。

1. 3年未満  
2. 3～5年  
3. 6～10年  
4. 11～20年  
5. 21～30年  
6. 31年以上

問6 これからも大阪狭山市に住み続けたいと思われますか？

1. これからもずっと住み続けたい  
2. 当分は住み続けたい  
3. 市外に引っ越したい  
4. わからない

## 2 地域活動への参画についてお尋ねします。

問7 自治会活動に参加されていますか？(○は1つだけ)

1. 参加している
2. 参加していないが、参加したい
3. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない
4. 興味がない

問7で「3. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。

問7-1 自治会活動に参加しない理由は何ですか？次から近いもの(Oをして下さい)。

1. 仕事や育児、家事で忙しいから
2. どこで活動しているかわからないから
3. 病気がち、または体が弱いから
4. 一緒に参加してくれる人がいないから
5. その他( )

問8 市民活動団体、NPOなどの地域の組織の活動に参加されていますか？(○は1つだけ)

1. 参加している
2. 参加していないが、参加したい
3. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない
4. 興味がない

問8で「1. 参加している」「2. 参加していないが、参加したい」と答えた方にお聞きします。

問8-1 参加している、または参加したい活動の分野は何ですか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)

1. 健康(保健、医療または福祉)
2. 社会教育、生涯学習に関すること(学習、レクリエーション活動など)
3. まちづくりに関すること(観光振興、災害救援活動、地域安全活動、地域の振興など)
4. 文化に関すること(芸術、学術、スポーツ、音楽など)
5. 環境保全に関すること
6. 人権・平和に関すること(人権擁護、平和の推進、国際協力、男女共同参画など)
7. 教育、子どもの健全育成に関すること
8. 情報化社会に関すること(ICTの推進など)
9. 科学技術の振興
10. 職業、生活に関すること(職業能力の開発、雇用機会の拡充支援、消費者保護など)
11. その他( )

問9 大阪狭山市では、個々の市民、市民活動団体、NPO等が、さまざまな分野で活発に活動を展開し、公共サービスの手として、自主的にまちづくりに取り組んでいます。このような、市民が自主的にまちづくりに取り組み動きについてどう思われますか？(○は1つだけ)

1. 参加している
2. 参加してみたい
3. 参加したくない
4. 興味がない
5. その他( )

問9で「3. 参加したくない」「4. 興味がない」と答えた方にお聞きします。

問9-1 参加したくない、興味がない理由は何か？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)

1. 仕事や育児、家事で忙しいから
2. どこで活動しているかわからないから
3. 病気がち、または体が弱いから
4. 一緒に参加してくれる人がいないから
5. その他( )

## 3 まちづくり円卓会議についてお尋ねします。

問10 市では、市民のみならず身近なところからまちづくりに主体的にかかわるための契機づくりの場として、自主的に一堂に会してまちづくりに関して話し合う場である「まちづくり円卓会議」を設置しました。ここでは、地域のニーズに即した事業について市に提案したり、独自の事業を実施していただいています。このよくなまちづくり円卓会議について知っていましたか？(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 少し知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

問10で「1. 知っている」「2. 少し知っている」と答えた方にお聞きします。

問10-1 「まちづくり円卓会議」に参加されたことはありますか？(○は1つだけ)

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、参加してみたい
3. 参加したくない
4. 興味がない

問10-1で「3.参加したくない」「4.興味がない」と答えた方にお問います。

問10-2 参加したくない・興味がない理由は何ですか？(○は1つだけ)

- 1. 仕事や育児、家事で忙しいから
- 2. どこで活動しているかわからないから
- 3. 病気がち、または体が弱いから
- 4. 一緒に参加してくれる人がいないから
- 5. その他( )

問11 まちづくり円卓会議は、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という理念のもとに、自分たちのまちに必要  
なことを話し合いながら、地域のニーズに即した事業を市に提案したり、独自で実施したりする制度です。  
この制度についてどう思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つだ  
け)

- 1. 良い制度だと思う、参加してみたい
- 2. 良い制度だと思うが、参加はしたくない
- 3. 参加したくない
- 4. 興味が無い

問12 「まちづくり円卓会議」に参加されたことがある方のみお答えください。「まちづくり円卓会議」に参加されて、  
どのようなことを感じましたか？あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)  
また、ご意見はその他にご記入ください。

- 1. 自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、聞かれるところが良い
- 2. 自分が住む地域に必要な事業を、自分で提案できるところが良い
- 3. 地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い
- 4. 地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い
- 5. 行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い
- 6. 「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性化しているところが良い
- 7. 特に感じない
- 8. その他( )

問13 市では、「まちづくり円卓会議」が、より自律的に活動できるように平成25年4月1日から市民自治のま  
ちづくり「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を施行しています。このような条例があることをご存じで  
すか？(○は1つだけ)

- 1. 知っている
- 2. 少し知っている
- 3. あまり知らない
- 4. 知らない

問14 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例では、「まちづくり円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理  
解し、協働して行う」という基本理念に基づいて、市民のみさんの役割として、まちづくりへの関心を高め  
るとともに、積極的にこれに参画するものとしています。この市民の役割についてどう思いますか？あなた  
の考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

- 1. 基本理念をよく理解して、積極的に参画していく必要がある
- 2. 自分たちのまちづくりを進めて行くために、参画していく必要がある
- 3. 自分たちのまちづくりを進めていくことは大切だが、役割を明確にしない方がよい
- 4. わからない

問15 まちづくり円卓会議は、市民自治の推進、市民活動団体間の交流促進、市民間の交流の促進などの目的  
をもって活動しています。現在、この目的が達成されていると思われませんか？あなたの考えに最もあてはま  
るものを1つ選んでください。

(○は1つだけ)

- 1. 達成されている
- 2. おおむね達成されている
- 3. あまり達成されていない
- 4. 達成されていない
- 5. わからない

問16 地域のさまざまな意見を集め、地域課題を話し合うにあたって、まちづくり円卓会議の設置単位(中学校  
区)はどのように感じますか。(1-3の場合は、理由もあわせてお答えください。)(○は1つだけ)

- 1. 中学校区よりも狭い単位が良い(理由: )
- 2. ちょうど良い
- 3. 中学校区よりも広い単位が良い(理由: )

問17 まちづくり円卓会議は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という趣旨のもと、主体的にまちづくりに参  
画し、行政は円卓会議の自主性・自立性を尊重し、活動のサポートを行うことを原則としています。このよう  
な、地域と行政の関係性についてどのように思われますか、あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選ん  
でください。(○は1つだけ)

- 1. 現状の関係性で良い
- 2. 現状の関係性を見直したほうが良い  
(理由: )
- 3. わからない

問18 まちづくり円卓会議から市への事業提案は、①地域コミュニティの育成に関する事業、②地域福祉の増進  
に関する事業、③環境に関する事業、④防犯・防災等に関する事業、⑤その他校区のまちづくりにつな  
がる事業の5つの事業区分などとなっています。この事業区分について、どのように思われますか？あなたの考え  
に最もあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

- 1. 現状の区分で良い
- 2. 提案できる事業区分を見直した方が良い
- 3. わからない

問18で「2.提案できる事業区分を見直した方が良い」と答えられた方にお聞きします。

問18-1 どのような見直しが必要だと思いますか？自由にご記入ください。

問19 まちづくり円卓会議は、地域のニーズに即した事業について市に提案し、市で予算を確保しています。どのような事業が必要だと思いますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。

(〇は1つだけ)

- 1. 地域コミュニティの育成に関する事業
- 2. 地域福祉の増進に関する事業
- 3. 環境に関する事業
- 4. 防犯・防災等に関する事業
- 5. その他校区のまちづくりにつながる事業 ( )

問20 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？あなたの考えに最もあてはまるものを1つ選んでください。(〇はいくつでも)

- 1. 地域行政の人材の育成
- 2. 次の世代の担い手の確保
- 3. 新しく転居されてきた方々との協働
- 4. その他 ( )

問21 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文について、見直しすべき点がありますか？

(〇は1つだけ)

- 1. ある
- 2. ない

問21-1 該当するすべての条文と見直しすべき内容をご記入ください。

条文 ( ) 条  
見直しすべき点

問22 「まちづくり円卓会議」や「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の状況を市民のみなさまにお知らせする

には、どのような方法がよいと思いますか。(〇は2つまで)

- 1. 広報紙への掲載
- 2. 市のホームページへの掲載
- 3. 自治基本条例のパブリックコメント等の作成
- 4. シンポジウムの開催
- 5. 自治会等を中心とした説明会の実施
- 6. その他 ( )

問23 「まちづくり円卓会議」や「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」に、どのような効果を期待されますか。(〇はいくつでも)

- 1. 市民との協働によるまちづくりが推進される
- 2. 市民の役割や責務が明確になり、市民の主體的なまちづくり活動が活発となる
- 3. 行政の役割や責務が明確になり、分かれやすい効率的な市政運営が行われる
- 4. 円卓会議の役割や責務が明確になり、主體的なまちづくり活動が活発となる
- 5. その他 (具体的に： )

◎ 「まちづくり円卓会議」及び「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」に関するご意見等がありましたらご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」についてのアンケート調査 ご協力のお願い

市民のみなさまには、日ごろよりまちづくり円卓会議の活動に参画していただき、誠にありがとうございます。

大阪狭山市では、市民が主体的にまちづくりに参画することを目的に「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」を制定しています。これは、「大阪狭山市自治基本条例」に基づき、市民がまちづくりの重要な課題について話し合うために対話及び交流の場として設ける「まちづくり円卓会議」の運営を支援するための基本的な事項を定めたものです。

本条例は、時代や環境の変化によって、現在の条文では目的を達成できない、または定めている内容と実体と隔たりが生じる可能性があるため、5年を超えない期間ごとに市民のみなさまのご意見を聞きながら必要があれば条例を改正することとなっています。

本アンケートは、まちづくり円卓会議にたずさわっていただいたのみなさまのご意見をお聞かせいただき、条例改正の必要性を検討する基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところお手数をかけたいと思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

令和4年8月

大阪狭山市長 古川 照人

問1 性別をお聞かせください。

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問2 年齢をお聞かせください。

1. 20歳未満	2. 20歳代
3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳以上	

問3 現在、所属の団体をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会	2. 住宅会
3. NPO	4. 市民活動団体
5. 事業所	6. その他( )

問4 所属の中学校区をお聞かせください。

1. 狭山中学校区	2. 第三中学校区	3. 南中学校区
-----------	-----------	----------

問5 まちづくり円卓会議の経験年数をお聞かせください。

1. 1年未満	2. 1~2年
3. 3~4年	4. 5~6年
5. 7年以上	

問6 地域のさまざまな意見を集め、地域課題を話し合うにあたって、まちづくり円卓会議の設置単位(中学校区)は、どのよう感じますか。(1-3の場合、理由もあわせてお答えください。)

1. 中学校区よりも狭い単位が良い(理由: )
2. ちょうど良い
3. 中学校区よりも広い単位が良い(理由: )

### 【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わって代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和4年8月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、( )内に具体的に記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を( )内に指定していますので、ご注意ください。
- ・インターネット回答フォームから回答することも可能です。郵便か回答フォームのどちらからかでご回答いただけますよう、お願いいたします。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**9月16日(金)**までに郵送してください。必ずお願いたします。(切手は不要です)

◇調査についての質問などは、下記までお問い合わせください。

大阪府大阪狭山市狭山一丁目2384番地1

政策推進部 公民連携・協働推進グループ

電話 072-366-0011(代表) FAX 072-367-1254

インターネット回答フォームはこちら

URL <https://logofom.jp/form/8s6e/130620>



問7 「まちづくり円卓会議」に参加されて、どのようなことを感じましたか？(○はいくつでも)  
また、ご意見はその他にご記入ください。

1. 自分が住む地域のまちづくりについて、自分の意見が言え、聞かれるところが良い 2. 自分が住む地域に必要な事業を、自分で提案できるところが良い 3. 地域の人達や様々な団体と交流し、意見を交わすことが出来るところが良い 4. 地域の人達や様々な団体と交流し、新しい知見が得られたところが良い 5. 行政が地域住民と適度な距離を保ち、地域住民の自律性を促しているところが良い 6. 「まちづくり円卓会議」で取り決めたことで、地域が活性しているところが良い 7. 特に感じない 8. その他( )
---

問8 まちづくり円卓会議は、実際にあなたの地域に対してどのような面で役立ったと感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 地域のださまざまな意見の集約と調整が図られたこと 2. まちづくり円卓会議経験者が、地域で活躍する人材となった(=人材育成)こと 3. 役立ったことはない 4. わからない 5. その他( )
---

問9 まちづくり円卓会議の活動に参画することになったきっかけは何ですか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 自発的に 2. 友人・家族・仲間におすすめられて 3. 市や地域におすすめられて 4. 団体活動をしている中で関わりがあった 5. その他( )
---

問10 まちづくり円卓会議の活動はご自身の経験を活かせていると感じますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 経験を活かせている 2. あまり経験を活かせていない 3. 特に活かせる経験はない
--

問11 まちづくり円卓会議が活動する上で、地域コミュニティや自治会等の地域の団体との連携は、必要不可欠ですが、あなたの地域では、連携が行われていると感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 連携している 2. おおむね連携している 3. あまり連携していない 4. 連携していない 5. わからない
---

問12 まちづくり円卓会議が、協議等をする上で、足りていないと感じるものはありますか。あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)

1. まちづくり円卓会議で考えた事業の実施に協力してくれる組織や人材 2. まちづくり円卓会議の運営・協議の効率化 3. まちづくり円卓会議の認知度 4. 行政の協力 5. まちづくり円卓会議メンバーのやる気ややりがい 6. 特になし 7. その他( )
---

問13 まちづくり円卓会議で提案できる事業の予算措置限度額は、上限が500万円(事業実施要領に基づくと)なっています。この上限額についてどのように思われますか？(○は1つだけ)

1. 適切である 2. 上限額を引き上げた方が良い (理由: ) 3. 上限額を引き下げた方が良い (理由: ) 4. わからない
--

問14 まちづくり円卓会議の運営費は、上限が30万円(運営費補助金交付要綱に基づく)となっております。この上限額についてどのように思われますか？(○は1つだけ)

1. 適切である  
 2. 上限額を引き上げた方がよい  
 (理由: )  
 3. 上限額を引き下げたほうがよい  
 (理由: )  
 4. わからない

問15 まちづくり円卓会議を今後も続けて行く上で、どのような課題があると思われますか？(○はいくつでも)

1. 地域行政の人材の育成  
 2. 次の世代の担い手の確保  
 3. 新しく転居されてきた方々との協働  
 4. その他( )

問16 「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」の条文について、見直しすべき点がありますか？(○は1つだけ)

1. ある  
 2. ない

問16で「1.ある」と答えた方にお聞きします。

問16-1 該当するすべての条文と見直しすべき内容をご記入ください。

条文( )条  
 見直しすべき点

問17 これまでまちづくり円卓会議に参加してみて、あなたが良かったと思うことは何ですか？あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 自分が住む地域を住み良くするために何かできるかを、考えるきっかけになったこと  
 2. 地域に必要な取組を実施できたこと  
 3. 会議や活動を通して地域住民の方々の繋がりができたこと  
 4. 特になし  
 5. その他( )

問18 まちづくり円卓会議への参加をきっかけとし、地域づくりや地域活動に対するあなたの心境や行動に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 今後、何らかの地域活動を始めたい、または参加したいと思っている  
 2. まちづくり円卓会議に参加してから、地域活動を新たに始めた、または新たに参加した  
 3. まちづくり円卓会議に参加する前から行っている地域活動を継続・発展させたいと思っている  
 4. 特に変化はない

問19 まちづくり円卓会議の活動に参加して負担に感じていることはありますか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つだけ)

1. 全く負担には感じない  
 2. あまり負担に感じない  
 3. 多少負担に感じる  
 4. 負担に感じる

問20 まちづくり円卓会議の活動に新しい人やたくさんの人に参加してもらうにはどんなことが必要だと思いますか？(○はいくつでも)

1. 小・中学生、高校生が、地域活動について関心を深めるための教育の推進  
 2. 住民が、地域活動について関心を深めるための学習の推進  
 3. ボランティア、市民活動団体(NPO法人など)の育成(情報の提供など)  
 4. 住民が関心をもち、身近に感じてもらうようにするための、活動の紹介や、行事などの開催  
 5. 豊富な経験と知識、技能を持つ高齢者のマンパワーの活用  
 6. 地域における高校・大学との連携  
 7. 商店、企業などの、地域の担い手としての取組の紹介  
 8. わからない  
 9. その他( )

問21 まちづくり円卓会議の活動をすすめるうえで、行政に求めることはありますか？(〇はいくつでも)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 活動・業務の担い手となる人材の育成   | 2. 活動・業務の場所の確保に関する支援  |
| 3. 活動費・事業費などの経済的な支援    | 4. 団体や組織間の連携支援        |
| 5. 先進的な活動・業務事例の紹介      | 6. 専門性を持った人材や団体の紹介    |
| 7. 地域情報の提供             | 8. 情報発信に関する支援         |
| 9. 活動・業務について相談できる機会の充実 | 10. 住民への地域活動に関する意識の啓発 |
| 11. 特になし               |                       |
| 12. その他( )             |                       |

問22 まちづくり円卓会議において実施してみたい事業や取り組みはありますか？

--

問23 新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって、事業が中止や延期になりました。それによってご自身の参

画への意識や意欲に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。(〇は1つだけ)

- |                     |
|---------------------|
| 1. 意識や意欲が高まった       |
| 2. 特に変わりはない         |
| 3. 意識や意欲が下がった・なくなった |

問24 コロナ禍で事業を継続するうえで難しいと感じることはありますか？(〇はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 集まって活動することができない          |
| 2. 活動の場を確保するのが難しい           |
| 3. イベントなどを開催することができない       |
| 4. 感染症対策をとる準備ができない          |
| 5. 他の団体と協力することが難しい          |
| 6. 活動の情報発信が難しい              |
| 7. オンラインを活用した取り組みなどのノウハウがない |
| 8. 特にない                     |
| 9. その他( )                   |

◎まちづくり円卓会議等についてのご意見について


以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。

### 3 大阪狭山市まちづくり円卓会議条例についてのリーフレット

平成 25 年  
条例第 3 号



## 大阪狭山市 まちづくり円卓会議条例について

### まちづくり円卓会議とは

市では、多くの市民に身近なところからまちづくりに主体的にかかわる市民自治への契機づくりの場として、地域内の自治会や住宅会、NPO、市民活動団体、事業所などが中学校区単位で自主的に一堂に会してまちづくりについて話し合い、実行していくという意味を込めて「**円卓会議**」と呼んでいます。

対等な立場で、互いの役割を理解し、協働して行う。



### 円卓会議の目的

「**地域のことは地域で考える**」ことを実践するため、様々な取組が進められています。

01	<b>市民自治の推進</b>	わがまちに関心をもってもらうこと、身近なところからまちづくりに主体的に関わるきっかけづくりを目的としています。
02	<b>市民活動団体間の交流促進</b>	これまでは連携した活動があまりなされなかった地縁型団体とテーマ型団体の融合により、団体の相互理解、新たな取組、新たな人材発掘を目的としています。
03	<b>市民間の交流促進</b>	人と人との出会いの場として、地域内コミュニティをよりよいものにするを目的としています。

### 事業内容

- 地域コミュニティの育成に関する事業
- 地域福祉の増進に関する事業
- 環境に関する事業
- 防犯・防災等に関する事業
- その他、校区のまちづくりにつながる事業

「**まちづくり円卓会議**」は、住民のみなさんで地域の問題を話し合い、地域に必要と考えられる事業について、市に提案を行う、または独自でその事業を実施する仕組みとなっています。

大阪狭山市まちづくり円卓会議条例の詳細な内容は、市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.osakasayama.osaka.jp/kurashi/tetsuzuki/shiminkyodojichikaikomyunitei/shiminkyodo/1410330507485.html>

**【問い合わせ】**  
 大阪狭山市役所  
 政策推進部 公民連携・協働推進グループ  
 〒589-8501  
 大阪狭山市狭山一丁目 2384 番地の 1  
 TEL : 072-366-0011(代表)  
 FAX : 072-367-1254  
 E-mail : kyodo@city.osakasayama.osaka.jp

# 大阪狭山市まちづくり 円卓会議条例

## 目的

**第1条** この条例は、大阪狭山市自治基本条例（平成21年大阪狭山市条例第9号）の趣旨に基づき、市民がまちづくりの重要な課題について話し合うために対話及び交流の場として設けるまちづくり円卓会議（以下「円卓会議」という。）の運営を支援するための基本的な事項を定め、もって市民が主体的にまちづくりに参画し、大阪狭山市における地域内分権の推進を図ることを目的とする。

## 定義

**第2条** この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- ①**市民** 市内に居住する者、市内で働く者又は学ぶ者及び市内で事業活動その他の活動を行う者又は団体をいう。
- ②**円卓会議** 中学校区（以下「校区」という。）内の市民で構成され、自律的な運営が継続して行われる1校区を単位としたひとつ限りの組織をいう。
- ③**地域内分権** 校区内における共通の課題を迅速かつ効果的に解決するため、それぞれの円卓会議が自分たちの校区は自分たちでつくるという意識をもって活動し、その活動を市が支援する協働のまちづくりを行うことをいう。

## 基本理念

**第3条** 校区のまちづくりを進めるに当たっては、円卓会議及び市が対等の立場で互いの役割を理解し、協働して行うものとする。

## 市の役割

**第4条** 市は、基本理念に基づき、円卓会議の自主性及び自立性を尊重するとともに、その運営を支援するための必要な施策を講じるものとする。

## 市民の役割

**第5条** 市民は、基本理念に基づき、校区のまちづくりへの関心を高めるとともに、積極的にこれに参画するものとする。

## 円卓会議の役割

**第6条** 円卓会議は、校区内のすべての市民に開かれたものとし、校区におけるまちづくりに関する議論と合意に基づく市への事業提案等を行い、継続して校区のまちづくりの推進を図るものとする。

## 円卓会議の要件

**第7条** 円卓会議は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する組織とする。

- ①名称、事務所の所在地、代表者の選出方法、総会の方法、監査その他円卓会議を民主的に運営するために必要な事項が、規約等に定められていること。
- ②円卓会議の代表者及び役員が、その構成員の意思に基づいて選出されていること。
- ③円卓会議を設立し、その代表者を選出したときは、規則で定めるところにより、市長に届け出るものとする。その届け出た事項を変更したときも同様とする。

## 地域ビジョン

**第8条** 円卓会議は、校区のまちづくりを継続的かつ計画的に実施するため、校区の将来像及びそれを達成するための事業計画（以下「地域ビジョン」という。）の策定に努めるものとする。

②市は、円卓会議が策定する地域ビジョンを尊重するとともに、各種計画及び施策に反映させるよう努めるものとする。

## 円卓会議の事業

**第9条** 円卓会議は、前条の地域ビジョン等に基づき、次の各号に掲げる事業の中から必要な事業を行うものとする。

- ①地域コミュニティの育成に関する事業
- ②地域福祉の増進に関する事業
- ③環境に関する事業
- ④防犯、防災等に関する事業
- ⑤前各号に掲げるもののほか、校区のまちづくりにつながる事業

## 円卓会議への支援

**第10条** 市は、前条の事業が円滑に進むよう必要な情報の提供、助言、財政的な支援その他の環境の整備に努めるものとする。

②市は、前項の規定に基づき、財政的な支援を行うに当たっては、その内容及び手続について規則等で定めるものとする。

## 相互交流

**第11条** 市は、円卓会議が校区のまちづくりについての成果を発表し、相互に交流できる機会を設けるよう努めるものとする。

## 活動の制限

**第12条** 円卓会議は、大阪狭山市市民公益活動促進条例（平成14年大阪狭山市条例第13号）第2条第1項各号に規定する活動をしてはならない。

## 円卓会議の法人化

**第13条** 円卓会議は、自らが権利及び義務の主体となり、公益性の明確化等基盤の強化を図るため、法人格の取得に努めるものとする。

## 情報の公開と個人情報の保護

**第14条** 円卓会議は、その事業に関する透明性を確保し説明責任が果たせるよう、その保有する情報を積極的に公開するとともに、個人情報の保護に努めるものとする。

## 事業の評価

**第15条** 円卓会議は、その事業に対して自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

## 条例の見直し

**第16条** 市長は、この条例の施行の日から5年を超えない期間ごとに、この条例の各条項について検討を加え、必要に応じ見直すものとする。

**2** 市長は、前項の検討及び必要な見直しを行うに当たっては、市民の意見を聴かなければならない。

## 委任

**第17条** この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

## 附則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## 参考 「市民公益活動」とは

### 定義

**第2条** この条例において「市民公益活動」とは、市民が自発的かつ自立的に行う営利を目的としない活動であって、不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とするものをいう。ただし、次に掲げるものを除く。

- ① 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする活動
- ② 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とする活動
- ③ 特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。以下同じ。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動

〔大阪狭山市市民公益活動促進条例〕より抜粋

各中学校区の取組状況を  
地域コミュニティ誌の  
発行を通じて  
お知らせしています。



特定非営利活動法人  
南中学校区円卓会議  
南中  
円卓会議ニュース



第三中学校区  
まちづくり円卓会議  
三中円卓通信

狭山中学校区  
まちづくり円卓会議  
狭山中学校区  
まちづくり  
円卓会議ニュース





## まちづくり円卓会議 最近の取組み



### 南中学校区

- 4カ所の公園(大野第2・第3・第4・第5公園)を、毎月、第2水曜日AM8時から清掃活動を行っています。
- 陶器山元気ウォーキングの開催に向けて、準備を進めています。

〒589-0023  
大阪狭山市大野台 2-1-58  
ハーティ BF サロンみらい内

電話・FAX:072-368-1616  
メール:nancyuu@bloom.ocn.ne.jp  
H P: http://nancyuu.com/



### 第三中学校区

- フラワーガーデンにてピオラなどを種まきから定植までを行い、4月に狭山池遊歩道を通る人の目の保養になるよう活動しました。
- さやま茶寮に子どもたちの「ピオラの花」の写生を展示しました。

〒589-0005  
大阪狭山市狭山 1-862-5  
(市民活動支援センター)  
メール:san-en@outlook.jp  
公式LINE:  
https://page.line.me/  
/?accountId=320pxyrd



### 狭山中学校区

- SAYAKA ホールにて、第8回 さやりんフェスティバルを開催しました。多数のアーティストが出演します。
- 10月にさやか公園でさやりんピックを開催予定です。

〒589-0005  
大阪狭山市狭山 1-862-5  
(市民活動支援センター)  
電話・FAX:072-366-8545  
メール:sayamaround@sayamachuentaku.net  
H P:http://www.sayamachuentaku.net/  
Facebook:



まちづくり円卓会議条例は、自治基本条例の趣旨に基づいて定めています。

平成 21 年  
条例第 9 号

## 大阪狭山市自治基本条例について

### 自治基本条例がめざすもの

誰もが主体的にまちづくりに参画し、**市民自治を確立**するための基本原則を定めています。

### 市民自治の基本原則とは？

**市民の権利**

①知る権利  
●市民は、市政に関する情報について知る権利を有します

②市政に参画する権利  
●市民は、市政に参加する権利を有します

**市民の責務**

①まちづくりの努力  
●市民は、協力しながらまちづくりを推進するよう努めなければなりません

②まちづくりへの積極的な取組  
●市民は、自らの発言と行動に責任を持ち、まちづくりに取り組むよう努めなければなりません





大阪狭山市自治基本条例の詳しい内容は、市ホームページでご覧いただけます。

[http://www.city.osakasayama.osaka.jp/gyosei/shinokeikakushisaku/jichi\\_j/1410486278691.html](http://www.city.osakasayama.osaka.jp/gyosei/shinokeikakushisaku/jichi_j/1410486278691.html)

**【問い合わせ】**  
大阪狭山市役所  
政策推進部 企画グループ  
〒589-8501  
大阪狭山市狭山一丁目 2384 番地の 1  
TEL : 072-366-0011(代表)  
FAX : 072-367-1254  
E-mail : kikaku@city.osakasayama.osaka.jp

「大阪狭山市まちづくり円卓会議条例」  
についてのアンケート調査報告書

令和5年（2023年）3月

編集・発行 大阪狭山市 政策推進部 公民連携・協働推進グループ  
〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山一丁目2384番地の1  
TEL：072-366-0011（代表）FAX：072-367-1254  
Email：kyodo@city.osakasayama.osaka.jp

